

# ライフスキルトレーニングの授業作り

## 実践事例集

ライフスキル  
サポートブック  
～よりよく生きるために～

Ver.1

教師用





「ライフスキルサポートブック」を活用される先生方へ

高校生の年代は、子どもから大人への転換期であり、自立に向けて様々な悩みを抱えながらも、学校での授業等を通じて、生徒一人一人が自分の進路を具体的にイメージしながら将来設計をしていく力や、そのために自分に合った学習スタイルを身につけたり、社会生活を円滑に送ることができるよう、よりよい対人関係の構築や集団行動等について学んでいる時期です。

発達障害等の生徒も思春期、青年期を迎え、自分のことを客観的に見ることができるようになり、これまでの失敗場面を振り返り劣等感を感じたり、自分を責めたり、自己肯定感を持ってないまま疎外感を感じ閉じこもりがちになったりしやすい時期でもあります。

そういった高等学校の時期、思春期特有の課題に少しでも役立ち、発達障害等特別な支援を必要とする生徒が、社会の中で自分らしく生きていくために必要な力を身に付けてもらいたいとの思いから、高知県教育委員会では平成28年3月に「ライフスキルサポートブック」を作成しました。

この間、県内の高等学校では、特別支援教育学校コーディネーターや生徒支援コーディネーターを核とした校内支援会の開催や外部人材の活用などを進め、学校組織として特別支援教育の推進に取り組んでいただき、そういった中でライフスキルトレーニングを内容とする授業や、発達障害生徒への個別的な指導などで、「ライフスキルサポートブック」を活用する学校が増えています。生徒が苦手とする社会性やコミュニケーション能力の弱さなどへの効果的な支援につながった、生徒が自己理解を深め、見通しをもつことで、学習や生活への意欲の高まりが見られた等々報告をいただいているところです。また、多くの学校が今後の活用を検討くださっています。

しかしながら、高等学校の先生方にとって、取り扱う内容がこれまでの教科指導とは異なることや、ユニバーサルデザインの視点による授業づくりに取り組み始めたばかりであることから、この「ライフスキルサポートブック」を活用してくださった先生方や、手にしてくださった方々から、「授業の流れをどう作ったらよいかわからない」「教材の効果的な活用の仕方を知りたい」などのご意見やご質問をいただいています。

そこで、このたび「ライフスキルサポートブック」の指導項目ごとに指導案の事例を示し、また新たな教材を含め、掲載されている教材の効果的な活用について取りまとめ「ライフスキルサポートブック～実践事例集～」として発行することとしました。ライフスキルの指導に特化した授業はもちろんのこと、先生方それぞれの教科指導においても参考にさせていただけることが多く含まれていますので、今後の授業づくりに活用していただけると幸いです。

平成30年4月には、高等学校においても「通級による指導」が制度化され、本県においても2つの高等学校で「通級による指導」がスタートします。各学校における先生方の発達障害等の生徒への支援に対するご理解や積極的な取組に感謝するとともに、今後とも、生徒一人一人の輝く未来の実現に向け、全ての学校で特別支援教育の一層の推進をお願いいたします。

高知県教育委員会



～目 次～

ライフスキルトレーニングの授業の進め方	1
<b>I ソーシャルスキルを知ろう</b>	5
(1) ソーシャルスキル (SST) とは	6
(2) 自分自身を知ろう	10
<b>II 生活スキルを高めよう</b>	13
(1) 身だしなみを考える	14
(2) 自分自身の生活リズムを考える	18
(3) 時間と金銭の管理について考える	20
(4) 様々なツールの使い方について考える	22
<b>III コミュニケーションの力を高めよう</b>	25
(1) 自分のコミュニケーション力について考える	26
(2) 上手な話の伝え方、聴き方を考える	32
(3) 言葉づかいについて考える	36
(4) 友達との上手な付き合い方について考える	40
(5) 言葉以外のコミュニケーションを考える	44
<b>IV 気持ちをコントロールするスキルを考えよう</b>	47
(1) よりよい対人関係について考える	48
(2) 感情コントロールの仕方を考える	54
(3) ストレス・マネジメントについて考える	56
(4) 余暇の過ごし方について考える	58

V 職業生活について . . . . . 6 1

(1) 将来の仕事について考える . . . . . 6 2

(2) 働く価値と将来設計を考える . . . . . 6 6

(3) インターンシップに向けて① . . . . . 6 8

(4) インターンシップに向けて② . . . . . 7 0

(5) 面接場面でのスキルを身に付ける . . . . . 7 2

(6) 職場での困難を考える① (コミュニケーション) . . . . . 7 4

(7) 職場での困難を考える② (ルールやマナー) . . . . . 7 6

(8) 将来の自分について考える . . . . . 7 8

VI 学習の仕方について . . . . . 8 1

(1) 自分に向いている学習スタイルを考える . . . . . 8 2

(2) 家庭学習を効率よくするために . . . . . 8 6

スライド資料集 . . . . . 8 9

引用・参考文献 . . . . . 9 6


※「ライフスキルサポートブック」は、高知県教育委員会ホームページからもダウンロードできますので、活用してください。

## ライフスキルサポートブック

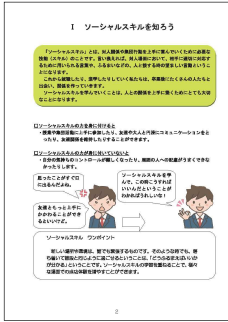
～ よりよく生きるために ～ Ver.1

<b>提供元</b>	高知県教育委員会 特別支援教育課
<b>提供方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Web 上に PDF 形式データを掲載</li> </ul> <p style="text-align: center;">(<a href="http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/2016051100048.html">http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/2016051100048.html</a>)</p>

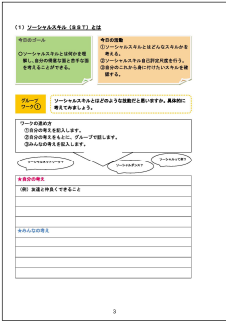
対人関係を上手に築いていくためのソーシャルスキルを含む、将来一人で生活を送っていくことができるためのスキル、『ライフスキル』を身につけるためのテキストです。子ども自身がこのサポートブックに目を通し、考えながら必要なスキルを身につけることができるようになっています。




ライフスキル  
サポートブック  
～よりよく生きるために～  
Ver.1



I ソーシャルスキルを知ろう



(1) ソーシャルスキルとは、生活を送る上で必要不可欠なスキルです。



【自己評価】  
自分自身のソーシャルスキルを評価してください。

○ ライフスキルトレーニングの授業の進め方

ライフスキルトレーニングの授業は、生徒一人一人が、人との関係を上手に築いていくためのスキルを学んでいくものです。生徒が自分自身を知り、まわりの人たちとよりよく関わっていくためのスキルを身に付けていくためには、ライフスキルトレーニングが、生徒にとって安心して、理解できる授業であることが大切だと考えます。そのためのポイントは以下のとおりです。

**生徒の安心、理解を促す指導のポイント**

① ていねいな言葉をつかう。

生徒にとって教員が一番のモデルになります。ていねいな言葉づかいは、授業の雰囲気や生徒の安心感につながります。話し方、聞き方のモデルを教員が示しましょう。

② 授業の始めと終わりをはっきりさせる（活動ごとの時間も明確に示すことで、生徒が見通しをもちやすくなります）。

③ 簡単な授業のルールを決める（安心、理解を促すために、みんなで守るルール）。

④ 指示の出し方を具体的に示す（何をするのか、どのようにするのか、わかりやすく伝える）。

⑤ 指示・説明と、生徒の活動を分ける（“書きながら説明を聞く”等が苦手な生徒がいます。聞くだけ、書くだけ等、活動を分けて指示を出しましょう）。

⑥ 発表するときには、発表する生徒に全員が注目するようにする。

相手の話を聞くことも大事なスキルの一つです。発表者には、「いいね」「分かったよ」「それもあるね」など、肯定的な言葉を返すように心がけましょう。

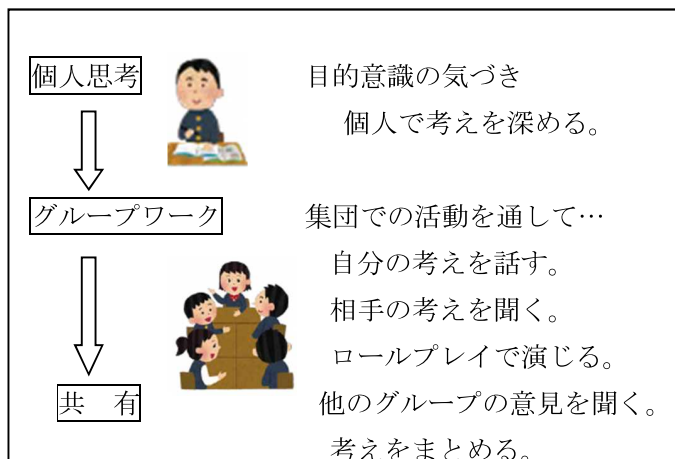
⑦ 視覚的な手がかりを示す。

⑧ 生徒の実態に合わせて、個別の支援を行う。



**サポートブックの構成**

授業の構成は、同じパターンで進みます。一つのパターンで進めることがわかりやすく、生徒の安心や理解につながります。



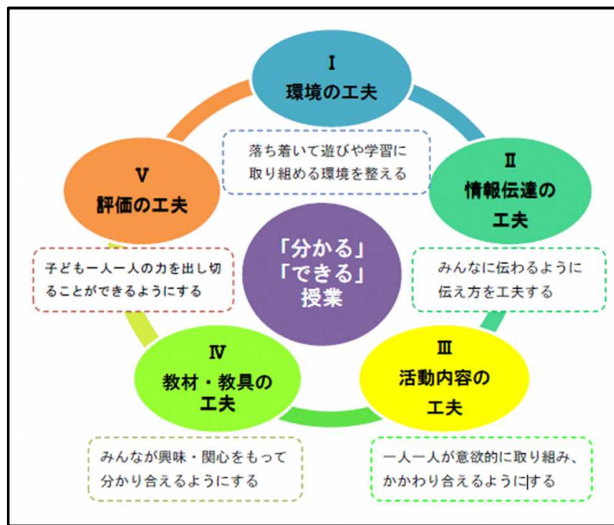
この流れが1つのまとまりになります。各単元でねらいや内容は違いますが、同じワークの流れを繰り返すことで授業の見通しをもちやすくなります。

生徒が授業の成果物を実際に活用できているのか、活用してみてどうなのか等、授業後の振り返りも大事になってきます。成果物を授業後に見直して改善するなどして、生徒が実生活で使えるようになるとより効果的です。

この冊子では、ライフスキルサポートブックの授業を行うにあたって、授業で使用する教材等の活用の仕方を記入した学習指導略案（例）を提案しています。

基本的には、「ライフスキルサポートブック」の内容に準じて活動の流れや内容を組み立てています。

授業では、生徒が「わかる」「できる」授業づくりの基本となるユニバーサルデザイン（以下 UD）に基づき、Ⅰ環境の工夫、Ⅱ情報伝達の工夫、Ⅲ活動内容の工夫、Ⅳ教材・教具の工夫、Ⅴ評価の工夫の5つのポイントを取り入れるように意識しました。



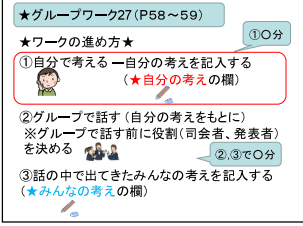
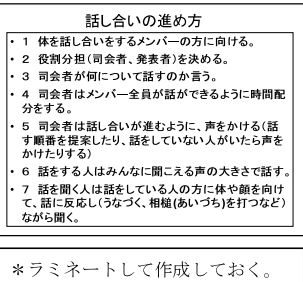

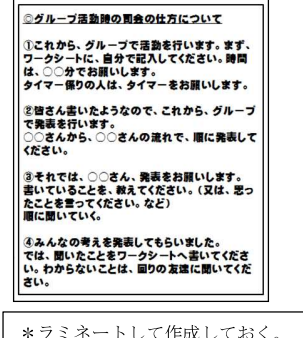
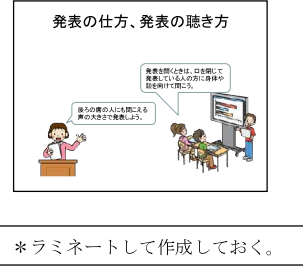
『すべての子どもが「わかる」「できる」授業づくりガイドブック』 p 14 より引用  
 (H25. 3 高知県教育委員会発行)

学習指導略案（例）に示している教材の中には、すべての授業において取り入れ、活用することが有効と考えられる教材がいくつかあります。

その教材の活用目的と方法について UD ポイントと合わせて、以下にまとめました。

教材活用の目的	例（実物）	活用方法	UD ポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の場所を自分で確認できるようにし、授業をスムーズに始めることができるようにする。</li> </ul>		スライドで生徒の座席配置を示す。	I 環境の工夫 II 情報伝達の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>時間の見通しをもち、活動に集中できるようにする。</li> <li>時間を視覚的に提示することで、活動に安心して取り組むことができる。</li> </ul>		タイムタイマーや時計で○分を視覚化する	I 環境の工夫 III 活動内容の工夫



<p>・自分で学習することを確認しながら進めることができるようにする。</p> <p>・今からすることは何か（赤枠で囲まれた内容）がわかることで、活動内容を理解して取り組むことができる。</p>		<p>スライドで本授業のグループワークの進め方を提示する。</p>	<p>II 情報伝達の工夫 III 活動内容の工夫</p>
<p>・共有してほしい内容を具体的に行動レベルで可視化することで、全員が話し合い活動に参加できるようにする。</p> <p>・話し合いのときに、どうすればいいかわかることで話し合いのスキルとしても身に付けることができる</p>		<p>「話し合いの進め方カード」 話し合いの始まる前にカードを各グループに配布</p>	<p>III 活動内容の工夫 IV教材・教具の工夫</p>
<p>・「司会」「発表」のカードを持って話し合いを行うことにより、役割分担を明確にする。</p> <p>・何をすればいいかわかり、役割を果たすことができる。</p>		<p>「司会役、発表役カード」 各グループに配布し、役割分担を明確にする</p>	<p>III 活動内容の工夫 IV教材・教具の工夫</p>
<p>・誰が司会になっても役割を果たすことができるようにする。司会の仕方に戸惑うことを避け、話し合い活動の内容を思考できるようにする。</p>		<p>「司会の仕方カード」 司会役が使用、台詞を順番に読み話し合いを進める。</p>	<p>IV教材・教具の工夫</p>
<p>・今自分が取るべき行動は何なのかを意識することができるようにする。</p> <p>・途中で注意を受けないように、生徒に事前にスライドを提示し、できたことを実感できるようにする。</p>		<p>発表するときや発表を聴くときに、生徒に事前にスライドを提示し、意識させる。</p>	<p>II 情報伝達の工夫 III 活動内容の工夫</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>発表するときなど、内容をその場で投影し、視覚的に提示して共有する。</li> </ul>		書画カメラ カメラの下に置いたものを壁面に投影でき、視覚化できる。	II 情報伝達の工夫 IV教材・教具の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>何ページに記入するのかを視覚化し、自分で振り返りを行えるようにする。</li> <li>毎授業の終わりに振り返りを行うことで何を学んだかを明確にできるようにする。</li> </ul>		スライドで「今日の振り返り」の内容と該当ページ数を視覚的に提示する。	V 評価の工夫

視覚化する方法として、スライドで提示することを提案していますが、提示の仕方他にも考えられます。例えば、**模造紙**や**ホワイトボード**を活用したり、**ワークシート**にして個別に配布したりと各学校の実情や生徒の実態に応じて変化させることも考えられます。

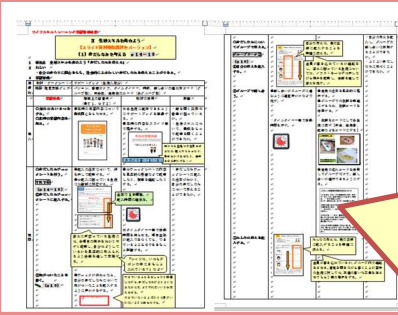
## 本冊子の活用の仕方

次ページからは、学習指導略案を各項目ごとにまとめて掲載しています。各項目の最初の単元の1時間目は、【スライド資料等解説付きバージョン】として、「ライフスキルサポートブック」のページやスライドを視覚的にわかりやすく載せてあります。



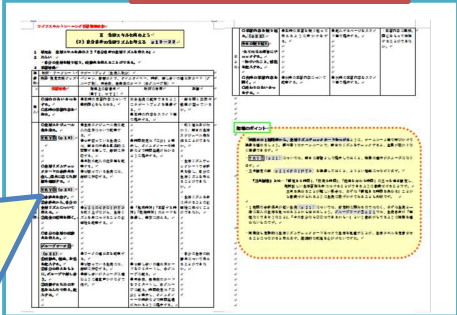
また、各単元の次時間からは、見開き2ページで1時間分の授業になるよう編集しています。見開きページ左上には、「ライフスキルサポートブック」の各ページとリンクするように、項目名、ページ数等を載せてありますので参考にしてください。

最後にスライド資料集としてパワーポイントで作成した教材を載せていますので、自分で教材を作成するときの参考にしてください。



教材の写真を載せたり、何を意識して発問するのか、何をねらいとしてスライドを使うのかなど、授業を行ううえでの細かいポイントを書いています。参考にしてください。

写真やスライドは載せていませんが1時間の授業の流れをわかりやすく見開きで作成しました。教材やスライドの使い方は最初の単元を参考にしてください。



なお、今回、実践事例集を編集するにあたって、山田養護学校田野分校と中芸高等学校で行われた「ソーシャルスキルアップトレーニング」の授業実践を参考にし、両校から学習指導案やスライド等、多数の資料を提供していただきました。

# I ソーシャルスキルを知ろう

## I ソーシャルスキルを知ろう

「ソーシャルスキル」とは、対人関係や集団行動を上手に営んでいくために必要な技能（スキル）のことです。言い換えれば、対人場面において、相手に適切に対応するために用いられる言葉や、ふるまいなどの、人と接する時の望ましい言動ということになります。

これから就職したり、進学したりしていく私たちは、卒業後にたくさんの人たちと出会い、関係を作っていきます。

ソーシャルスキルを学んでいくことは、人との関係を上手に築くためにとても大切なこととなります。

### □ソーシャルスキルの力を身に付けると

・授業や集団活動に上手に参加したり、友達や大人と円滑にコミュニケーションをとったり、友達関係を維持したりすることができます。

### □ソーシャルスキルの力が身に付いていないと

・自分の気持ちのコントロールが難しくなったり、周囲の人への配慮がうまくできなったりします。



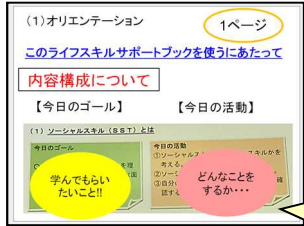
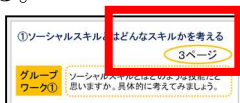


### ソーシャルスキル ワンポイント

新しい場所や環境は、誰でも緊張するものです。そのような時でも、落ち替えて普段と同じように過ごせるということは、「どうふるまえばいいかが分かる」ということです。ソーシャルスキルの学習を重ねることで、様々な場面での成功体験を増やすことができます。

I ソーシャルスキルを知らう  
 【スライド資料等解説付きバージョン】  
 (1) ソーシャルスキル (SST) とは p 3～7

- 1 単元名 ソーシャルスキルを知らう「ソーシャルスキル (SST) とは」
- 2 ねらい
  - ・ ソーシャルスキルとは何かを理解し、自分の得意な面と苦手な面を考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート	サポートブック (生徒人数分)	
	学習活動	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用
導入	○始めのあいさつをする。  ○本時の学習内容を知る。	※サポートブックを配る。  ●本時の学習内容について興味関心をもたせる。  ●ライフスキルについて説明する。	※各生徒に配布できるようにサポートブックを準備する。  <p>「ライフスキルサポートブック」 (以下サポートブックと標記)表紙</p> ●本時の内容をスライド等で提示する。  <p>スライドI・(1)・3</p> ●絵カードや写真等を提示しながら説明する。  <p>●サポートブックの使用等を説明する。   <p>スライドI・(1)・9</p> </p>
	○ソーシャルスキルとはどんなスキルかを考える。(p 3)	●ソーシャルスキルについて、サポートブックを参考にしながら説明する。	●ページ数を明確に示し、開くことができているか確認する。 
展開			・ソーシャルスキルとはどんなスキルか知ることができたか。

### グループワーク①

①自分の考えを記入する。 p 3

②自分の考えをもとに、グループで話す。

③みんなの考えを記入する。

### サポートブック p 3

グループワーク① ソーシャルスキルとはどのような活動だと思いますか、具体的に考えてみましょう。

ワークの進め方  
①自分の考えを記入します。  
②自分の考えをもとに、グループで話します。  
③みんなの考えを記入します。

ワークシート

自分の考え

みんなの考え

自分の考えは、表の上段に記入する。

記入に困っている生徒には個別に対応する。

- グループになり、順番に自分の考えを発表するように声かけをする。
- 発表をしっかりと聞くことができるように、声かけ等で促す。
- ・タイムタイマー等で活動時間を示す。



・タイムタイマー等で活動時間を示す。



●グループでの役割を明確にするため、役割カードを活用する。

・役割をカードにして各生徒に渡す【司会、発表者、記録などをカードにする】



●発表の流れカードを活用してグループだけで、話し合いが進行できるようにする。

#### ②グループ活動時の司会の仕方について

- ①これから、グループで活動を行います。まず、ワークシートに、自分で記入してください。時間は、〇〇分をお願いします。  
タイマー係りの人は、タイマーをお願いします。
- ②皆さん書いたようなので、これから、グループで発表を行います。  
〇〇さんから、〇〇さんの流れで、順に発表してください。
- ③それでは、〇〇さん、発表をお願いします。書いてあることを、読んでください。(又は、思ったことを言ってください。など)  
順に聞いていく。
- ④みんなの考えを発表してもらいました。では、聞いたことをワークシートへ書いてください。わからないことは、回りの友達に聞いてください。

### サポートブック p 3

グループワーク① ソーシャルスキルとはどのような活動だと思いますか、具体的に考えてみましょう。

ワークの進め方  
①自分の考えを記入します。  
②自分の考えをもとに、グループで話します。  
③みんなの考えを記入します。

ワークシート

自分の考え

みんなの考え

みんなの考えは、表の下段に記入する。

・タイムタイマー等で活動時間を示す。



○ソーシャルスキル自己評定尺度を行う。

TRY① (p 4～5)

- ①各項目のあてはまる数字に○をする。
- ②合計点を記入する。

サポートブック p 4～5

TRY① ソーシャルスキル自己評定尺度に挑戦しましょう。

【記入様式】  
以下の文章を読んで、各項目があなたにどれだけあてはまるかを考えてください。  
最もよくあてはまると思う数字の数字に○を付けて下さい。  
あまりよくあてはまらずにお答えください。

項目	1	2	3	4	5
1 簡単にすぐに、立ち上げられる。	1	2	3	4	5
2 覚悟やしでできる数字の書いていること分かる。	1	2	3	4	5
3 自分が準備が足りないままなされたら、はつきり準備をする。	1	2	3	4	5
4 準備を怠らなようにしようと、それが間に合っていない。	1	2	3	4	5
5 毎年の仕事を覚えて行動する。	1	2	3	4	5
6 簡単にすぐで準備が出来る。	1	2	3	4	5

29 相手の言葉が異なることをさげすむことが出来る。	1	2	3
30 自分の感情をコントロールするのが苦手である。	1	2	3
31 知らない人に、自己紹介が上手に出来る。	1	2	3
32 自分に自信をもっている人は、すぐに見分けられる。	1	2	3
33 相手に良い感じをもったら、それを言葉に表現できる。	1	2	3
34 まわりの人たちとのあいだでトラブルが起きてでも、それ以上に行動できる。	1	2	3
35 感情を言葉にあらわす。	1	2	3

合計点

※事前に時間をとって記入することも一つの手立て。

・タイムタイマー等で活動時間を示す。



全部で35項目。記入時間の確保を。

項目4、13、27、30については、逆転項目になるので要注意!

- 自己評定尺度の記入の仕方について説明する。
- 合計点の出し方について確認する。

○自分のこれから身に付けたいスキルを確認する。

TRY② (p 6～7)

- ①苦手なことで得意なことを記入する。
- ②苦手なことはその理由も考えて記入する。
- ③自分がこれから一番身に付けたいと思う力と理由を考えて記入する。

サポートブック p 6

TRY②

【得意なこと】  
【苦手なこと】

【自分が一番身に付けたい力】

- 自己評定尺度を参考にしながら、苦手なことで得意なことを記入するように説明する。
- 苦手なことは理由も考えるように声かけする。
- これから自分が身に付けたいと思う力と理由を考えて記入するように声かけする。

④③の力がついたらどんな時に有効か考える。

(p 7)

自分が一番身に付けたい力がついたらどんな時に有効か場面を書いてみよう。(言葉でも構わないよ)

サポートブック p 7

- ☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。

・記入の仕方がわかり合計点を出すことができたか。

・自分の得意なことと苦手なことを考えることができたか。

・自分が身に付けたい力を考えることができたか。

<p>まとめ</p>	<p>○学習内容を振り返る。(p 7)</p> <p><b>今日の振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あてはまる項目にチェックする。</li> <li>・気づいたこと、感想を記入する。</li> </ul> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●記入するページをスライド等で提示する。</p> <div data-bbox="863 185 1158 383"> </div> <p>スライド I・(1)・24</p> <p>●次時の学習内容をスライド等で提示する。</p> <div data-bbox="876 506 1158 685"> </div> <p>スライド I・(1)・25</p>	<p>・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p> <p>実際のページをスライド等で示すとわかりやすい。</p>

## 指導のポイント

○ソーシャルスキル自己評定尺度を行う。TRY① p 4～5

### 個別の支援

- ・言葉の意味がとらえられない生徒への支援→ 項目ごとにわかりやすい言葉で説明する 等例) 番号1「うちとけられる」→意味：隔てなく親しむ、気を許す、くつろぐ等
- ・表の見方が分からない生徒への支援 → 番号の下に定規を当て、見る範囲を限定する 等
- ※35項目あるので、十分な時間をとって取り組む(活動の終わりの時刻は明確に伝える)。
- ・p 6の《POINT》をわかりやすく提示する。

例) 点数が高い → ソーシャルスキルの能力が高い ← カード等で示す

点数が低い → 悪いわけではない



点数が高い・低いを気にしなくていいことを伝える。

○自分のこれから身に付けたいスキルを確認する。TRY② p 6

### 個別の支援

- ・考えつかない生徒への支援→ p 6のワークシートを示しながら、「(項目を) 1つずつ考えてみよう」等の言葉かけをする(数を限定して、具体的に伝えることで見通しがもてます)。
- ・自己評定尺度を見ながら、項目を授業者がピックアップして、質問形式で生徒の考えを引き出すような関わりをする。




I ソーシャルスキルを知ろう  
 (1) 自分自身を知ろう p 8～12

- 1 単元名 ソーシャルスキルを知ろう「自分自身を知ろう」  
 2 ねらい  
 ・自分手帳を作成し、自分の得意なことや苦手なことを整理することができる。  
 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分） パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○本時の学習内容を知る。	●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	※各生徒に配布できるようにサポートブックを準備する。 ●本時の内容をスライド等で提示する。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○自分手帳を作成する。 <b>グループワーク②</b> (p 8～10) ①自分手帳作成の手順を知る。 ②記入例を参考にしなが、それぞれの項目を記入する。 ③友達の意見を聞く。 ④新たに増やしたらよい項目を話し合う(2つ) ⑤増やした項目の内容について記入する。 ⑥すべての項目が記入できたか確認する。  ○自分チェックシートを記入する。 <b>TRY③</b> (p 11) ①自分チェックシートの記入の仕方を知る。 ②あてはまるなどと思う性格のタイプに○をつける。 ③自分で新しく項目	●自分手帳作成の進め方について説明する。 ●先生の自分手帳を紹介する。 ●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。  ●☆グループになり、お互いに自分手帳を見せあうように声かけをする。 ●自分手帳最後の空欄に、2つ項目を考え記入するように説明する。 ●☆必要があれば、例を示す。 ●元の席に戻り、自分手帳を仕上げるように声かけをする。 ☆担当グループの生徒がすべての項目に記入できたか確認をする。 ●記入の仕方について、例を示して説明する。 ●☆イメージできにくい性格については、簡単に説明する。 ●チェックが終わったら、「自分の良さ」と「なりたい自分」を記入するように声かけをする。 ●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒント	●事前に指導者自身が自分手帳を作成し、モデルを示す。 ●p 8の《POINT》を読み上げて、取り組み方を伝える。 ●記入する時間を十分に確保すると共に、タイムタイマー等で活動の終わりを視覚的に知らせる（見通しをもつことができるように知らせる）。  ●相手の考えを認めることができるように、事前に発表の際のルールを提示する。 ●生徒から答えが出て来ないことを想定して、具体的な項目を2つ用意しておき、生徒から出てこない場合は提示する。  ●丸印の付け方をスライド等で視覚的に伝える。 ●タイムタイマー等で活動の時間を知らせ、早く記入の終わった生徒にはp 12についても取り組むように	・自分手帳を作成することができたか。  ・友達の意見を聞き、項目について考えることができたか。  ・自分の得意なことや苦手なことを整理することができたか。



	を考慮して記入する。 ④チェックシートを振り返り、「自分の良さ」「なりたい自分」を考える。  (p 12)	を与える。	促す。 ● p 1 2 (自分で作る項目) について具体的なタイプを2通り用意しておく。	・チェックシートの記入の仕方がわかり、自分の良さ等を考えることができたか。
まとめ	○学習内容を振り返る。(p 12) <b>今日の振り返り</b> ・あてはまる項目にチェックする。 ・気づいたこと感想を記入する。 ○次時の学習内容を聞く。 ○終わりのあいさつをする。	●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。  ●次時の学習内容について説明する。	●記入するページをスライド等で提示する。  ●次時の学習内容をスライド等で提示する。	・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。

## 指導のポイント

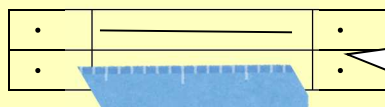
### ○自分手帳を作成する **グループワーク②** p 8～10

- ・個人思考
  - ① 記入の仕方を伝える。個別支援：ルビをふる。一つずつわかりやすく説明。
  - ② 活動の終わりの時刻を伝える。
- ↓
- ・グループワーク①
  - ① グループ支援：司会を決める。進め方の確認をする。
  - ② 肯定的に意見を聞くことができるように促す。
- ↓
- ・共有
  - ① 発表者に注目するように言葉かけ等で促す。
  - ② 出された意見を共有できるように補足説明をする。

### ○自分チェックシートをつける **TRY③** p 11～12

#### 個別の支援

- ・言葉の意味がとらえられない生徒への支援→ 漢字にルビをふる。単語の意味をわかりやすい言葉で説明する 等
- ・表の付け方が分からない生徒への支援 → 表を用いて付け方を視覚的に示す。  
チェックする項目の下に、定規や下敷きを当てて、一つの項目に注目できるようにする。



区切ると項目がわかりやすくなります。

※16項目あるので、十分な時間をとって取り組む（活動の終わりの時刻は明確に伝える）。  
チェックに時間を要する生徒については、本人に確認しながらチェックする項目を限定し、「〇〇までチェックする」と具体的な目標を示す。

※「自分手帳」も「自分チェックシート」も自分自身を知ることのできる大事なツールですが、普段は考える機会も少なく、自分自身のことをじっくりと考えることが苦手な生徒も多いと思われます。まずは最後まで取り組むことができた生徒に対して、活動を認められるような言葉かけをしましょう。そのうえで、生徒自身が気づいたことを、表を見ながら確認できる時間をもつことが大切です（肯定的な評価と、活動のフィードバック）。



## Ⅱ 生活スキルを高めよう

### Ⅱ 生活スキルを高めよう

生活スキルとは、ここでは、社会生活を送る上で必要な技能のことを指します。対人関係における挨拶、依頼、交渉、自己主張、買い物スキル、公共施設利用スキル等がそれにあたります。

また、時間の使い方やお金の管理の仕方を工夫することや友達にメールを送る時のマナーも、将来の自立した社会生活を送る上でとても大切な生活スキルになります。

#### □生活スキルが身に付くと

- ・身辺処理を行う力が身に付き、服装や持ち物などの管理ができます。
- ・場に適した服装やマナー、時間を有効に使うことができます。
- ・お金を計画的に使うことができます。
- ・相手の立場を考えた言動ができます。



#### □生活スキルが身に付いていないと

- ・場に応じたふるまいが分からず、いろいろな場面で困るかもしれません。
- ・時間の管理の仕方が身に付いていないと、やらなければならないことが後回しになり、有効に時間を使うことができないかもしれません。
- ・金銭の管理がうまくできないと、いつの間にか使えるお金がなくなったりするかもしれません。
- ・ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）等でトラブルが生じることが考えられます。


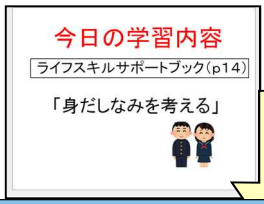

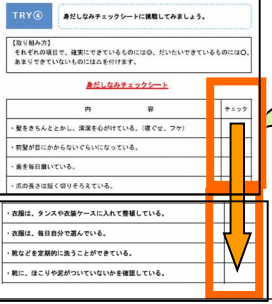
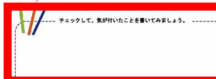

#### 生活スキル ワンポイント

生活スキルは、生活のあらゆる場面で、行動や人とのかわりて求められるスキルです。「生活スキル」を身に付けることは、社会生活をスムーズに行うことの基盤となります。



Ⅱ 生活スキルを高めよう  
 【スライド資料等解説付きバージョン】  
 (1) 身だしなみを考える p14~18

- 1 単元名 生活スキルを高めよう「身だしなみを考える」
- 2 ねらい
  - ・自分の身なりに関心をもち、社会的にふさわしい身だしなみを考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート	サポートブック (生徒人数分)		
	機器・視覚支援グッズ	パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード (グループ数)、司会役、発表役のカード (各グループ数)		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○本時の学習内容を知る。	●本時の学習内容について興味関心をもたせる。 サポートブック表紙 	※各生徒に配布できるようにサポートブックを準備する。 ●本時の内容をスライド等で提示する。  スライドⅡ・(1)・3	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。 ・生活スキルについて、興味をもって説明を聞くことができたか。 気になる生徒には注目させるため、読んでもらったり、号令をかけさせたり、集中させる声かけを！
展開	○身だしなみチェックシートを行う。 TRY④ (p14~15) ①身だしなみチェックシートに記入する。  ②気がついたことを書く。  (p15)	●記入の仕方について、例を示して説明する。 ●☆記入に困っている生徒には個別に対応する。  サポートブック p14~15 答えに戸惑っている生徒には、各項目の様子をわかりやすく説明し、自分はどうしているかを具体的に考えられるよう会話を通して支援する。  ●チェックが終わったら、自分の身だしなみについて気がついたことを記入するように声かけをする。 	●☆チェックシートの内容を具体的な場面などで説明したり、頻度を確認したりする。 全部で19項目。記入時間の確保を。  ※タイムタイマー等で活動時間を知らせる。項目全部が記入できなくても、できているところまでをきちんと評価する。 「シャツは、いつもズボンの中にきちんと入れている？」など できているところをしっかりと評価しながら、身だしなみがよりよくなるためには、どうすればいいかを考えさせる。 できていないことばかりに目がいかないように気をつける。	・身だしなみチェックシートの記入の仕方がわかり、自分の身だしなみについて考えることができたか。

○身だしなみについてグループで考える。

グループワーク③

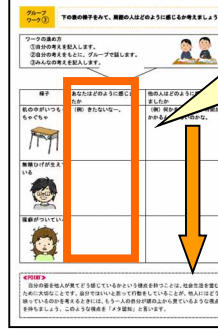
(p 16)

①自分の考えを記入する。

②グループで話し合う。

③みんなの考えを記入する。

サポートブック p 16



自分の考えは、表の左側に記入することを明確に伝える。

全員が書き込めているか確認をし、答えに困っている生徒については、イラストを一つずつ示しながら様子を説明し、会話を通して答えを促す。

●話し合いがスムーズに進むように適宜声かけなどで促す。

・タイムタイマー等で活動時間を示す。



●発表の仕方を具体的に提示する。

●グループでの役割を明確にするため、役割カードを活用する。

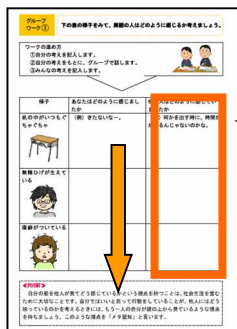
・役割をカードにして各生徒に渡す【司会、発表者、記録などをカードにする】



●発表の流れカードを活用してグループだけで、話し合いが進行できるようにする。

◎グループ活動時の司会の仕方について

- ①これから、グループで活動を行います。まず、ワークシートに、自分で記入してください。時間は、○○分をお願いします。タイマー係りの人は、タイマーをお願いします。
- ②皆さん書いたようなので、これから、グループで発表を行います。○○さんから、○○さんの流れで、順に発表してください。
- ③それでは、○○さん、発表をお願いします。書いていることを、教えてください。(又は、思ったことを書ってください、など) 順に聞いていく。
- ④みんなの考えを発表してもらいました。では、聞いたことをワークシートへ書いてください。わからないことは、周りの友達に聞いてください。



サポートブック p 16

みんなの考えは、表の右側に記入することを明確に伝える。

全員が書き込めているか、グループ内で確認をさせる。意見を聞きながら書くことが苦手な生徒に対しては、友達の書いた文章を写させてもらう等の指示をする。

・自分の考えを記入し、グループの話し合いに参加することができたか。  
・よりよい身だしなみに気づくことができたか。

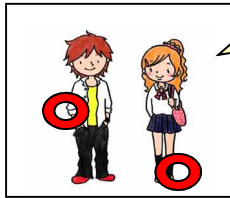
○面接の場にふさわしい身だしなみについて考える。

グループワーク④

(p 17~18)

①自分の考えを記入する。

・改善点に○をつける。



p 17のイラストを画面カメラ等で映し出し、生徒に改善したら良いところを発表させ、実際に丸印をつけながら説明するとわかりやすい。

サポートブック p 17



改善したら良いところに気付きにくい生徒に対しては、男子生徒のイラストに限定し「この男子の服装で気になるところは？」等と、注目するポイントを絞って質問すると、答えやすくなる。(女子生徒のイラストも同じ)

さらに…



・「男子生徒の髪型はどう？」「髪の色は？」  
 ・「手首の飾りはどう？」「シャツのボタンを留めてないけど、どう思う？」  
 ・「ズボンの飾りは？」「靴の色は？」など、部分ごとに具体的に質問すると、注目するポイントをさらに絞ることができ、生徒の答えを促す支援になる。(女子生徒のイラストも同じ)

・どのように改善したらよいか、自分の考えを記入する。

印を付けた場所	どのように改善すればよいか
自分の考え	
みんなの考え	

自分の考えは、表の上段に記入することを明確に伝える。

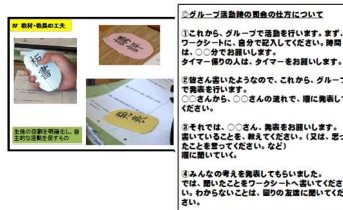
・自分の考えを記入し、グループの話し合いに参加することができたか。

全員が書き込んでいるか確認をし、答えに困っている生徒については、再度イラストを提示し、気になるところに注目させながら、改善点を答えられるように促す。

サポートブック p 18

②グループで話し合う。

・タイムタイマー等で活動時間を示す。



※グループワーク③と同じ

・面接の場にふさわしい身だしなみについて考えることができたか。

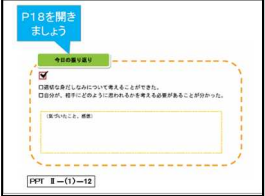

③みんなの考えを記入する。 p 18

印を付けた場所	どのように改善すればよいか
自分の考え	
みんなの考え	

みんなの考えは、表の下段に記入することを明確に伝える。

全員が書き込んでいるか、グループ内で確認をさせる。意見を聞きながら書くことが苦手な生徒に対しては、友達の書いた文章を写させてもらう等の指示をする。

サポートブック p 18

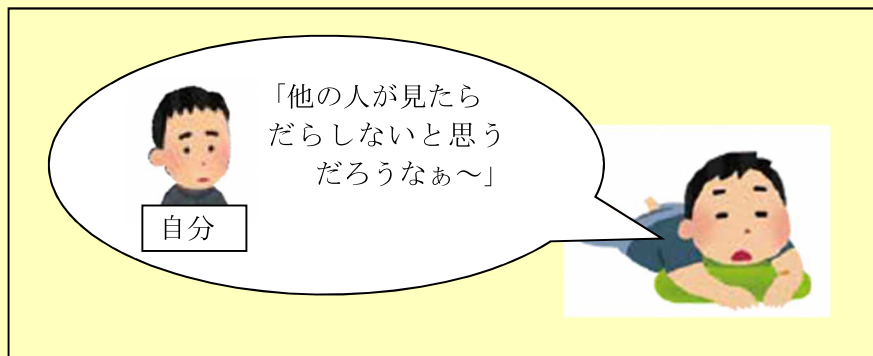
まとめ	<p>○学習内容を振り返る (p 18)</p> <p><b>今日の振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あてはまる項目にチェックする。</li> <li>・気づいたこと、感想を記入する。</li> </ul> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●記入するページをスライド等で提示する。</p>  <p>スライドⅡ・(1)・12</p> <p>●次時の学習内容をスライド等で提示する。</p>  <p>スライドⅡ・(1)・13</p>	<p>・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p>
-----	--	---	---	------------------------------------

## 指導のポイント

○生活スキルについての最初の授業なので、p 13の内容を、絵カード等を使って、具体的に説明する。  
生活スキルは、生活のあらゆる場面で求められるスキルであること、このスキルを身に付けることが社会生活をスムーズに行うことの基盤となることを十分に伝えることが大切です。

○メタ認知とは…

簡単に言うと、自分を客観的に見ること。周りから見た自分を認めること。



生徒自身が、自分の姿を他人が見てどう感じているかという視点をもつことができるようにじっくりと関わるのが大切です。

## 個別の支援

○身だしなみチェックシート TRY④ (p 14～15)

- ・◎、○、△を選ぶことに戸惑っている生徒には、教員との会話を通して様子をイメージできるように促す。
- ・内容を読み取りやすくするために、漢字にルビを振る、単語ごとに斜線で区切る等の支援をする。
- ・姿見等の鏡を準備し、実際に身だしなみをチェックしながら確認する。
- ・項目の内容を動作化したり、具体物を見せたりしてわかりやすく伝える。

**Ⅱ 生活スキルを高めよう**  
**(2) 自分自身の生活リズムを考える p 19～22**

1 単元名 生活スキルを高めよう「自分自身の生活リズムを考える」

2 ねらい

- ・自分の生活を振り返り、改善点を考えることができる。

3 学習活動

準備物	教材・ワークシート	サポートブック（生徒人数分）		
	機器・視覚支援グッズ	パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	<p>○始めのあいさつをする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p>	<p>●本時の学習内容について興味関心をもたせる。</p>	<p>※各生徒に配布できるようにサポートブックを準備する。</p> <p>●本時の内容をスライド等で提示する。</p>	<p>・話を聞く姿勢や態度が整っているか。</p>
展開	<p>○生活スケジュール表を作る。</p> <p><b>TRY⑤ (p 19)</b></p> <p>○生活リズムチェックカードの合計点を出し、得点に応じた評価を確認する。</p> <p><b>TRY⑥ (p 20)</b></p> <p>①合計点を出す。</p> <p>②合計点から、自分の生活リズムについて考える。</p> <p>③先生の説明を聞く。</p> <p>○自分の生活の改善点を考える。</p> <p><b>グループワーク⑤ (p 21)</b></p> <p>①改善点、理由、方法を記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>③改善するための方法をみんなで考え、記入する。</p>	<p>●生活スケジュール表の記入の仕方について説明する。</p> <p>●☆戸惑っている生徒には、前日の行動を具体的に質問する等して、個別に対応する。</p> <p>●点数の記入の仕方等を説明する。</p> <p>●☆困っている生徒には、個別に対応する。</p> <p>●p 21の《POINT》を取り上げながら、生活リズムを身につけることの必要性を説明する。</p> <p>●ワークの進め方を説明する。</p> <p>●☆困っている生徒には、個別に対応する。</p> <p>●話し合いがスムーズに進むように適宜声かけなどで促す。</p>	<p>●時間設定は「○分」と明示し、タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●「起床時刻」「学習する時刻」「就寝時刻」のカードを準備し、簡潔に伝える。</p> <p>●☆話し合いの進め方カードをラミネートし、各グループに配る。</p> <p>●司会役、発表役のカードをラミネートし、各グループに配る。時間設定は「○分」と明示し、タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p>	<p>・取り組み方がわかり、前日の生活スケジュール表を作ることができたか。</p> <p>・生活リズムチェックシートで合計点を出し、自分の生活リズムを考えたことができたか。</p> <p>・生活リズムを身に付けることの必要性に気づくことができたか。</p> <p>・自分の生活の改善点について考えることができたか。</p>



ま と め	○学習内容を振り返る。(p 22) 今日の振り返り ・あてはまる項目にチェックする。 ・気づいたこと、感想を記入する。  ○次時の学習内容を聞く。 ○終わりのあいさつをする。	●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。  ●次時の学習内容について説明する。	●記入するページをスライド等で提示する。  ●次時の学習内容をスライド等で提示する。	・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。
-------------	---	--	--	-----------------------------

## 指導のポイント

○授業日の1週間前から、生活リズムチェックカードをつけるように、ホームルーム等で呼びかけて準備を進めましょう。朝や帰りのホームルームで、前日のリズムをチェックすると、全員が抜かりなく準備できます。

○TRY⑤ (p 19) については、前日に宿題として提示しておくこと、授業の進行がスムーズになります。  
 ・三点固定の話 (p 21 ≪POINT≫) を準備しておくこと、よりよい理解につながります。

「三点固定」とは…「朝起きる時間」、「夜寝る時間」、「勉強を始める時間」の三つを毎日固定し、規則正しい生活習慣を身につけることができるように意識づけることです。  
 三点を決めることが難しい場合は、まずは「朝起きる時間を決める」ことから意識づけられるように生徒に投げかけてみることも大切です。

○1週間の合計得点が低い生徒 (p 21) については、否定的に関わるのではなく、まずは生徒と一緒に本人の生活を見つめることから始めましょう。グループワーク⑤ p 21 では、生徒自身が「無理なくできそうなこと」、「今の自分なら〇〇はできるかも…」という意欲がもてるように授業を進めます。

○授業後も定期的に生活リズムチェックカードをつけて生活を見直すことが、生活スキルを定着させることにつながります。継続的な取組を心がけましょう。

Ⅱ 生活スキルを高めよう

(3) 時間の管理と金銭の管理について考える p 23～26

- 1 単元名 生活スキルを高めよう「時間の管理と金銭の管理について考える」
- 2 ねらい
  - ・スケジュールを管理するために、様々なツールがあることを知ることができる。
  - ・お金の管理の工夫について考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート	サポートブック（生徒人数分）		
	機器・視覚支援グッズ	パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○本時の学習内容を知る。	●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●本時の学習内容を、スライドやスケジュール表で提示する。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○予定を忘れないための工夫を考える。 <b>グループワーク⑥</b> (p 23) ①自分の考えを記入する。 ②自分の考えをもとに、グループで話し合う。 ③みんなの考えを記入する。  ○時間を上手に使うために大事なことは何かを考える。 <b>グループワーク⑦</b> (p 24) ①自分の考えを記入する。 ②自分の考えをもとに、グループで話し合う。 ③時間を上手に使うためのポイントを記入する。	● <b>グループワーク⑥</b> p 23 の進め方を説明する。 ●☆考えを記入することに困っている生徒には個別に対応する。 ●話し合いがスムーズに進むように適宜声かけなどで促す。  ● <b>グループワーク⑦</b> p 24 の進め方を説明する。 ●☆考えを記入することに困っている生徒には個別に対応する。 ●話し合いがスムーズに進むように適宜声かけなどで促す。 ●相手の感じ方が、自分と違う感じ方であったときは、肯定的に受け取れるように声かけをする。	●カレンダーや手帳を準備し、「予定を書き込む」ことを具体的にイメージできるように説明する。  ●話し合いの進め方カードを各グループに配る。 ●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。  ●小さなホワイトボード等を用意し、実際に簡単なスケジュールを作り、「優先順位をつけること」をわかりやすく説明する。  ●話し合いの進め方カード ●タイムタイマーや時計等 ●時間を上手に使うためのポイントを具体的に2、3例カードに記入して、適宜提示する。 ●《POINT》 p 24を簡条書きしたカードを準備し、提示しながら説明する。	・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。  ・予定を忘れないための工夫を考えることができたか。  ・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。 ・時間を上手に使うために大事なことは何かを考えることができたか。

	<p>○お金を計画的に使うための工夫を考える。(p 25)</p> <p><b>グループワーク⑧</b></p> <p>①最近購入したものを記入する。</p> <p>②自分の考えを記入する。</p> <p>③自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>④みんなの考えを記入する。</p>	<p>● <b>グループワーク⑧</b> p 25 の進め方を説明する。</p> <p>● ☆考えを記入することに困っている生徒には個別に対応する。</p> <p>● 話し合いがスムーズに進むように適宜声かけなどで促す。</p>	<p>● 《POINT》 p 25 にルビをふったものを準備し、読み方や文章の内容をわかりやすく説明する。</p> <p>● 話し合いの進め方カード</p> <p>● タイムタイマーや時計等</p>	<p>・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。</p> <p>・自分の考えを記入することができたか。</p> <p>・お金を計画的に使うための工夫を考えることができたか。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○学習内容を振り返る。(p 26)</p> <p><b>今日の振り返り</b></p> <p>・あてはまる項目にチェックする。</p> <p>・気づいたこと、感想を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>● 本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>● 次時の学習内容について説明する。</p>	<p>● 記入するページをスライド等で提示する。</p> <p>● 次時の学習内容をスライド等で提示する。</p>	<p>・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p>

## 指導のポイント

- 「予定を忘れないための工夫」 **グループワーク⑥** p 23
  - ・連絡帳やメモ帳に、やるべきことを簡条書きにする（メモをつけることを心がける）。
  - ・家族の誰かに、「○時に△△をする」と伝えておく。
  - ・携帯電話を活用する（メモ機能を使う、「△△をする」時刻にアラームが鳴るようにセットする）等。
- 「時間を上手に使うためのポイント」 **グループワーク⑦** p 24
  - ・簡単なスケジュールを作る。
  - ・始める時刻を決めておく（○時から宿題を始める等）。
  - ・家族の誰かに、「○時から△△をする」と伝えておき、時間がきたら知らせてもらう。
  - ・タイムタイマー等を使う（活動の終わりや始まりを意識する）。 等
- 「お金を計画的に使うための工夫」 **グループワーク⑧** p 25
  - ・貯金箱を用意する（目標の金額や、買いたい物の名前を紙に書いて貼っておく）。
  - ・こづかいを遣う時間や曜日を決める（学校から帰ってジュースを買う、○曜日に週刊誌を買う）等。

※生徒の実態等に合わせて、**グループワーク⑥・⑦・⑧**を2校時に分けて展開することも考える。

II 生活スキルを高めよう  
 (4) 様々なツールの使い方について考える p 27～31

- 1 単元名 生活スキルを高めよう「様々なツールの使い方について考える」
- 2 ねらい
  - ・メール等を使う際のマナーを考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分）、 パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○本時の学習内容を知る。	●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●本時の学習内容を、スライドやスケジュール表で提示する。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○携帯電話を使う際のマナーを考える。 <b>グループワーク⑨</b> (p 27) ①自分の考えを記入する。 ②自分の考えをもとに、グループで話し合う。 ③みんなの考えを記入する。  ○メールやSNSなどを使用する場合のメリットとデメリットを考える。 <b>グループワーク⑩</b> (p 28) ①自分の考えを記入する。 ②自分の考えをもとに、グループで話し合う。 ③みんなの考えを記入する。 ○メールやSNS等の使い方のマナーを考える。 ・意味の取り違いによるトラブルの例	● <b>グループワーク⑨</b> p 27 の進め方を説明する。 ●☆考えを記入することに困っている生徒には個別に対応する。 ●話し合いがスムーズに進むように適宜声かけなどで促す。  ● <b>グループワーク⑩</b> p 28 の進め方を説明する。 ●☆考えを記入することに困っている生徒には個別に対応する。 ●話し合いがスムーズに進むように適宜声かけなどで促す。	●話し合いの進め方カードを各グループに配る。 ●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。	・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。  ・自分の考えを記入することができたか。 ・携帯電話を使う際のマナーを考えることができたか。  ・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。 ・メリット・デメリットを考えることができたか。

<p>グループワーク⑪ (p 29)</p> <p>・顔文字によるトラブルの例</p> <p>グループワーク⑫ (p 30)</p>	<p>●グループワーク⑪ p 29 の進め方を説明する。 ●☆考えを記入することに困っている生徒には個別に対応する。 ●話し合いがスムーズに進むように適宜声かけなどで促す。</p> <p>●グループワーク⑫ p 30 の進め方を説明する。 ●☆考えを記入することに困っている生徒には個別に対応する。 ●話し合いがスムーズに進むように適宜声かけなどで促す。</p>	<p>●話し合いの進め方カード ●タイムタイマーや時計等</p> <p>●話し合いの進め方カード ●タイムタイマーや時計等</p>	<p>・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。 ・メールやSNS等を使うときのマナーを考えることができたか。</p>
<p>○学習内容を振り返る。(p 31)</p> <p>今日の振り返り</p> <p>・あてはまる項目にチェックする。 ・気づいたこと、感想を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。 ○終わりのあいさつをする。</p> <p>まとめ</p>	<p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●記入するページをスライド等で提示する。</p> <p>●次時の学習内容をスライド等で提示する。</p>	<p>・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p>

## 指導のポイント

- 授業の展開をグループワーク⑨とグループワーク⑩ p 27～28、グループワーク⑪とグループワーク⑫ p 29～30の2つに分けて取り組むとより有効です。
- グループワーク⑨とグループワーク⑩ p 27～28については、各ツールのメリット、デメリットを事前にインターネット等で調べておくと、生徒の理解をより促すことにつながります(「SNSのメリット・デメリット」等で検索すると情報が得られます)。LINEのデメリットの一つとしては「人間関係の距離感が近づきすぎる」ことがあげられます。人間関係のトラブルに発展することも多いので具体例を示しながら授業で取り上げることも大切です。
- グループワーク⑪ p 29とグループワーク⑫ p 30については、文章だけでは場面の状況を読み取ることが難しい生徒がいることを想定して、場面を簡単なイラストで伝える、実際にロールプレイで演じて伝える等、理解を促すことができるような手立てを準備しておく必要があります。



# Ⅲ コミュニケーションの力を高めよう

## Ⅲ コミュニケーションの力を高めよう

「コミュニケーション」とは社会生活を送るうえで、人間が互いに意思や感情、思考を伝達し合うことです。また、言語・文字・身振りなどを通して行われるものです。

例えば、人とかかわりでは、友達に思いを伝える方法や、会話の仕方、メールの送り方等、マナーとして知っていると、お互いに不愉快な気持ちになることを予防できます。公共施設や交通機関を使う時も、人に尋ねるスキルを知っていると困ることはありません。

将来的に職場や学生生活において、臨機応変に対応することが求められる場面が多くなりますが、そのような時、自分で判断して行動できるためのコミュニケーションの力を身に付けておくことは、とても大切なことです。

### □コミュニケーションの力を身に付けると

- ・言いたいことを上手に伝えることができます。
- ・人間関係が円滑になります。
- ・困ったことがあった時に、周りの人に助けを求めることができます。
- ・他者に対して上手に依頼ができる、等が考えられます。

### □コミュニケーションの力が身に付いてないと

- ・友達と楽しく過ごせない。
- ・困った時に助けを求められない。
- ・友達の怒らせてしまう。
- ・失敗した時に適切な謝り方が分からない、等が考えられます。



### コミュニケーションスキル ワンポイント

「聞く」力がついてくると、相手が言っていることを理解するだけでなく、相手が口に出していない感情や思考をうまく推測していくことができるようになってきます。

また「話す」力がついてくると、一方的に自分の話したいことだけを話すのではなく、相手の返答によって話題にしたいことを的確に理解し、やりとりを続けることができるようになります。





な評価はせず、まずは生徒のありのままの様子を受け止め、回答できたことを評価する。

●コミュニケーションチェックをした後に、コミュニケーションができるかどうかを伝える。  
そして、具体的な方法に移る。

グループワーク⑭  
(p 36)

○ケース①②を演じて、コミュニケーションをしていく上で大切なことを考える  
「ケース①」挨拶  
「ケース②」物を頼む  
・ロールプレイの見本を見る。  
・A役B役を決める。  
・グループ内でロールプレイをする。  
・グループで話し合いをする。  
※Aさんの気持ちは  
※Bさんの気持ちは  
※「ケース①」挨拶をする(される)時に大切にすることは

●グループワーク⑭ p 36

の進め方を説明する。  
●学習の進め方について説明する。  
☆ロールプレイの見本を見せる。  
(A役:○○T B役:○○T)  
●☆A役、B役を決めるように声かけをする。(①と②の配役は変える。)  
●A役とB役に台本を配る。他の人に見せないように声かけをする。  
●☆ロールプレイが終わったら、ワークシートを配る。  
●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。  
●話し合いが終わったら、グループごとに発表してもらおう。  
※「ケース①」が終わったら「ケース②」をする。

●漢字にルビをふったコミュニケーションチェックシートを準備し、適宜読み方や内容をわかりやすく説明する。

相手の話を

○聞く力…相手が話しやすくなる雰囲気  
○伝える力…どの部分から伝えるか、どのように伝えるか  
○聞きだす力…言い方「わからん」

あなたにとってのお得感

○相手と気持ちやすく接するための工夫があれば  
⇒相手との関係がよくなる  
⇒いい雰囲気  
⇒人とのかわりでのストレスが減るかも

スライドⅢ・(1)・9

●《POINT》p 34を箇条書きにしてカード等で提示する。

例) 相手を見る、よく聞こ

える声で、心を込めて等

●《POINT》p 34 箇条書きにしてカード等で提示する。

例) 共通の話題(授業や行

事のこと等)

グループワーク⑭

次の場面を実際に演じて、コミュニケーションをしていく上で大切な点を考えましょう。

①Aさん役とBさん役を決めます。  
②それぞれの台詞を述べます。  
③Aさん、Bさんがどのように感じたかを記入します。  
④みんなでそれぞれの気持ちを共有し、コミュニケーションをしていく上で大切にしたいなと思うことをみんなで話し合い記入します。

スライドⅢ・(1)・10

●話し合いの進め方カードを各グループに配る。

記録

ケース①(挨拶)

※講師が実際に場面を演じて見せました。

A「おはよう。(自分の名前を覚えてください)」  
B「……」(自分の名前を覚えて、挨拶を返す)。  
A「おはよう。お名前が何ですか?」(名前を聞く)。  
B「何だ?」(自分の名前)。

※みんなの話し合い

※みんなの話し合い

※みんなの話し合い

※みんなの話し合い

※みんなの話し合い

サポートブック p 36

・挨拶の仕方、友達との接し方について考えることができたか。

・ロールプレイを通して、それぞれの場面で気を付けることを考えることができたか。

※「ケース②」  
物を借りたい時、貸す時（断る時）に大切にすることは  
・グループの代表が発表する。

グループワーク⑬

(p 35)

- ①自分の考えを記入する。
- ②自分の考えをもとに、グループで話し合う。
- ③みんなの考えを記入する。
- ④場面を選び、ペアで実演する。

- ☆考えを記入することに困っている生徒には個別に対応する。
- 話し合いがスムーズに進むように適宜声かけなどで促す。

- 挨拶をモデルで示し、実際に生徒一人一人と挨拶を交わす。挨拶が苦手な生徒には無理に返事を要求せず、挨拶が気持ちのよいものであることを伝えられるように心がける。
- 各グループに場面を一つ選ぶように指示し、グループで考えた関わり方をペアで実演させる。
- 友達との付き合いが得意でない人もいることを伝え、” 苦手でも大丈夫 ” という安心感をもたせる。

- タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。



35ページ

グループワーク⑬ 人と接する時に、それぞれの場面でどんなことに気を付けるか考えてみましょう。

- ①自分の考えを記入します。
- ②自分の考えをもとに、グループで話します。
- ③みんなの考えを記入します。

場面	自分が気を付けること 【みんなの考え】	理由 【みんなの考え】
挨拶	自分が見て相手を挨拶する。 自分の考え 【みんなの考え】	

スライド III・(1)-23

グループワーク⑬ 人と接する時に、それぞれの場面でどんなことに気を付けるか考えてみましょう。

ワークの目的  
①自分の考えを記入します。  
②自分の考えをもとに、グループで話します。  
③みんなの考えを記入します。

場面	自分が気を付けること 【みんなの考え】	理由 【みんなの考え】
挨拶	[ ] [ ]	[ ] [ ]
話をする時	[ ] [ ]	[ ] [ ]
話を聞く時	[ ] [ ]	[ ] [ ]
物を頼んだり断ったりする時	[ ] [ ]	[ ] [ ]
その他	[ ] [ ]	[ ] [ ]

サポートブック p 35

④みんなの考えを発表しましょう。

場面	自分が気を付けること 【みんなの考え】	理由 【みんなの考え】
挨拶	1	
話をする時	2	
話を聞く時	3	
物を頼んだり断ったりする時	4	
その他	5 6	

PPT III・(1)-27

＜POINT＞  
コミュニケーションの基本は挨拶です。

気持ちの良い挨拶をするには

相手に聞こえる声で 相手の方を見て

笑顔で

PPT III・(1)-28

○学習内容を振り返る。今日の振り返り  
(p 37)  
・あてはまる項目にチェックする。  
・気づいたこと、感想を記入する。

- 本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。

- 記入するページをスライド等で提示する。

サポートブック p 37

A 「それじゃあ読んで。」 (相手を見て話す)  
B 「無理無理。」 (自分だけ話している)  
A 「悪くもないと聞かされた。」 (悪くもないと聞かされた)  
B 「聞いてよ。」 (話を聞かずに)

自分の振り返り

自分の振り返り

みんなの振り返り

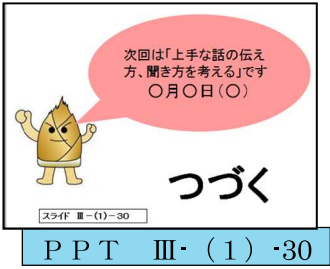
今日の振り返り

自分だけが話しているとき、相手を見て話すことができた。  
 友達と話すときに、どのような言い方が良かったか振り返ることができた。  
(気づいたこと、感想)

- ・ 取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。
- ・ コミュニケーションをしていく上で大切なことを考えることができたか。

- ・ 学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。

まとめ

<p>○次時の学習内容を聞く。 ○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●次時の学習内容をスライド等で提示する。</p> 	
---------------------------------------	--------------------------	--	--

## 指導のポイント

コミュニケーション力について考える基本となる単元なので、授業の展開を p 33～35、p 36～37 の2つに分けてじっくりと取り組むとより有効でしょう。挨拶や友達との接し方は、とても大切なコミュニケーションの基本です。教師が挨拶のモデルを示し、生徒と実際に挨拶を交わすことから始めることも非常に大事な時間となります。

また、コミュニケーションが得意でない人がいることを伝え、“得意でなくても大丈夫”という安心感をもたせるような言葉かけや、授業の雰囲気作りが心がけましょう。そのことがお互いを認め合うことにつながり、よりよい関係を築いていくことのできる土台となります。

○コミュニケーションの単元では、モデリングやロールプレイが非常に重要な指導方法となります。この単元では、その2つの方法のエッセンスを取り入れながら、実際にペアで実演する場面を設定すると、この後に続く内容にスムーズにつなげていくことができます。実際に隣の友達と、気をつけることを意識しながら関わるのが、モデリングやロールプレイをスムーズに行っていく下地になります。また、実際に関わる場면을体験することによって、授業内容の振り返りにもつながります。その際に、「ここが良かった」「○○すればもっと良くなる」等、生徒が実行したスキルの出来栄について具体的に伝えていくことも大切です。

### 個別の支援

○コミュニケーションチェックシート p 33～34

- ・ルビを振ったものを用意する。
- ・言葉の意味をわかりやすく伝える（「相槌」「謝罪」「意外の意味」等は、簡単な言葉に言い換えたり、実際に具体例を上げたりしながらわかりやすく伝える）。

Ⅲ コミュニケーションの力を高めよう  
 (1) 自分のコミュニケーション力について考える p 33～37

- 1 単元名 コミュニケーションの力を高めよう「自分のコミュニケーション力について考える」②
- 2 ねらい
  - ・自分のコミュニケーションスキルを確認する。
  - ・友達との関係を壊さない接し方に気付くことができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分） パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○本時の学習内容を知る。	・本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●本時の学習内容を、スライドやスケジュール表で提示する。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○コミュニケーションをしていく上で大切な点を考える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">グループワーク⑭</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">「ケース①」挨拶 (p 36)</div> ①ロールプレイの見本を見る。 ②A役B役を決め、グループ内でロールプレイをする。 ③グループで話し合いをする。 ④みんなの考えを記入する。 ⑤グループの意見を発表する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">「ケース②」物を頼む (p 37)</div> ①ロールプレイの見本を見る。 ②A役B役を決め、グループ内でロールプレイをする。 ③グループで話し合いをする。 ④みんなの考えを記入する。 ⑤グループの意見を発表する。	● <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">グループワーク⑭</div> p 36 の進め方を説明する。 ☆ロールプレイの見本を見せる。 (A役：T1 B役：T2) ●☆A役、B役を決めるように声かけをする。(①と②の配役は変える。)  ●☆記入に困っている生徒には、個別に対応する。	●A役B役に台本を配り、他の人に見せないように声かけをする。  ●話し合いの進め方カードを各グループに配る。 ●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。	・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・コミュニケーションをしていく上で大切なことを考えることができたか。
		●☆A役、B役を決めるように声かけをする。(①と②の配役は変える。)	●A役B役に台本を配り、他の人に見せないように声かけをする。  ●話し合いの進め方カード ●タイムタイマー等	・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・ロールプレイを通して、それぞれの場面で大切にすることなどを考えることができたか。

ま と め	○学習内容を振り返る。 <b>今日の振り返り</b> <b>(p 37)</b> ・あてはまる項目にチェックする。 ・気づいたこと、感想を記入する。 ○次時の学習内容を聞く。 ○終わりのあいさつをする。	●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。  ●次時の学習内容について説明する。	●記入するページをスライド等で提示する。  ●次時の学習内容をスライド等で提示する。	・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。
-------------	---	--	--	-----------------------------

## 指導のポイント

コミュニケーション力について考える基本となる単元なので、授業の展開を p 33～35、p 36～37 の2つに分けてじっくりと取り組むとより有効でしょう。挨拶や友達との接し方は、とても大切なコミュニケーションの基本です。教師が挨拶のモデルを示し、生徒と実際に挨拶を交わすことから始めることも非常に大事な時間となります。

また、コミュニケーションが得意でない人がいることを伝え、“得意でなくても大丈夫”という安心感をもたせるような言葉かけや、授業の雰囲気作りに心がけましょう。そのことがお互いを認め合うことにつながり、よりよい関係を築いていくことのできる土台になります。

○**グループワーク⑭** p 36～37 では、授業内容にロールプレイを用います。「こんな場合はこうすればよい」と知っているだけでは、実際の場面でうまく実行できないことも多いので、授業で実際の行動を繰り返し、ロールプレイを通してよりよいスキルの定着を図ります。

ロールプレイでは、生徒にとって現実味のある具体的な場面を設定します。ここでは、「登校時の挨拶」、「友達からボールペンを貸してほしいと言われた」場面を設定していますが、生徒やクラスの実情に合わせて、日常生活の多様な場面を設定して取り組むことが効果的です。今回は、グループで配役を決めロールプレイを行いますが、クラスの人数等を考慮しながら、できるだけいろいろな相手と練習できるように授業展開を工夫することも大切です。

### 個別の支援

○**ケース①** p 36 の（つっけんどんに）や、**ケース②** p 37 の（とりつくしまもない様子で）など、心情や様子を読み取ることが難しい言葉は、わかりやすい言葉に言い直す、実際に教師が演じて見せながら具体的に様子を伝える等の支援を行きましょう。相手の気持ちを読み取ることや、役になりきって演じることが苦手な生徒には、じっくりと時間をかけて場面の様子等を伝える必要があります。

ロールプレイを続けていくためには、生徒自身が、“恥ずかしかったけど、演じてみて楽しかった”など、「楽しい」と思えるよう、肯定的な言葉かけや、お互いを認め合える雰囲気づくりに心がけながら、生徒が主体的に参加できるように支援することが大切です。

Ⅲ コミュニケーションの力を高めよう  
 (2) 上手な話の伝え方、聴き方を考える p 38～42

- 1 単元名 コミュニケーションの力を高めよう「上手な話の伝え方、聴き方を考える」①  
 2 ねらい  
 ・上手な話の伝え方、聴き方を考えることができる。  
 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分） パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○本時の学習内容を知る。	●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●本時の内容をスライドやスケジュールカードなどで視覚的に提示する。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○自分手帳を使って自己紹介をする。 <b>グループワーク⑮</b> (p 38) ①グループで自己紹介をする。 ②友達の自己紹介を聞いて、友達へのアドバイスを記入する。 ③みんなで話し合う。 ④友達が伝えてくれた自分へのアドバイスを記入する。  ○相手の話を聞く時や、人に話す時に注意することを考える。 <b>グループワーク⑯</b> (p 39) ①自分の考えを記入する。 ②グループで話をする。 ③みんなの考えを記入する。	● <b>グループワーク⑮</b> p 38 の進め方を説明する。 ●☆各グループにT2として入り、声かけを行う。また、適宜評価も行う。  ● <b>グループワーク⑯</b> p 39 の進め方を説明する。	●p 9～10の自分手帳を使うことを知らせる。  ●話し合いの進め方カードを各グループに配る。 ●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。  ●《POINT》p 39の内容を簡潔に書いたカードを提示し、わかりやすく説明する。 ●話し合いの進め方カードを各グループに配る。 ●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。  ●声の大きさや相手との距離がイメージしやすいように、イラスト等を準備して視覚的に伝える。	・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。  ・友達へのアドバイスを考えて記入することができたか。 ・自分へのアドバイスを受けて、よりよい伝え方を考えることができたか。  ・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。  ・話を聞く時や話す時に、どんなところに注意するか考えることができたか。

まとめ	<p>○学習内容を振り返る。(p 42)</p> <p>今日の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あてはまる項目にチェックする。</li> <li>・気づいたこと、感想を記入する。</li> </ul> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●記入するページをスライド等で提示する。</p> <p>●次時の学習内容をスライド等で提示する。</p>	<p>・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p>
-----	---	---	---	------------------------------------

## 指導のポイント

コミュニケーションの基本となる、話の伝え方、聴き方に取り組む単元です。じっくりと時間をとってグループワーク⑮とグループワーク⑯ (p 38～39) で1校時、TRY⑧とグループワーク⑰ (p 40～42) で1校時と、構成を2つに分けて取り組みます。

○グループワーク⑮ p 38では、p 9～10で作成した自分手帳を使って、グループで自己紹介をします。

自己紹介の内容を考える時間を3分程度に設定していますが、生徒の実態に応じて、余裕を持って長めに時間設定することも必要です。自己紹介を行う際には、「発表者以外は、ワークブックを閉じる」「発表者の方に顔を向けてしっかりと聞く」等、聞くことに集中できるようなルールを事前に伝えておくと、上手に聞くことへの意識づけになります。

グループで話し合った後、生徒一人一人が友達からアドバイスをもらいますが、短時間で構わないので、「もっと良くなる場所」に気をつけながら、ペアで再度自己紹介の項目を発表し合うなど、すぐにフィードバックする時間をとると、より効果的です。

○グループワーク⑯ p 39では、聞くとき、話すときに注意することをグループで考えます。グループで考えた具体的な方法を、簡単なロールプレイを通して、確認し合うこともより効果的です。

(例) うなずきながら話を聞く。→ グループでペアを作り、「うなずきながら話を聞く」ことを確かめ合う。

SSTの授業は、  
実演することが効果的です。



学んだことをすぐにフィードバックし、定着を図ります。

学び合いの中で、“実生活の中でも使ってみようかな”と生徒自身が思えることが大切です。

Ⅲ コミュニケーションの力を高めよう  
 (2) 上手な話の伝え方、聴き方を考える p 38～42

- 1 単元名 コミュニケーションの力を高めよう「上手な話の伝え方、聴き方を考える」②  
 2 ねらい  
 ・上手な話の伝え方、聴き方を考えることができる。  
 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック (生徒人数分) パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード (グループ数)、司会役、発表役のカード (各グループ数)		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○本時の学習内容を知る。	●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●本時の内容をスライドやスケジュールカードなどで視覚的に提示する。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○伝え方、聴き方チェックシートに記入する。 <b>TRY⑧</b> p 40  ○伝え方、聴き方を意識しながら、昨日の出来事を話す。(p 41) <b>グループワーク⑱</b> ①昨日の出来事を5W1Hカードに記入する。 ②カードを使って昨日の出来事を話す。 ③自分の考えを記入する。 ④みんなで話し合う。  ⑤みんなの考えを記入する。	● <b>TRY⑧</b> p 40の取り組み方を伝える。  ● <b>グループワーク⑱</b> p 41の進め方を説明する。  ●☆記入に困っている生徒には、会話を通して聞き取りながら、記入できるように促す。  ●全員が p 41の表に記入できているか確認をし、困っている生徒にはグループ内で助け合うことができるように促したり、個別に支援をしたりする。	●p 40のチェックシートをスライド等で提示し、記入の仕方を具体的に伝える。 ●p 40《POINT》を簡条書きにしたカード等を提示し、声の大きさや相手との距離がイメージしやすいように、イラスト等を準備して視覚的に伝える。  ●p 41【5W1Hカード】を拡大して模造紙等で提示し、教師がモデルとなって「いつ」「どこで」「誰が」「どのように」「何をした」を実際に書きながら説明をする。  ●話し合いの進め方カードを各グループに配る。 ●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。	・記入の仕方がわかり、自分の伝え方、聴き方をチェックすることができたか。  ・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。  ・5W1Hカードを使って昨日の出来事を話すことができたか。  ・伝え方、聴き方で大切にすることを考えることができたか。



まとめ	<p>○学習内容を振り返る。(p 42)</p> <p>今日の振り返り</p> <p>・あてはまる項目にチェックする。</p> <p>・気づいたこと、感想を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●記入するページをスライド等で提示する。</p> <p>●次時の学習内容をスライド等で提示する。</p>	<p>・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p>
-----	--	---	---	------------------------------------

## 指導のポイント

コミュニケーションの基本となる、話の伝え方、聴き方に取り組む単元です。じっくりと時間をとって、**グループワーク⑮**と**グループワーク⑯**(p 38～39)で1校時、**TRY⑧**と**グループワーク⑰**(p 40～42)で1校時と、構成を2つに分けて取り組みます。

### 個別の支援

○**TRY⑧**p 40では、伝え方、聴き方の自己チェックをします。生徒の実態に合わせて、チェックシートの中の項目の漢字にルビをふる、単語の意味や項目の内容をわかりやすく伝える等の支援を行いましょ

・「声の大きさに注意を払う」とは?… 声の大きさを視覚化して伝える。 例) 声のものさし

・「相手にとって都合が悪いタイミング」とは?… 具体的な場面をわかりやすく伝える。  
何かを始めようとしているタイミング  
一生懸命ノートを写しているとき  
他の友達と大事な話をしているとき 等。

・「近すぎない距離」とは?… パーソナルスペース(自分を中心に両手を広げた空間)などを視覚化して伝える。

※サポートブックの文面だけでは伝わらない場合は、教師が実演でモデルを示す等の支援も効果があります。

○**グループワーク⑰**p 41では、5W1Hカードを使って昨日の出来事を話します。グループで、伝え方、聴き方、それぞれに大切にしたい点を話し合いますが、話し合った具体的な方法を、グループ内でペアを作り、実演しながら確認するとより効果的です。

Ⅲ コミュニケーションの力を高めよう  
 (3) 言葉づかいについて考える p 43～46

- 1 単元名 コミュニケーションの力を高めよう「言葉づかいについて考える」①  
 2 ねらい  
 ・様々な相手に対する、ふさわしい言葉づかいを考えることができる。  
 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック (生徒人数分) パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード (グループ数)、司会役、発表役のカード (各グループ数)		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○本時の学習内容を知る。	●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●本時の内容をスライドやスケジュールカードなどで視覚的に提示する。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○言葉づかいについて考える。(p 43) <b>グループワーク⑱</b> ①自分の考えを記入する。 ②自分の考えをもとに、グループで話し合う。 ③みんなの考えを記入する。 ④グループごとに発表し、全体で共有する。  ○目上の人との会話で気を付けることを考える。 <b>TRY⑲ (p 44)</b> ①友達や先生に対しての言い方 ・個人思考 ・全体で共有 ②目上の人に対しての言い方 ・個人思考 ・全体で共有 ③場面をピックアップして、ペアで言い方を確認する。	● <b>グループワーク⑱ p 43</b> の進め方を説明する。 ●☆各グループにT2として入り、適宜声かけを行う。 ●どんなことに注意をして話をすればよいかグループで考えさせる。 ●すべての生徒がp 43の表に記入できているか確認し、未記入の生徒には、個別に支援をしたり、グループ内で助け合ったりできるように促す。  ●個人思考を促し、答えに困っている生徒には個別に支援をする。 ●すべての生徒がp 44の表を完成しているかを確認し、未記入の項目がある生徒には教師のモデル解答を視写させる。  ●代表生徒と一緒にモデルを実演する。 ●生徒の実態に応じて、目上の人イメージしやすいように、ペアによっては教師が相手役に入る。	●話し合いの進め方カードを各グループに配る。 ●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。  ●各グループの意見を聞いた後、「相手によって言葉づかいを変えている理由」を簡潔に書いたカードを提示し、グループの意見と照らし合わせながら全体で共有する。  ●モデルになる答えを準備しておき、個人思考の後で、スライドやカードなどで提示する。	・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。 ・言葉づかいについて考えることができたか。  ・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。

<p>④敬語についての説明を聞く。</p> <p>⑤目上の人に対する言い方を全体で確認する。</p>	<p>●目上の人にはていねいな言葉づかいをすることがマナーであることを説明する。</p> <p>●全員で各場面の言い方を発表するように先導する。</p>	<p>●「相手によって言葉づかいを変えている理由」を簡潔に書いたカードを提示する。</p> <p>●モデルになる答えを提示し、全員で読ませる。</p>	<p>・目上の人への言葉づかいを考えることができたか。</p>
<p>○学習内容を振り返る。(p 46)</p> <p>今日の振り返り</p> <p>・あてはまる項目にチェックする。</p> <p>・気づいたこと、感想を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p> <p>まとめ</p>	<p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●記入するページをスライド等で提示する。</p> <p>●次時の学習内容をスライド等で提示する。</p>	<p>・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p>

## 指導のポイント

コミュニケーションの基本となる、言葉づかいについて考える単元です。じっくりと時間をとって、

グループワーク⑱とTRY⑨ (p 43～44) で1校時、グループワーク⑲とグループワーク⑳ (p 45～46) で1校時と、構成を2つに分けて取り組みます。

○グループワーク⑱ p 43 では、相手によって言葉づかいを変える理由を考えます。

相手の気持ちを考えることが苦手な生徒にとっては、目上の人を敬う気持ちは、更にわかりにくいものです。エチケットやマナーとして守るべきものであることを、どのようにわかりやすく伝えるかが大事な支援のポイントになります。敬語のもつ意味や使い方を、理解しにくいことから丁寧に伝えていきましょう。簡単なロールプレイにおいても、生徒同士の実演では、目上の人をイメージしにくい生徒がいると予想されます。その場合には、授業者が相手役で入ったり、管理職等をゲストティーチャーに迎え、より実生活に近い場面設定をすることも大事な支援の一つになります。大人との関わりを演じる場面では、実際に大人の方に参加していただくことがより効果が上がります。授業時間に参加が難しい場合は、事前に各場面を想定した写真撮影に参加していただき、スライド等で視覚的に伝える方法をとるなど、教材の工夫を行いましょう。

また、普段使い慣れていない敬語は定着が難しいと思われませんが、ペアワークや全体共有の場面で、できるだけ多くの回数、敬語を話したり聞いたりする活動を取り入れることで定着を促すことができると考えます。限られた授業時間の中で、実際に敬語を話す、聞くという体験を繰り返し設定できればより有効です。



このような場面を、授業でどのように設定するかが支援のポイント

- ・ゲストティーチャー
- ・本人参加の写真撮影→スライド等の視覚教材

敬語って何？  
校長先生には、何て言うんだっけ？

**Ⅲ コミュニケーションの力を高めよう**  
**(3) 言葉づかいについて考える p 43～46**

- 1 単元名 コミュニケーションの力を高めよう「言葉づかいについて考える」②
- 2 ねらい ・様々な相手に対する、ふさわしい言葉づかいを考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート	サポートブック（生徒人数分）		
	機器・視覚支援グッズ	パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数）		
	学習活動	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	<p>○始めのあいさつをする。</p> <p>○前時の振り返りをする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p>	<p>●本時の学習内容について興味関心をもたせる。</p>	<p>●本時の内容をスライドやスケジュールカードで視覚的に提示する。</p> <p>●p 43、44の表を開くよう指示する。</p>	<p>・話を聞く姿勢や態度が整っているか。</p>
展開	<p>○言葉づかいについて考える。 p 45</p> <p><b>グループワーク⑱</b></p> <p>①ロールプレイの見本を見る。</p> <p>②来校者役、A役を決め、グループ内でロールプレイをする。</p> <p>③来校者の気持ちを記入する(個人思考)。</p> <p>④Aさんの台詞をグループで考える。</p> <p>⑤台詞を変えた印象をグループで話す。</p> <p><b>グループワーク⑳</b> p 46</p> <p>①自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>③みんなの考えを記入する。</p> <p>④グループごとに発表し、全体で共有する。</p>	<p>●<b>グループワーク⑱</b> p 45の進め方を説明する。</p> <p>●☆ロールプレイの見本を見せる。 (来校者役：T1 B役：T2 (生徒代表))</p> <p>●来校者役、B役を決めるように声かけをする。</p> <p>●来校者は目上の人であることを伝え、より具体的に場面を捉えられるように促す。</p> <p>●<b>グループワーク⑳</b> p 46の進め方を説明する。 「人から→先生から」と相手を具体的に設定して話を進める。</p> <p>●すべての生徒が p 46の表に記入できているか確認し、未記入の生徒には、個別に支援をしたり、グループ内で助け合ったりできるように促す。</p>	<p>●話し合いの進め方カードを各グループに配る。</p> <p>●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。</p> <p>●来校者役、A役に台本を配り、場面の流れを説明する。</p> <p>●p 43、44を参考にすること指示する。</p> <p>●TRY⑨ p 44の表を見るように指示をし、目上の人への言い方であることを確認する。</p> <p>●話し合いの進め方カードを各グループに配る。</p> <p>●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。</p> <p>●各グループの意見を聞いた後、《POINT》 p 46の内容を簡潔に書いたカードを提示し、グループの意見と照らし合わせながら全体で共有する。</p>	<p>・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。</p> <p>・ロールプレイや話し合いを通して、よりよい言い方を考えることができたか。</p> <p>・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。</p> <p>・指示や話がわからなかった時、聞き逃してしまった時にどうすればよいか考えることができたか。</p>

まとめ	○学習内容を振り返る。(p 46) 今日の振り返り ・あてはまる項目にチェックする。 ・気づいたこと、感想を記入する。	●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。	●記入するページをスライド等で提示する。	・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。
	○次時の学習内容を聞く。 ○終わりのあいさつをする。	●次時の学習内容について説明する。	●次時の学習内容をスライド等で提示する。	

## 指導のポイント

コミュニケーションの基本となる、言葉づかいについて考える単元です。じっくりと時間をとって、グループワーク⑱とTRY⑨ (p 43～44) で1校時、グループワーク⑲とグループワーク⑳ (p 45～46) で1校時と、構成を2つに分けて取り組みます。

○グループワーク⑲ p 45では、来校者が授業参観に来ている場面を簡単なロールプレイで確認します。

来校者は、目上の人であることを伝え、より具体的に場面の様子を伝えるとイメージが付きやすいと考えます。その際に、大人の方に授業に参加してもらい来校者を演じていただく、事前に授業参観に来た場面の撮影を行い、スライド等で視覚的に伝える等の支援を行えば、より効果的です。

このワークでは、言い方を変えるとどのように印象が変わるのかを簡単なロールプレイを通して考えます。

○p 45 ケース①の来校者の気持ちに気づかせることがポイントになります。相手の気持ちを読み取ることが苦手な生徒に対しては、繰り返し場面の様子を伝え、じっくりと考える時間をとる必要があります。やりとりの少ない場面ですが、相手の気持ちを考えることに丁寧に取り組みましょう。その上で、よりよい伝え方をグループで考えます。台詞を変えたときの印象をしっかりと捉えさせ、全体で共有していきましょう。その際に、再度ロールプレイを行い、よりよい伝え方を練習することも大事な時間になります。

○グループワーク⑳ p 46では、指示された時に内容が分からずに困った場面について考えます。この場面では「人から」が、友達なのか先生なのかで、ずいぶん印象が変わってきます。まずは、「先生から」と人物を限定すると、より具体的に考えることができます。人が「先生」である場合は、目上の人への関わり方になるので、グループワーク⑱とTRY⑨ (p 43～44) を振り返りながら、敬語の使い方を考える機会にすることができます。

このワークでは、困ったときにどのようにすればよいのかを考えます。p 46 《POINT》の内容を丁寧に伝えて、実際の生活でも使えるように支援をしていきましょう。

Ⅲ コミュニケーションの力を高めよう  
 (4) 友達との上手な付き合い方について考える p 47～51

- 1 単元名 コミュニケーションの力を高めよう「友達との上手な付き合い方について考える」①  
 2 ねらい ・上手な依頼や断り方を考えることができる。  
     ・友達の気持ちを考慮した声のかけ方（誘い方）を考えることができる。  
 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分） パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○本時の学習内容を知る。	●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●本時の学習内容を、スライドやスケジュール表で提示する。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○人に何かを依頼するとき、断るときに気を付けることを考える。 <b>グループワーク①</b> p 47 ①自分の考えを記入する。 ②グループで話し合う。 ③みんなの考えを記入する。 ④グループごとに発表し、全体で共有する。  ○友達を食堂に誘う場面を演じて、断り方について考える。 <b>グループワーク②</b> p 48 ①ロールプレイの見本を見る。 ②A役B役を決め、グループ内でロールプレイをする。 ③グループで話し合いをする。 ④みんなの考えを記入する。 ⑤グループごとに発表し、全体で共有する。	● <b>グループワーク①</b> p 47 の進め方を説明する。 ●すべての生徒が p 47 の表に記入できているか確認し、未記入の生徒には、個別に支援をしたり、グループ内で助け合ったりできるように促す。  ● <b>グループワーク②</b> p 48 の進め方を説明する。 ●☆ロールプレイの見本を見せる。 (A役：T1 B役：T2) ●A役、B役を決めるように声かけをする。 ●すべての生徒が p 48 の表に記入できているか確認をし、未記入の生徒には、個別に支援をする。	●話し合いの進め方カードを各グループに配る。 ●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。 ●各グループの意見を聞いた後、《POINT》 p 51 の内容を簡潔に書いたカードを提示し、グループの意見と照らし合わせながら全体で共有する。  ●A役B役に台本を配り、場面の流れを説明する。 ●話し合いの進め方カード ●タイムタイマー等 ●各グループの意見を聞いた後、《POINT》 p 51 の内容を簡潔に書いたカードを提示し、グループの意見と照らし合わせながら全体で共有する。	・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。 ・依頼や断り方を考えることができたか。  ・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。 ・ロールプレイや話し合いを通して、よりよい断り方を考えることができたか。

ま と め	○学習内容を振り返る (p 51) 今日の振り返り ・あてはまる項目にチェックする。 ・気づいたこと、感想を記入する。 ○次時の学習内容を聞く。 ○終わりのあいさつをする。	●本時の学習を振り返って考えるように声をかける。 ●次時の学習内容について説明する。	●記入するページをスライド等で提示する。 ●次時の学習内容をスライド等で提示する。	・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。
-------------	---	---	--	-----------------------------

## 指導のポイント

コミュニケーションの基本となる、友達との上手な付き合い方を考える単元です。じっくりと時間をとって、**グループワーク①**と**グループワーク②** (p 47～48) で1校時、**グループワーク③** (p 49～51) で1校時と、構成を2つに分けて取り組みます。

○相手に何かを依頼する、相手を誘う、相手からの申し出を断ることは、とても大切なコミュニケーションの基本です。**《POINT》p 51**を参考に、まずは教師がモデルを示し、実際に生徒と関わることを通して伝えることも大切です。また、コミュニケーションが得意でない人がいることを伝え、“得意でなくても大丈夫”という安心感をもたせるような言葉かけや、授業の雰囲気作りに心がけましょう。そのことがお互いを認め合うことにつながり、よりよい関係を築いていくことのできる土台となります。

○**グループワーク②** p 48では、授業内容にロールプレイを用います。「こんな場合はこうすればよい」と知っているだけでは、実際の場面でうまく実行できないことも多いので、授業で実際の行動を繰り返し、ロールプレイを通してよりよいスキルの定着を図ります。

ロールプレイでは、生徒にとって現実味のある具体的な場面を設定します。ここでは、「友達を食堂に誘う」場面を設定していますが、生徒やクラスの実情に合わせて、日常生活の「相手を誘う」場面を設定して取り組むことも有効でしょう。今回は、グループで配役を決めロールプレイを行います。クラスの人数等を考慮しながら、できるだけいろいろな相手と練習できるように授業展開を工夫することも大切です。

### 個別の支援

○**ケース①** p 48の心情や様子を読み取ることが難しい言葉は、わかりやすい言葉に言い直す、実際に教師が演じて見せながら具体的に様子を伝える等の支援を行いましょ。相手の気持ちを読み取ることや、役になりきって演じることが苦手な生徒には、じっくりと時間をかけて場面の様子等を伝える必要があります。ロールプレイを続けていくためには、生徒自身が、“恥ずかしかったけど、演じてみて楽しかった”など、「楽しい」と思えるよう、肯定的な言葉かけや、お互いを認め合える雰囲気づくりに心がけながら、生徒が主体的に参加できるように支援することが大切です。

Ⅲ コミュニケーションの力を高めよう  
 (4) 友達との上手な付き合い方について考える p 47～51

- 1 単元名 コミュニケーションの力を高めよう「友達との上手な付き合い方について考える」②  
 2 ねらい ・上手な依頼や断り方を考えることができる。  
     ・友達の気持ちを考慮した声のかけ方（誘い方）を考えることができる。  
 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分） パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○本時の学習内容を知る。	●本時の学習内容について興味関心をもたせる。 ●前時の振り返りをしながら、本時の学習内容を伝える。	●本時の学習内容を、スライドやスケジュール表で提示する。 ●p 49、50、51を開くように指示し、前時の内容を簡潔に伝える。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○人に何かを依頼するとき、断るときに気を付けることを考える。 p 49 <b>グループワーク③</b> ケース① p 49 ①ロールプレイの見本を見る。 ②A役B役を決め、グループ内でロールプレイをする。 ③グループで話し合いをする。 ④みんなの考えを記入する。 ⑤グループごとに発表し、全体で共有する。  ケース② p 50 ①ロールプレイの見本を見る。 ②A役B役を決め、グループ内でロールプレイをする。 ③グループで話し合いをする。 ④みんなの考えを記入する。 ⑤グループごとに発表し、全体で共有する。	●グループワーク③ p 49の進め方を説明する。 ●ロールプレイの見本を見せる。 （A役：T1 B役：T2） ●A役、B役を決めるように声かけをする。（①と②の配役は変える。） ●グループ全員が p 49の表に記入できているか確認させ、未記入の生徒には、グループ内で支援ができるよう促す。  ●☆ロールプレイの見本を見せる。 （A役：T1 B役：T2） ●☆A役、B役を決めるように声かけをする。（①と②の配役は変える。） ●グループ全員が p 50の表に記入できているか確認させ、未記入の生徒には、グループ内で支援ができるよう促す。	●A役B役に台本を配り、場面の流れを説明する。 ●話し合いの進め方カードを各グループに配る。 ●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。 ●各グループの意見を聞いた後、《POINT》 p 51の内容を簡潔に書いたカードを提示し、グループの意見と照らし合わせながら全体で共有する。  ●A役B役に台本を配り、場面の流れを説明する。 ●話し合いの進め方カードを各グループに配る。 ●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。 ●各グループの意見を聞いた後、《POINT》 p 51の内容を簡潔に書いたカードを提示し、グループの意見と照らし合わせながら全体で共有する。	・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。 ・ロールプレイや話し合いを通して、依頼や断り方を考えることができたか。  ・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。 ・ロールプレイや話し合いを通して、よりよい断り方を考えることができたか。



ま と め	<p>○学習内容を振り返る (p 51)</p> <p>今日の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あてはまる項目にチェックする。</li> <li>・気づいたこと、感想を記入する。</li> </ul> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●本時の学習を振り返って考えるように声をかける。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●記入するページをスライド等で提示する。</p> <p>●次時の学習内容をスライド等で提示する。</p>	<p>・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p>
-------------	---	--	---	------------------------------------

## 指導のポイント

コミュニケーションの基本となる、友達との上手な付き合い方を考える単元です。じっくりと時間をとって、**グループワーク①**と**グループワーク②** (p 47～48) で1校時、**グループワーク③** (p 49～51) で1校時と、構成を2つに分けて取り組みます。

○相手に何かを依頼する、相手を誘う、相手からの申し出を断ることは、とても大切なコミュニケーションの基本です。《POINT》p 51を参考に、まずは教師がモデルを示し、実際に生徒と関わることを通して伝えることも大切です。また、コミュニケーションが得意でない人がいることを伝え、“得意でなくても大丈夫”という安心感をもたせるような言葉かけや、授業の雰囲気作りに心がけましょう。そのことがお互いを認め合うことにつながり、よりよい関係を築いていくことのできる土台となります。

○**グループワーク③** p 49～50では、授業内容にロールプレイを用います。「こんな場合はこうすればよい」と知っているだけでは、実際の場面でうまく実行できないことも多いので、授業で実際の行動を繰り返し、ロールプレイを通してよりよいスキルの定着を図ります。

ロールプレイでは、生徒にとって現実味のある具体的な場面を設定します。ここでは、「友達に掃除当番を代わってほしいことを依頼する」場面を設定していますが、生徒やクラスの実情に合わせて、日常生活の「友達に何かを依頼する」場面を設定して取り組むことも有効でしょう。今回は、グループで配役を決めロールプレイを行います。クラスの人数等を考慮しながら、できるだけいろいろな相手と練習できるように授業展開を工夫することも大切です。

### 個別の支援

○**ケース①** p 49の (ぶっきらぼうに) (とりつくしまもない) や、**ケース②** p 50の (申し訳なさそうに) など心情や様子を読み取ることが難しい言葉は、わかりやすい言葉に言い直す、実際に教師が演じて見せながら具体的に様子を伝える等の支援を行いましょ。相手の気持ちを読み取ることや、役になりきって演じることが苦手な生徒には、じっくりと時間をかけて場面の様子等を伝える必要があります。ロールプレイを続けていくためには、生徒自身が、“恥ずかしかったけど、演じてみて楽しかった”など、「楽しい」と思えるよう、肯定的な言葉かけや、お互いを認め合える雰囲気づくりに心がけながら、生徒が主体的に参加できるように支援することが大切です。

Ⅲ コミュニケーションの力を高めよう  
 (5) 言葉以外のコミュニケーションを考える p 5 2 ~ 5 5

- 1 単元名 コミュニケーションの力を高めよう「言葉以外のコミュニケーションを考える」  
 2 ねらい ・非言語の情報によって、同じ言葉を使っても、伝わる意味が違ってくることが分かる。  
 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート	サポートブック（生徒人数分）		
	機器・視覚支援グッズ	パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○本時の学習内容を知る。	●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●本時の学習内容を、スライドやスケジュール表で提示する。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○非言語コミュニケーションには、どのようなものがあるか考える。  <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">グループワーク⑭</div> p 5 2 ①自分の考えを記入する。 ②グループで話し合う。 ③みんなの考えを記入する。  ○バースデイラインに挑戦する。  <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">グループワーク⑮</div> p 5 3 ①バースデイラインをつくる。 ②自分の考えを記入する。 ③グループで話し合う。 ④みんなの考えを記入する。  ○友達との会話場面を演じて、相手の気持ちを考える。  <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">グループワーク⑯</div> ケース① p 5 4 ①ロールプレイの見本を見る。 ②A役B役を決め、グ	● <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">グループワーク⑭</div> p 5 2 の進め方を説明する。 ●グループ全員が p 5 2 の表に記入できているか確認させ、未記入の生徒には、グループ内で支援ができるよう促す。  ● <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">グループワーク⑮</div> p 5 3 の進め方を説明する。  ●グループ全員が p 5 3 の表に記入できているか確認させ、未記入の生徒には、グループ内で支援ができるよう促す。  ● <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">グループワーク⑯</div> の進め方を説明する。 ☆ロールプレイの見本を見せる。 (A役：T1 B役：T2)	●話し合いの進め方カードを各グループに配る。 ●タイムタイマーや時計等で時間の経過がわかるように提示する。 ●《POINT》 p 5 2 の内容を簡条書きにしたカードを提示しながら、各グループの考えを集約する。  ●話し合いの進め方カード ●タイムタイマー等  ●《POINT》 p 5 2 の内容を簡条書きにしたカードを提示しながら、各グループの考えを集約する。  ●A役B役に台本を配り、場面の流れを説明する。 ●話し合いの進め方カード ●タイムタイマー等	・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。 ・自分の考えを記入することができたか。 ・非言語コミュニケーションについて考えることができたか。  ・取り組み方がわかり、ワークを進めることができたか。  ・言葉を使わずにコミュニケーションをとるうえで、大切なことを考えることができたか。  ・ロールプレイや話し合いを通して、それぞれの場面で相手の気持ちを考えることができたか。

<p>グループ内でロールプレイをする。 ③グループで話し合いをする。 ④みんなの考えを記入する。 ⑤グループの意見を発表する。</p> <p>ケース② p 5 5 ①ロールプレイの見本を見る。 ②A役B役を決め、グループ内でロールプレイをする。 ③グループで話し合いをする。 ④みんなの考えを記入する。 ⑤グループの意見を発表する。</p>	<p>●☆A役、B役を決めるように声かけをする。(①と②の配役は変える。) ●グループ全員が p 5 4 の表に記入できているか確認させ、未記入の生徒には、グループ内で支援ができるよう促す。</p> <p>☆ロールプレイの見本を見せる。 (A役：T 1 B役：T 2) ●☆A役、B役を決めるように声かけをする。(①と②の配役は変える。) ●グループ全員が p 5 5 の表に記入できているか確認させ、未記入の生徒には、グループ内で支援ができるよう促す。</p>	<p>●《POINT》 p 5 2 の内容を簡条書きにしたカードを提示する。</p> <p>●A役B役に台本を配り、場面の流れを説明する。</p> <p>●話し合いの進め方カード ●タイムタイマー等 ●《POINT》 p 5 2 の内容を簡条書きにしたカードを提示する。</p>	<p>・ロールプレイや話し合いを通して、それぞれの場面で相手の気持ちを考えることができたか。</p>
<p>まとめ</p> <p>○学習内容を振り返る ( p 5 5 )</p> <p>今日の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あてはまる項目にチェックする。</li> <li>・気づいたこと、感想を記入する。</li> </ul> <p>○次時の学習内容を聞く。 ○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●記入するページをスライド等で提示する。</p> <p>●次時の学習内容をスライド等で提示する。</p>	<p>・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p>

## 指導のポイント

言葉以外のコミュニケーションを考える単元です。顔の表情や視線、声のトーンを読み取ったり、相手との適切な距離をとったりすることが苦手な生徒がいることを想定して、「バースデイライン」に取り組みましょう。つい声を出して答えたり、相手に近づきすぎたりする生徒がいるかもしれません。黙ったまま行動することが苦手な生徒やゲームの内容が理解しにくい生徒もいるかもしれません。どの生徒も安心して参加できるように、事前に簡単なルールを確認しておくとともに、少しルールから逸れてしまう行為も、許容できる範囲であれば大目に見守ることも大切になってきます。全員が、まわりの友達とコミュニケーションをとることが楽しく思えるような授業展開ができるように心がけましょう。

○グループワーク② p 5 4～5 5 では、授業内容にロールプレイを用います。「こんな場合はこうすればよい」と知っているだけでは、実際の場面でうまく実行できないことも多いので、授業で実際の行動を繰り返し、ロールプレイを通してよりよいスキルの定着を図ります。

ロールプレイでは、生徒にとって現実味のある具体的な場面を設定します。ここでは、「友達と会話をしている」場面を設定していますが、生徒やクラスの実情に合わせて、会話のテーマを設定して取り組むことも有効でしょう。今回は、グループで配役を決めロールプレイを行います。クラスの人数等を考慮しながら、できるだけいろいろな相手と練習できるように授業展開を工夫することも大切です。



# Ⅳ 気持ちをコントロールする スキルを高めよう

## Ⅳ 気持ちをコントロールするスキルを高めよう

生活していく中で、友達や周りの人などの関係でトラブルが起こることはあります。その時に、怒りなどの不快な感情を感じたり、衰したりすることは誰にでもあります。しかし、その表現方法を間違ってしまうと、対人関係でトラブルが生じてしまいます。

対人関係でトラブルが起こった時にどのようにトラブルに対応していくのか、また、トラブルができるだけ起こらないようにするにはどうしたらよいか、対人関係でのトラブルにつながりがちな怒りの感情のコントロールの方法や、自分のストレスとの付き合い方について学びます。

### □気持ちをコントロールするスキルを身に付けると

・自分の怒りの気持ちをコントロールしたり、自分のストレスとうまく付き合ったりしていく方法を知り、実行することは、対人関係のトラブルを予防することにもつながり、あなたも周りの人も人間関係をうまく保つことができます。

### □気持ちをコントロールするスキルが身に付いていないと

・自分の気持ちをコントロールすることなく、そのまま気持ちを表に出していると、あなたも、相手の人や周囲の人も嫌な気持ちになります。



### 気持ちをコントロールするスキル ワンポイント

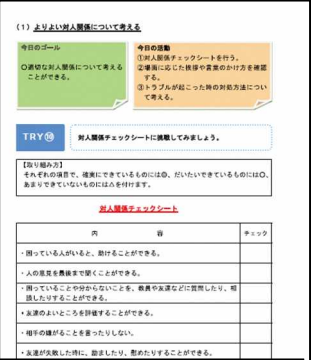
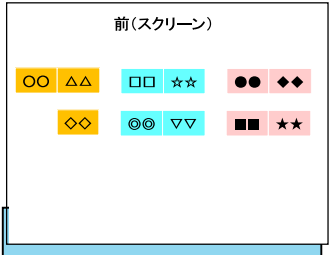

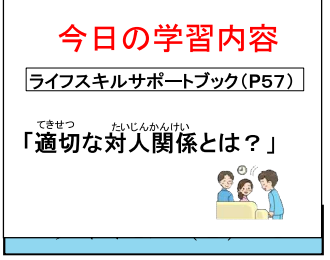
自分の気持ちをコントロールする方法やストレスとうまく付き合っていく方法を学び、実行することで、対人関係のトラブルを対処したりトラブルを防ぐ力を付けることができます。

IV 気持ちをコントロールするスキルを高めよう

【スライド資料等解説付きバージョン】

(1) よりよい対人関係について考える p 5 6 ~ 5 9

- 1 単元名 気持ちをコントロールするスキルを高めよう「よりよい対人関係について考える」①
- 2 ねらい
  - ・自分の対人関係スキルの現状を把握し、場面に応じたふさわしい挨拶や話し方を考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート サポートブック (生徒人数分)	機器・視覚支援グッズ パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード (グループ数)、司会役、発表役のカード、司会の仕方カード (各グループ数)	
	学習活動	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用
導入	<p>○始めのあいさつをする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p>	<p>●スライドで生徒の名前を入れた座席表を提示する ☆サポートブックを配る。</p>  <p>サポートブック表紙</p> <p>●本時の学習内容を、スライドやスケジュール表で提示する。</p> <p>●本時の学習内容について興味関心をもたせる。</p>  <p>サポートブック p57</p>	<p>前(スクリーン)</p>   <p>今日の学習内容</p> <p>ライフスキルサポートブック(P57)</p> <p>できせつ たいじんかんけい 「適切な対人関係とは？」</p>  <p>適切な対人関係とは 57ページ</p> <p>今日のゴール</p> <p>○適切な対人関係とは何かを理解し、自分の対人関係を振り返ったり、場面にふさわしい挨拶や話し方を考えることができる。</p> <p>今日の活動</p> <p>①対人関係チェックシートを行う。 ②場面に応じた挨拶や言葉のかけ方を確認する。</p> <p>スライドIV・(1) - 4</p>
展開	<p>○適切な人間関係について考える</p> <p><b>TRY⑩</b> (p 5 7)</p> <p>○対人関係チェックシートの取り組み方を理解し、各自でシートに記入する。</p>	<p><b>TRY⑩</b> (p 5 7)</p> <p>●対人関係チェックシートの取り組み方を説明し、あまり考え込まないで今の自分の状態で付けるように指示する。記入時間を</p>	<p>★今日の内容★</p> <p>適切な対人関係って？</p> <p>↓</p> <p>①今の自分の対人関係を振り返って、自分が人どんな風に接しているのか把握しよう。 ★対人関係チェックシート(P57-58)をやってみよう。</p> <p>スライドIV・(1) - 5</p>

○それぞれの場面で  
のふさわしい挨拶や  
話し方を考える。

グループワーク 27

p 58

①自分の考えを★  
自分の考えの欄に記入  
する。

②自分の考えをもと  
にグループで話す。

示す。

自分の意見を積極的に示す、伝えることができる。

友達や周りの人に挨拶をすることができる。

自分の考えや気持ちも人に伝えることができる。

人に何かしてもらった時に感謝の気持ちも伝えることができる。

誰かのために何かをしようとすることができる。

人の気持ちも考えることができる。

トラブルがあった時に自分の行動や気持ちを振り返ることができる。

トラブルがあった時に相手の気持ちについて考えることができる。

それぞれの場面でのふさわしい挨拶や話し方を考えましょう。

ワークの進め方  
①自分の考えを記入します。  
②自分の考えをもとに、グループで話し合います。  
③みんなの考えを記入します。

場面	★自分の考え	★みんなの考え
友達の家に入る時	(例)「お邪魔します。」	
友達の家で、お菓子を出されたら		

サポートブック p 58

☆記入が進まない生徒が  
いたら控えておき、「自分  
が思うところでもいいよ」と  
声をかける。

●グループワークの進め  
方について説明し、見通し  
をもたせる。

自分の意見を積極的に示す、伝えることができる。

友達や周りの人に挨拶をすることができる。

自分の考えや気持ちも人に伝えることができる。

人に何かしてもらった時に感謝の気持ちも伝えることができる。

誰かのために何かをしようとすることができる。

人の気持ちも考えることができる。

トラブルがあった時に自分の行動や気持ちを振り返ることができる。

トラブルがあった時に相手の気持ちについて考えることができる。

それぞれの場面でのふさわしい挨拶や話し方を考えましょう。

ワークの進め方  
①自分の考えを記入します。  
②自分の考えをもとに、グループで話し合います。  
③みんなの考えを記入します。

場面	★自分の考え	★みんなの考え
友達の家に入る時	(例)「お邪魔します。」	
友達の家で、お菓子を出されたら		

サポートブック p 58

☆p 58 が開いているか、  
記入場所がわかっている  
か確認する。

●☆困っている生徒には、  
記入しやすいようにヒント  
を与える。

●時間設定 (何をどれだけ  
やればいいのか) を示す。

●役割カードを配る。

IV 教材・教員の工夫



生徒の役割を明確化し、自主的な活動を促すもの

●グループの中で司会進  
行役、記録役、発表役を決  
めてから進めるように指  
示する。

○分

★対人関係チェックシート(P57～58)をやってみよう。

(記入の仕方)

確実にできている→○  
だいたいできている→○  
あまりできていない→△

★今日の内容★

適切な対人関係って？

②場面に合った挨拶や言葉のかけ方  
であるよね。それぞれの場面で  
のふさわしい挨拶や話し方を  
考えてみよう。

スライドIV・(1)・7

★グループワーク27(P58～59)

★ワークの進め方★

①自分で考える 一自分の考えを記入する  
(★自分の考えの欄)

②グループで話す (自分の考えをもとに)  
※グループで話す前に役割(司会者、発表者)  
を決める

③話の中で出てきたみんなの考えを記入する  
(★みんなの考えの欄)

スライドIV・(1)・8

★グループワーク27(P58～59)

★ワークの進め方★

①自分で考える 一自分の考えを記入する  
(★自分の考えの欄)

②グループで話す (自分の考えをもとに)  
※グループで話す前に役割(司会者、発表者)  
を決める

③話の中で出てきたみんなの考えを記入する  
(★みんなの考えの欄)

スライドIV・(1)・9



②グループ活動時の司会の仕方について

①これから、グループで活動を行います。まず、ワークシートに、自分で記入してください。時間は、○分までお願いします。タイマーを回す人は、タイマーをお願いします。

②皆さん書いたようなので、これから、グループで発表を行います。  
○○さんから、○○さんの流れで、順に発表してください。

③それでは、○○さん、発表をお願いします。書いていることを、読んでください。(又は、思ったことを書いてください。など) 順に聞いていく。

④みんなの考えを発表してもらいました。では、聞いたことをワークシートへ書いてください。わからないことは、周りの友達に聞いてください。

視覚的に示し (タイ  
ムタイマーや時計)、  
時間設定 (○分) を  
示す。

・チェックシートへの  
記入をとおして自分  
の今のスキルについ  
て考えることができ  
たか。



ラミネートして  
作成しておき、話  
し合いの時には  
随時活用

・それぞれの場面で  
どんな挨拶や話し方  
ができたのか考  
えることができたか。

③みんなの考えを★  
みんなの考えに記入  
する。

○各グループで話し  
合った内容（みんな  
の考え）を発表する。  
・他のグループの発  
表を聞く。

○話し合った感想や  
他のグループの発表  
に対しての感想を出  
し合う。

○今日のまとめをす  
る。

●☆話し合いや記入がで  
きているか机間巡視をす  
る。

●☆発表者の態度、聞く態  
度のモデルを視覚的に提  
示する。

●発表者の態度や聞く態  
度にも意識させる。

●☆発表した内容を記録  
し、視覚化する。  
記録方法：スライドに打ち  
込む。ワークシートに書き  
込み、書画カメラで投影す  
る。模造紙に書きこむ。

●☆発表した内容を記録  
する。  
※次時の振り返りに活用  
する。  
●感想内容から誤学習を  
していないか確認する。

●まとめの内容を視覚化  
する

★グループワーク27 (P58~59)

★ワークの進め方★

①自分で考える ①自分の考えを記入する (10分)

②、③で0分 (★自分の考えの欄)

②グループで話す (自分の考えをもとに)  
※グループで話す前に役割(司会者、発表者)  
を決める

③話の中で出てきたみんなの考えを記入する  
(★みんなの考えの欄)

スライドIV・(1)・10

話し合いの進め方

- 1 体を話し合いをするメンバーの方に向ける。
- 2 役割分担(司会者、発表者)を決める。
- 3 司会者が何について話すのか言う。
- 4 司会者はメンバー全員が話できるように時間配分をする。
- 5 司会者は話し合いが進むように、声をかける(話す順番を提案したり、話をしていない人がいたら声をかけたりする)
- 6 話をする人はみんなに聞こえる声の大きさと話す。
- 7 話を聞く人は話をしている人の方に体や顔を向け、話に反応し(うなづく、相槌(あいづち)を打つなど)ながら聞く。

スライドIV・(1)・11

発表の仕方、発表の聴き方

スライドIV・(1)・12

グループワーク27  
それぞれの場面でふさわしい挨拶や話し方を考えよう

場面 Oグループ Oグループ Oグループ

友達の家に入る時

友達の家で、お菓子を出された時

職員室にいる担任の先生を呼びたい時

提出物を空けたことを先生に伝える時

運んでくれている提出物を無くしたので、再度もらいたい時

発表した内容を記入し視覚化する

スライドIV・(1)・13

グループワーク27  
それぞれの場面でふさわしい挨拶や話し方を考えよう

場面 Oグループ Oグループ Oグループ

昨日、風邪で休んでいた友達に会った時

先生に怒られ、落ち込んでいる友達に一言

教科書を空けて友達がついてくる時

友達に呼ばれたくない呼び方をされた時

話している途中で、自分の発言に気がついた時

スライドIV・(1)・14

★今日のまとめ★

適切な対人関係って？

↓

①自分の対人関係を振り返って、自分が人とどんな風に接しているのか把握できたかな。

★対人関係チェックシートの結果を把握した。

スライドIV・(1)・15

ラミネートして  
作成しておき、話  
し合いの時には  
随時活用


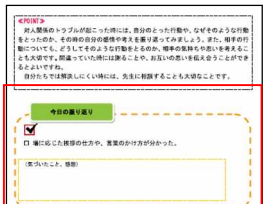
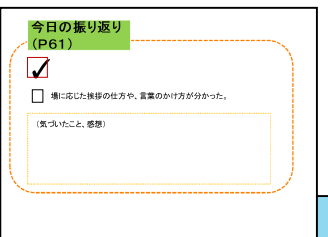
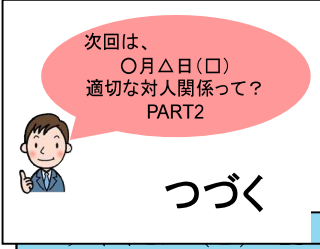
発表の仕方、発表  
の聞き方を具体  
的に視覚化して  
提示

発表内容を可視  
化することで内  
容理解や共有を  
促す。

発表内容を打ち込  
んだり、ワークシ  
ートにして記入し  
たものを書画カメ  
ラで映したりして可  
視化する。

可視化し、保存す  
る方法として、他  
に模造紙、ホワイト  
ボードの活用も  
考えられる。



			<p>★今日のまとめ★</p> <p>適切な対人関係って？</p> <p>↓</p> <p>②場面に応じた挨拶や言葉のかけ方を考え、それぞれの場面でふさわしい挨拶や話し方を考えることができたかな。 表情や声のトーンもふさわしく。</p> 	
<p>まとめ</p>	<p>○学習内容を振り返る。(p61)</p> <p>今日の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あてはまる項目にチェックする。</li> <li>・気づいたこと感想を記入する。</li> </ul> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p>  <p>サポートブック p61</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●記入するページをスライド等で提示する。</p>  <p>●次時の学習内容をスライド等で提示する。</p> 	<p>・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p>

### 指導のポイント

今回の授業では、まず、自分自身の対人関係のスキルについて「対人関係チェックシート」を用いて考えることで自分の対人関係のスキルを客観的に捉えます。自分が身に付けているスキルとまだできていないスキルを知ることにより、具体的な場面でのふさわしい挨拶や話し方について自分の考えやみんなの考えを出し合い、知ることにより、どのように振る舞えば対人関係がうまくいくのかを考えることが今日のゴールとなります。

また、どのような態度や言葉がトラブルにつながるのかなどの考えが出てくれば、記録しておき、次時の学習内容につなげていくと、生徒にとってより身近な場面設定になり、日常生活に般化しやすいスキルとして身に付くと考えます。

授業で使用する教材、準備物の活用について、「スライドに打ち込む」、「ワークシートに書き込み、書画カメラで投影する」、「模造紙に書き込む」などを発表内容を記録する方法として挙げました。それは、発表内容を視覚化することで、内容を把握しやすくするとともに、内容を保持することを助けることができるからです。発表を聞くだけでは内容を把握したり保持することに弱さがある生徒にも配慮した教材、準備物の活用です。

IV 気持ちをコントロールするスキルを高めよう

(1) よりよい人間関係について考える p 59～61

- 1 単元名 気持ちをコントロールするスキルを高めよう「よりよい対人関係について考える」②
- 2 ねらい トラブルになった場合、どのように対処するか考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート	サポートブック（生徒人数分）		
	機器・視覚支援グッズ	パソコン、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役と発表役のカード、司会の仕方カード（各カードグループ数）、ホワイトボード（A3程度）とマジック（グループ数）		
時間	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○前時の振り返りをする。 ○本時の学習内容を知る。	●前時①で共有したみんなの考えのスライドを提示する。 ●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●前時①で共有したみんなの考えのスライドを提示する。 ●スライド等を提示し、展開につなげる。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
	○トラブルになった場合、どのように対処するか考える。 <b>グループワーク</b> ⑳ (p 59) ①ケース①の場面設定を知る。 ・ロールプレイを見る。 ●☆ロールプレイが終わったら、サポートブックを見る。 ②なぜトラブルになったのかを考え、記入する。 ③Aさん、Bさんがどのように感じたかを記入し、グループで話し合う。 ④トラブルになった場合、どのように対処するかグループで話し合い、記入する。	●☆ケース①の場面をロールプレイをして見せる。 ☆Aさん、Bさんの名札を付け、ロールプレイをする。 ●ワークの進め方について説明する。 ●p 60のケース①の場面設定をスライド等で提示する。 ●時間設定を視覚的に提示する。 ●☆困っている生徒には、記入しやすいように具体的な内容でヒントを与える。 ●司会者、発表者を決めて話し合うよう指示する。 ●*話し合いのカードを各グループに配る。 *司会役、発表役のカード、話し合いの進め方カード、司会の仕方カード ●話し合いが終わったら、グループごとに発表することを伝えておく。 ●A3サイズほどのホワイ	●Aさん、Bさんの名札を準備する ●スライド等で場面設定を文字で提示する。 ●スライド等でワークの進め方を提示する。 ●スライド等でp 60のケース①の場面設定を提示する。 ●時間設定は「○分」と明示し、タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。 ●☆状況やAさん、Bさんの様子がイメージできるように視覚的に提示する。 ●*話し合いのカードはラミネートしておき、話し合いのときに活用する。 ●時間設定は「○分」と明示し、タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。 ●A3 ホワイトボード（黒	・ロールプレイを見て、トラブルになった背景やAさん、Bさんの気持ちを考えることができたか。  ・自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりして、話し合いに参加できていたか。
展開				

	<p>○話し合った内容を発表する。 ・グループの代表が発表する。</p> <p>○ケース①の場面設定で話し合った内容を取り入れて、グループでロールプレイをする。 ・ロールプレイを見て、いいところを見つけ、お互いにコメントする。</p> <p>○トラブルにならないようにするためにはどうしたらいいかをグループで話し合う。</p>	<p>トボードを準備し、マジックと一緒に各グループに配る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ホワイトボードに書く内容をスライド等で提示する。</li> <li>●グループで話し合った内容を記入するように指示する。</li> <li>●発表の前に発表の仕方、聞き方について全体で確認する。</li> <li>●ホワイトボードを提示しながら発表するように指示する（発表内容を視覚化）。</li> <li>●☆発表した内容を記録し、視覚化する。</li> </ul> <p>●Aさん、Bさん、それぞれにどのような態度や言葉で関わるといいのかを考えて行うように声をかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ロールプレイを見て、気づきたいところを言葉にして伝えるように指示する。</li> <li>●生徒の頑張りを評価し、相手の状況や気持ちを考えて人とかかわることがトラブルを防ぐことになることに気づかせる。</li> <li>●意見が出にくいようであれば、トラブルになった背景と考え合わせてみるように声をかける。</li> </ul>	<p>板などに貼れるようにしてある物)、マジック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●書く内容をスライドで視覚化して提示する。</li> <li>●話し合った内容を視覚化して提示する。</li> </ul> <p>●発表の仕方、聞き方のスライドを提示する。</p> <p>●ホワイトボードをデジタルカメラで撮影し、記録する。</p> <p>●ホワイトボードを黒板など全体から見えるところに貼る。</p>	<p>・具体的にどのように対処すればよいか考えることができたか。</p> <p>・ロールプレイを通して、トラブルにならない人との接し方を理解することができたか。</p> <p>・トラブルにならないためには、どうすればいいか考えることができたか。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○学習内容を振り返る。(p 61)</p> <p>今日の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気づいたこと、感想を記入する。</li> </ul> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●《POINT》の内容を提示し、本時の学習を振り返るように声かけをする。</li> <li>●次時の学習内容について説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●振り返りシートを用意する。</li> </ul>	

### 指導のポイント

今回の授業では、具体的な場面設定から、実際にどのように対処すればいいかを考え、ロールプレイをすることにより、実践的な学びをすることがゴールとなります。普段あまり経験しない場面設定ではなく、日ごろ生徒たちに起こりがちなトラブルを取り入れて場面設定するといいいでしょう。

IV 気持ちをコントロールするスキルを高めよう

(2) 感情のコントロールの仕方を考える p 6 2 ~ 6 6

- 1 単元名 気持ちをコントロールするスキルを高めよう「感情のコントロールの仕方を考える」
- 2 ねらい 自分がイライラしたり、怒ったりする時の状態を知り、対処方法を考えることができる。
- 3 学習活動


準備物	教材・ワークシート	サポートブック（生徒人数分）		
	機器・視覚支援グッズ	パソコン、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役と発表役のカード、司会の仕方カード（各カード・グループ数）		
時間	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T 1、☆T 2)	教材の活用	評価
導入	<p>○始めのあいさつをする。</p> <p>○前時の振り返りをする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p>	<p>●前時のまとめを視覚的にも提示する。</p> <p>●本時の学習内容について興味関心をもたせる。</p>	<p>●前時で共有したみんなの考えのスライドを提示する。</p> <p>●スライドを提示し、展開につなげる。</p>	<p>・話を聞く姿勢や態度が整っているか。</p>
展開	<p>○自分が怒りを感じるのはどんな時で、どのような対処方法があるか考える。</p> <p><b>グループワーク⑳</b> (p 6 2)</p> <p>①自分が怒りを感じるのはどんな時か、その怒りに自分はどのようにやって対処しているか考え、自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話す。</p> <p>③みんなの考えを記入する。</p> <p><b>TRY㉑</b> (p 6 3)</p> <p>○自分がイライラしたり、怒りを感じたりする時、身体はどんな状態になるか考える。</p> <p>・項目のあてはまるものにチェックを入れる。</p>	<p>●学習の進め方について説明する。</p> <p>●<b>グループワーク⑳</b>のワークの進め方を視覚的にも提示する。</p> <p>●時間設定を視覚的に提示する、思考時間は「○分」と明示し、タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●司会者を決めて話し合うよう指示する。</p> <p>●スライドで<b>TRY㉑</b>の進め方を提示する。</p> <p>●時間設定を視覚的に提示する。時間は「○分」と明示し、タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p>	<p>●スライド等で学習の進め方を提示する。</p> <p>●スライドで<b>グループワーク⑳</b>の進め方を提示する。</p> <p>●スライド（○分を提示）、タイムタイマーや時計</p> <p>●*話し合いのカードを活用する。</p> <p>●スライド（○分を提示）タイムタイマーや時計</p> <p>●☆<b>グループワーク⑳</b>の内容を参考にしたり、教員自身がチェックのつく項目を話したりする。</p>	<p>・自分が怒ったときの対処方法を考えることができたか。</p> <p>・自分がイライラしたり、怒ったりするときの状態を知ることができたか。</p>

	<p><b>TRY⑫</b> (p 6 4)</p> <p>○気持ちを落ち着かせる方法を見て、自分ができるようなことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目のあてはまるものにチェックを入れる。</li> </ul> <p><b>TRY⑬</b> (p 6 4)</p> <p>○自分の気持ちの温度計を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちの温度計の例をみて、p 6 5の気持ち温度計に自分の感情の度合いと対処方法を記入する。(p 6 6)</li> </ul> <p><b>グループワーク⑩</b></p> <p>○自分が身体を押された状況を理解し、自分はどうのような気持ちになり、どのような行動をとればトラブルにならないかを考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自分の考えを記入する。</li> <li>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</li> <li>③みんなの考えを記入する。</li> </ol> <p>○話し合った内容を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの代表が発表する。</li> <li>・発表を聞く。</li> </ul> <p>○発表内容を共有する。</p> <p>○今日のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スライドで<b>TRY⑫</b>の進め方を提示する。</li> <li>●作り方を<b>TRY⑬</b>の気持ちの温度計(例)を使って説明する。</li> <li>●時間設定を視覚的に提示する</li> <li>●☆困っている生徒には、記入しやすいように具体例でヒントを与える。</li> <li>●☆場面をロールプレイしたり、スライドにしたりして視覚的に提示し、理解を促す。</li> <li>●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。</li> <li>●発表の前に発表の仕方、聞き方について全体で確認する。</li> <li>●発表内容を記録し、最後にフィードバックできるようにする。</li> <li>●☆発表した内容を記録し、視覚化する。</li> <li>●感情をコントロールする方法はいろいろあることを知り、コントロールの方法を身につけることで自分も周りも気持ちよく過ごせることに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スライド等で視覚的に提示し、ワークの進め方について説明する。</li> <li>●タイムタイマーや時計</li> <li>●ワークの進め方についてスライドで提示し、説明する。</li> <li>●話し合いのカードを配る。</li> <li>●司会者を決めて話し合うよう指示する。</li> <li>●タイムタイマーや時計</li> <li>●発表の仕方、聞き方カードを提示</li> <li>●記録方法：スライドに打ち込む。ワークシートに書き込み、書画カメラで投影する。模造紙に書きこむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちを落ち着かせる方法を知り、自分ができるようなことを見つけたことができたか。</li> <li>・気持ちの温度計に記入して、自分の気持ちのコントロールの方法を具体的に考えることができたか。</li> <li>・場面に応じてどのように振る舞えばトラブルにならないか理解することができたか。</li> </ul>
<p>まとめ</p>	<p>○学習内容を振り返る。(p 6 6)</p> <p><b>今日の振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気づいたこと、感想を記入する。</li> </ul> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●p 6 6の今日の振り返りに記入するよう指示する。</li> <li>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</li> <li>●次時の学習内容について説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スライド</li> <li>●スライド</li> </ul>	

IV 気持ちをコントロールするスキルを高めよう  
 (3) ストレス・マネジメントについて考える p 67～70

- 1 単元名 気持ちをコントロールするスキルを高めよう「ストレス・マネジメントについて考える」
- 2 ねらい 自分のストレスを知り、好ましいストレスとの付き合い方を考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート	サポートブック (生徒人数分)		
	学習活動	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○前時の振り返りをする。 ○本時の学習内容を知る。	●前時のまとめを視覚的にも提示する。 ●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●前時で共有したみんなの考えのスライドを提示する。 ●スライド等を提示し、展開につなげる。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○ストレスを感じるときはどんな時か考える。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループワーク⑳</span> (p 67) ①自分がリラックスできる時はどんな時で、どのような気持ちになるか考え、自分の考えを記入する。  ②自分の考えをもとに、グループで話し合う。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">TRY⑭</span> (p 68)  ○自分はストレスを感じたら、身体や感情にどのような変化があるか考える。 ・項目のあてはまるものにチェックを入れる。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループワーク㉓</span> (p 69) ○ストレスを対処し、ストレスとうまく付き合	●学習の進め方について説明する。  ●ワークの進め方について説明する。 ●時間設定を視覚的に提示する。タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。 ●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。 ●司会者を決めて話し合うよう指示する。 ●教員自身の身体や感情の状態を具体的な場面や状況を説明しながら話す。  ● <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループワーク⑳</span> や <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">TRY⑭</span> の内容、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">《POINT》</span> (p 69)を参考にさせる。 ●☆困っている生徒には、記入しやすいように具体的な場面や方法のヒントを与える。  ● <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループワーク㉓</span> の内容を提示し、ワークの進め方を説明する。	●スライド等で視覚的にも提示する。  ●タイムタイマーや時計  ●*話し合いのカードを配る  ●p 68の内容をスライド等で提示し、チェックの仕方について説明する。  ● <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">《POINT》</span> (p 69)の内容をスライドで示し、説明する。	

	<p>う方法にはどのようなものがあるか、ストレスを感じる場面とその時の心や身体の変化、対処法について考える。</p> <p>①自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>○ストレス発散の仕方について具体的に考える。</p> <p>①自分で考えて  (p 70) に記入する。</p> <p>②①をもとにグループで話す。</p> <p>○自分のストレス発散の仕方について、発表する。</p>	<p>●☆困っている生徒には、記入しやすいように具体例のヒントを与える。</p> <p>●司会者を決めて話し合うよう指示する。</p> <p>●発表の前に発表の仕方、聞き方について全体で確認する。</p> <p>●発表内容を記録し、最後にフィードバックできるようにする。</p> <p>●☆発表した内容を記録し、視覚化する。 記録方法：スライドに打ち込む。ワークシートに書き込み、書画カメラで投影する等。</p> <p>●ストレスを感じることは人それぞれの場面があり、対処法も人それぞれあることを知り、自分に合った対処法を考えることができているか気づかせる。</p>	<p>●*話し合いのカードを活用する。</p> <p>●話し合う時間は「○分」と明示し、タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●スライド等で視覚的に提示する。</p> <p>●*話し合いのカードを活用する。</p> <p>●タイムタイマーや時計</p> <p>●発表の仕方、聞き方カードを提示</p>	<p>・自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりして、話し合いに参加できていたか。</p> <p>・自分のストレス反応の状態を知り、ストレス発散の仕方を考えることができたか。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○学習内容を振り返る。(p 70)</p> <p><b>今日の振り返り</b></p> <p>・感想等を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●p 70の今日の振り返りに記入するよう指示し、視覚的に提示する。</p> <p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する</p>	<p>●スライド</p> <p>●次時の学習内容についてスライドで提示する。</p>	

## 指導のポイント

本単元では、ストレスとはどういう状態なのか、どういう状況で起こっているのかを知り、状態や状況の違いはあるけれど、みんな感じているということを理解することが大切です。ストレス反応とは、イライラする、どきどきする、ぐっすり眠れない、不安になるなどの心と体の変化のことですが、大変なことを乗り越えようと心も体も頑張っていると考えることもできます。良くない出来事ばかりでなく、進級や転居などでもストレス反応は起こります。自分のストレスの状態を考えながら、ストレスと上手につきあっていくこと（ストレス・マネジメント）ができるとよりよく生活することができます。生徒によっては、自分のストレスに気づいていなかったり、リラックスできる方法をうまく見つけられなかったりすることが考えられます。

自分のストレスを知り、好ましいストレスとのつきあい方を学ぶにあたっては、P67の今日の活動①、②、③の内容をグループワークやTRYを通して、具体的に可視化していくことで、自分のこととして気づいたり、考えを深めたりすることができてきます。

グループワークやTRYを行う際の生徒へのヒントや強調したい内容は《POINT》を意識しながら生徒の実態に応じて取り入れてください。そして、それぞれが学んだストレスの対処法は、日常生活で生かしているか、授業後の生活において確認していくことも大切です。

IV 気持ちをコントロールするスキルを高めよう

(4) 余暇の過ごし方について考える p 71~73

- 1 単元名 気持ちをコントロールするスキルを高めよう「余暇の過ごし方について考える」
- 2 ねらい 余暇とストレスの関係から、余暇の過ごし方を考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート	サポートブック（生徒人数分）		
	機器・視覚支援グッズ	パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード、司会の仕方カード（各カード・グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	<p>○始めのあいさつをする。</p> <p>○前時の振り返りをする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p>	<p>●前時のまとめを視覚的にも提示する。</p> <p>●本時の学習内容について興味関心をもたせる。</p>	<p>●前時で共有したみんなの考えをスライドで提示する。</p> <p>●スライドを提示し、展開につなげる。</p>	<p>・話を聞く姿勢や態度が整っているか。</p>
展開	<p>○余暇をどのように使うか考える。</p> <p><b>グループワーク③③</b></p> <p>(p 71)</p> <p>①自分は余暇を何をして過ごしたいか考え、自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>③みんなの考えを記入する。</p> <p>④グループで話し合ったことを代表者が発表する。</p> <p>・発表を聞く。</p> <p>○余暇がある時とない時では、自分の気持ちの上でどのような違いがあるのか考える。</p> <p><b>グループワーク③④</b></p> <p>(p 72)</p> <p>①余暇のある時とない時では、どのように気持ちが変わるのか、自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p>	<p>●余暇の例をスライド等で提示したり、教員自身の余暇の過ごし方を話したりする。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいように具体的な場面が浮かぶヒントを与える。</p> <p>●司会者を決めて話し合うよう指示する。</p> <p>●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●発表を始める前に発表者の声の大きさや態度、聞く態度を確認する。</p> <p>●発表内容を記録し、最後にフィードバックできるようにする。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいように具体的な言葉でヒントを与える。</p> <p>●司会者を決めて話し合うよう指示する。</p>	<p>●スライド等で余暇の例を提示しておく。</p> <p>●*話し合いのカードを配る。</p> <p>●発表の仕方、聞き方を提示（スライド等）</p> <p>●☆スライド、ワークシート、模造紙など可視化できるものに記録する。</p> <p>●話し合いカードを活用</p> <p>●タイムタイマーや時計</p> <p>●発表内容記録</p>	<p>・自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりして、話し合いに参加できていたか。</p>



	<p>③みんなの考えを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話し合ったことを代表者が発表する。</li> <li>・発表を聞く。</li> </ul> <p><b>TRY⑮</b> (p 73)</p> <p>○自分の余暇の過ごし方で、一番多い過ごし方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目のあてはまるものにチェックを入れる。</li> </ul>	<p>●発表した内容を記録したものを提示しておき、振り返りの手助けとなるようにする。</p> <p>●<b>TRY⑮</b> (p 73)</p> <p>の内容をスライドにし視覚的に提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●まとめの内容を視覚化して提示する。</li> <li>●余暇はストレスの対処方法を行うのに必要なものであることを知り、余暇の過ごし方も人それぞれの過ごし方があることを認め、自分の余暇の過ごし方がストレスを解消する過ごし方ができているかどうか気づかせる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の余暇の過ごし方がストレスを解消させる過ごし方かどうか考えることができたか。</li> </ul>
まとめ	<p>○学習内容を振り返る。 (p 73)</p> <p><b>今日の振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あてはまる項目にチェックする。</li> <li>・気づいたこと感想を記入する。</li> </ul> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●p 73の今日の振り返りに記入するよう指示し、視覚的に提示する。</li> <li>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</li> <li>●次時の学習内容について説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スライド</li> <li>●次時の学習内容についてスライドで提示する。</li> </ul>	

### 指導のポイント

本単元では、ストレス・マネジメントにおいて余暇の過ごし方が大切だということに気づくことがゴールとなります。余暇の過ごし方は人それぞれの好みや考え方があり、どのように過ごしてもいいのです。重要なのは余暇を過ごすことで、ストレスが軽減されたり、意欲が高まったりすることで、感情のコントロールができているかどうかということです。生徒によっては余暇をうまく過ごせないためにかえってストレスが増していることもあるかもしれません。余暇の過ごし方をひとりで考えて解決しようとするのではなく、友達や先生たちの余暇の過ごし方を知り、「ああ、そんな余暇の過ごし方もあるんだ」と気づき、取り入れることができることもあります。

今回の授業では、《POINT》にも書かれているように、遊ぶことや楽しむことが重要というより、余暇を充実させることが次の勉強や仕事を頑張ろうという意欲につながるということが重要であることを学べるように**グループワーク**や**TRY**での学習活動を設定してみましょう。



# V 職業生活について

## V 職業生活について

経済・産業の変化などが急速に進む中で、生涯にわたって自己の職業生活をたくましく切り拓いていこうとする意欲や態度、目的意識などを培うことは大切です。

生徒の皆さんは、冷静に自分自身を見つめ、将来の夢や目標を見つけて、それをかなえるための計画を立て、そして、それに向かって進んでいく力を付けてほしいと思います。

ここでは、働く意義について考え、職業について調べることによって、自分自身のことについて、いろいろを発見するとともに、将来の進路を決定するための過程について理解しましょう。

### □将来の職業生活について考えないと

- ・自分で意思決定できない、自己肯定感をもてない、将来に希望をもつ事ができないなど消極的な高校生活を送ってしまうこととなります。

### □将来の職業生活について考えることによって

- ・将来の目標が決まり、自ら行動するようになり、高校生活が充実します。




### 職業生活 ワンポイント

高校卒業後の進路決定は早ければ早いほど良いと思います。高校時代にしっかりとした将来の目標を見つけ出し、希望する進路先の情報をできるだけたくさん収集し、自分の気持を確かめながら大切に高校生活を送りましょう。卒業年度には、自信をもって自己実現ができる進路の選択決定ができます。

V 職業生活について  
 【スライド資料等解説付きバージョン】  
 (1) 将来の仕事について考える p 74～76

- 1 単元名 職業生活について「将来の仕事について考える」
- 2 ねらい 自己理解を深め、将来の仕事について、考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分）、スライドV-（1） パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード、司会の仕方カード（各グループ数）		
	学習活動	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	<p>○始めのあいさつをする。 ○前時の振り返りをする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p>	<p>●スライドで生徒の名前を入れた座席表を提示する ☆サポートブックを配る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">ライフスキル サポートブック ～よりよく生きるために～ Ver.1</p>  <p style="text-align: center;">NAME</p> </div> <p style="text-align: center;">サポートブック表紙</p> <p>●前時のまとめを視覚的にも提示する。 ●スライドを提示し、展開につなげる。</p> <p>●本時の学習内容について興味関心をもたせる。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>(1) 将来の仕事について考える</b></p> <p><b>学習のゴール</b> ○自己理解を深め、将来の仕事について、考えることができる。</p> <p><b>学習の活動</b> ○自分が一番興味関心のある仕事は何か考える。 ○自分に向いている仕事は何か考え、他の人と意見交換する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>TRY</b> 今、自分が一番興味関心を持っている仕事について整理してみよう。</p> <p><b>【取り組む方】</b> ① 仕事名、仕事の内容を記入します。 ② この仕事に必要な能力（技術や資格）は、どのようなことが記入します。 ③ 自分に向いている仕事は何か考え、他の人と意見交換する。</p> <p>・仕事名、仕事の内容</p> <p>・この仕事に必要な能力（技術、資格など）</p> <p>・この仕事の魅力</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>&lt;ポイント&gt;</b> たくさんのお仕事がありますが、この中から自分に合ったもの一つ選ぶことになります。学生・卒業後などよく相談して、自分に合った仕事を選んでください。自分の考えをしっかりとつづけることが大切です。 「将来を志すには、学校の授業を通して、インターネットで調べ、企業見学に行き仕事内容を調べ、インターンシップに参加するなど、いろいろな方法があります。多くの仕事について調べ、知ることで将来の選択を確かならせます。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">前(スクリーン)</p> <p style="text-align: center;">○○ ▲▲ □□ ☆☆ ●● ◆◆</p> <p style="text-align: center;">◇◇ ◎◎ ▼▼ ■■ ★★</p> <p style="text-align: center; background-color: #e0f0ff; padding: 5px;">スライドV・(1)・1</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p style="text-align: center; background-color: #e0f0ff; padding: 5px;">スライドV・(1)・2</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">【復習】○月△日のまとめ</p> <p>&lt;余暇の過ごし方について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心や体を休める。</li> <li>・自分が楽しいと思うことをする。</li> </ul> <p>☆余暇と仕事のバランスをとることが大切。</p> <p style="text-align: center; background-color: #e0f0ff; padding: 5px;">スライドV・(1)・3</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">今日の学習内容</p> <p style="text-align: center;">ライフスキルサポートブック(P75)</p> <p style="text-align: center;">しょうらい しごと かんが</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">「将来の仕事について考える」</p> <p style="text-align: center; background-color: #e0f0ff; padding: 5px;">スライドV・(1)・4</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: right;">適切な対人関係とは <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">75ページ</span></p> <p style="background-color: #e0ffe0; padding: 5px;">今日のゴール ○自己理解を深め、 将来の仕事について、考えることができる。</p> <p style="background-color: #ffe0e0; padding: 5px;">今日の活動 ①自分が一番興味関心がある仕事は何か考える。 ②自分に向いている仕事は何か考え、他の人と意見交換する。</p> <p style="text-align: center; background-color: #e0f0ff; padding: 5px;">スライドV・(1)・5</p> </div>	<p>・話を聞く姿勢や態度が整っているか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>前時のまとめを復習すると定着につながるので、授業のパターンとして毎回取り入れる。</p> </div>

○自分が一番興味関心のある仕事は何か考える。

●学習の進め方について説明する。  
●スライド等で視覚的にも提示する。

●学校卒業後の進路についての資料や学校の先輩たちの進路先の情報や仕事についての先輩の話などが聞ける場面を設定する。

●☆資料はスライドやプリントを準備し、視覚情報を提示する。先輩の話などはできれば動画に記録し、具体的なイメージを提示する。

●スライド等で仕事の魅力として挙げられる内容を提示しておく。

●☆資料やパソコンなど予想される仕事について調べられるように情報を準備しておく。

●☆教員自身が興味関心を持っている仕事や今の仕事を選んだ理由などを提示できるように準備しておく。

TRY⑯ (p 75)

○今自分が一番興味関心を持っている仕事について整理してみよう。  
①今自分が一番興味関心を持っている仕事名、仕事内容を記入する。

②その仕事に必要な能力(資質や適性)は、どのようなことか記入する。

サポートブック p75

●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。

●☆興味関心を持っていることなどを本人と話したり、得意なこと、好きなことなどを引き出し、仕事に生かせる内容を提示する。

今日の学習の進め方

- 1. 卒業後の進路、仕事について知る。
2. TRY (P75)をする。
3. TRY (P76)をする。
4. 話し合ったことを発表する。
5. 発表された内容について意見交換する。
6. TRY (P76)をする。

スライドV・(1)-6



スライドV・(1)-8

●時間は「〇分」と明示し、タイムタイマーや時計などで時間経過が視覚的にわかるように提示する。



学習の見通しがもてるように内容を活動順に視覚化する。

今からやることを端的に伝える。

実際に働いているところをビデオ等で見せるのも、わかりやすく興味関心をもてる

・自分の興味関心のある仕事について考え、記入しながら整理することができていたか。

今日の学習の進め方

- 2. TRY (P75)をする。
①仕事名、仕事内容を記入する。
①〇分

スライドV・(1)-9

今日の学習の進め方

- 2. TRY (P75)をする。
②この仕事に必要な能力(資質や適性)は、どのようなことか記入する。
②〇分

スライドV・(1)-10

各活動毎にタイムタイマーで〇分を表示

③その仕事の魅力を記入する。

○自分に向いていると思う仕事と、その理由について考える。(p 76)

### グループワーク③

①自分に向いていると思う仕事を記入する。

②その理由を記入する。

③自分の考えをもとにグループで話し合う。

・グループで話し合ったことを代表者が発表する。

・発表を聞く。

●☆自分が考える仕事の魅力はどのようなことなのか考えるように声かけする。

●グループワークの進め方を説明する。

サポートブック p76

●☆TRY⑩の内容も踏まえて考えるように声かけする。

●司会進行、発表者を決めて話し合うよう指示する。時間設定をタイムタイマーで提示。



●発表を始める前に発表者の声の大きさや態度、聞く態度を確認する。

●発表内容を記録し、最後にフィードバックできるようにする。

●☆前向きな意見交換になるように助言する。

●仕事に対して興味関心をもったり、やってみたい仕事について調べたりして自分が仕事に就くためには必要な能力を求められることに気づかせる。

スライドV・(1)-11

スライドV・(1)-13

スライドV・(1)-14

●話し合いの進め方カードを配る。

スライドV・(1)-16

●司会、発表者カードを配布する。



●司会の仕方カードを配布する。


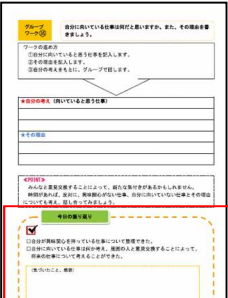
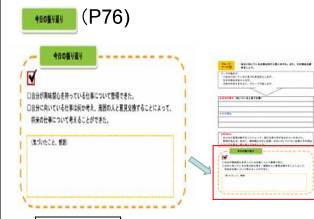
スライドV・(1)-18

・自分に向いている仕事について考えたり、グループでの話し合いに参加したりして、意見交換をすることができていたか。

各活動毎にタイムタイマーで〇分を表示

・意見交換を通して自分の仕事に対して新たな気づきをすることができたか。

カード類はラミネートして作成しておき、話し合いの時には随時活用

<p>○今日のまとめをする</p>	<p>●発表した内容を記録したものを提示しておく、振り返りの手助けとなるようにする。</p> <p>●まとめの内容を視覚化する</p>	<p>グループワーク35 自分に向いていると思う仕事について発表しよう ○○グループ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自分に向いている仕事</th> <th>向いていると思う理由</th> <th>必要な能力(資格や選性)</th> <th>この仕事の魅力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育士</td> <td>子どもが好きで、うたをうたったり、絵をかいたりするのが好きだから。</td> <td>保育士免許の取得できる学校に行っていることや、保育士の免許を取得する。</td> <td>子どもと楽しんでいることや、成長する姿を待てること。</td> </tr> <tr> <td>バス運転手</td> <td>大型の車の運転をしたい。</td> <td></td> <td>発表した内容を記入し視覚化する。</td> </tr> <tr> <td>○○デパートの販売員</td> <td>人と話したり、商品を紹介することに興味があるから。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高校の理科の教員</td> <td>理科が好きだから。○○先生みたいにになりたい。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>レストランのコック</td> <td>料理が好きだから。親に自分の作った料理を食べさせたい。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>PPT V—(1)—19</p> <p>スライドV・(1)・19</p> <p>★今日のまとめ★ 自分の将来の仕事は？</p> <p>↓</p> <p>①今が一番興味関心のある仕事を考えることができたかな。</p> <p>スライドV・(1)・20</p> <p>★今日のまとめ★ 自分の将来の仕事は？</p> <p>↓</p> <p>②自分に向いている仕事を考え、他の人と意見交換ができたかな。</p> <p>スライドV・(1)・21</p>	自分に向いている仕事	向いていると思う理由	必要な能力(資格や選性)	この仕事の魅力	保育士	子どもが好きで、うたをうたったり、絵をかいたりするのが好きだから。	保育士免許の取得できる学校に行っていることや、保育士の免許を取得する。	子どもと楽しんでいることや、成長する姿を待てること。	バス運転手	大型の車の運転をしたい。		発表した内容を記入し視覚化する。	○○デパートの販売員	人と話したり、商品を紹介することに興味があるから。			高校の理科の教員	理科が好きだから。○○先生みたいにになりたい。			レストランのコック	料理が好きだから。親に自分の作った料理を食べさせたい。			<p>生徒が発表した内容をスライドで提示する他、模造紙やホワイトボードに記入する、ワークシートを書画カメラで投影する等視覚化する。</p> 
自分に向いている仕事	向いていると思う理由	必要な能力(資格や選性)	この仕事の魅力																								
保育士	子どもが好きで、うたをうたったり、絵をかいたりするのが好きだから。	保育士免許の取得できる学校に行っていることや、保育士の免許を取得する。	子どもと楽しんでいることや、成長する姿を待てること。																								
バス運転手	大型の車の運転をしたい。		発表した内容を記入し視覚化する。																								
○○デパートの販売員	人と話したり、商品を紹介することに興味があるから。																										
高校の理科の教員	理科が好きだから。○○先生みたいにになりたい。																										
レストランのコック	料理が好きだから。親に自分の作った料理を食べさせたい。																										
<p>○学習内容を振り返る。(p76)</p> <p>今日の振り返り</p> <p>・あてはまる項目にチェックする。</p> <p>・気づいたこと感想を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p> <p>まとめ</p>	<p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p>  <p>サポートブック p 76</p> <p>●次時の学習内容について説明(スライド等で提示)する。</p>	<p>特別課題 (P76)</p>  <p>スライドV・(1)・22</p> <p>次回は、 ○月△日(□) 「働く価値と将来設計を考える」</p> <p>つづく</p> <p>スライドV・(1)・23</p>																									

## 指導のポイント

本単元では、自己理解を深め、将来の仕事について考えることをねらいとしています。漠然と仕事を考えるのではなく、自分のことを振り返りながら、自分の興味関心のある仕事について考え、その仕事に就くために必要なことを知ることは、職業生活を切り拓いていこうとする意欲や態度、目的意識などを培うために大切なことです。

また、本単元をどの学年で設定するかによって、導入、展開、まとめの内容は変わってきます。また、それぞれの学校の実態に合わせて学習活動を設定し、教材・準備物を用意することが必要になります。生徒の主体的な学びが深められるように、活動内容の工夫や教材・教具に創意工夫ある授業づくりをしましょう。

V 職業生活について  
(2) 働く価値と将来設計を考える p 77～80

- 1 単元名 職業生活について「働く価値と将来設計を考える」
- 2 ねらい 働くことの意味について考え、自分の将来の目標に向かって頑張らなければならないことは何か考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分） パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード、司会の仕方カード（各カード・グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○前時の振り返りをする。 ○本時の学習内容を知る。	●前時のまとめを視覚的にも提示する。 ●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●前時で共有したみんなの考えをスライド等で提示する。 ●スライド等を提示し、展開につなげる。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○自分が仕事を選ぶ際、大切にしたいことを考える。 <b>グループワーク⑳</b> (p 77)  ①仕事を選ぶ際に重視する点を3つ選びチェックする。 ②選んだ理由を自分の考えに記入する。  ③自分の考えをもとに、グループで話し合う。 ・話し合った内容をみんなの考えに記入する。 <b>TRY㉑</b> (p 78)  ○自分の将来を想像し、将来設計をしてみる。 ・ <b>グループワーク㉒</b> の内容を踏まえ、Aさんの将来設計の例を参考にして自分の将来設計を考える。	●p 77の項目について、p 78の《POINT》を参照させながら内容を説明する。 ●☆困っている生徒には、記入しやすいように選んだ項目の内容から具体的にどんなことを思い浮かべたのか、選んだ内容を実現させるために自分はどうしようと思っているのかを具体的に引き出す声かけをする。 ●司会者を決めて話し合うよう指示する。  ●スライド等でAさんの将来設計の例とあなたの将来設計の枠を提示し、項目番号順に例を示す。 ●困っている生徒には将来設計を具体的な言葉で記入できるように声をかける。	●スライドでp 78の《POINT》の内容と項目を提示する。  ●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。 ●☆教員自身が興味関心を持っている仕事や今の仕事を選んだ理由などを例としてスライドで提示できるように準備しておく。  ●*話し合いカードを配る。 ●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。  ● <b>TRY㉑</b> (p 78)の内容を視覚的に提示する。	・自分のやりたい仕事について考え、グループでの話し合いに参加することができていたか。



	<p>○自分がやりたい仕事に就き、その仕事を続けていくためには、どのようなことが必要か、またそのために自分が頑張らなければならないことは何か考える。</p> <p><b>グループワーク⑳</b></p> <p>(p 79)</p> <p>①自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>③みんなの考えを記入する。</p> <p>④グループで話し合ったことを代表者が発表する。 ・発表を聞く。</p> <p>○今日のまとめをする。</p>	<p>●ワークの進め方について説明する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。例えば教員自身がチェックのつく項目を話したりする。</p> <p>●司会者を決めて話し合うよう指示する。</p> <p>●みんなの考えの記入の仕方を視覚的にスライド等で提示する。</p> <p>●発表を始める前に発表者の声の大きさや態度、聞く態度を確認する。</p> <p>●今日のまとめの内容を視覚的に提示する。</p>	<p>●スライド等で視覚的に提示する。</p> <p>●*話し合いのカードを配る</p> <p>●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●発表の仕方、聞き方を提示 (スライド)</p>	<p>・自分の将来設計を思い描き、自分が頑張らなければいけないことについて考えたり、グループでの話し合いに参加したりして、イメージをもつことができたか。</p>
まとめ	<p>○学習内容を振り返る。 (p 80)</p> <p><b>今日の振り返り</b></p> <p>・あてはまる項目にチェックする。 ・気づいたこと感想を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●p 80の今日の振り返りに記入するよう指示し、視覚的に提示する。</p> <p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●スライド</p> <p>●次時の学習内容についてスライドで提示する。</p>	

## 指導のポイント

本単元では、将来仕事に就き、働くことにより思い描かれる自分の将来設計を考えることにより、自分がどのようなことをしなければいけないか、何が必要かを具体的にしてみることで、現在の自分が取り組むべきことやこれから身に付けなければいけないことを明確にすることがゴールとなります。

授業の導入や展開において、「1 将来の仕事について考える」の単元で学んだ内容と関連づけながら、それぞれの「仕事」「働く」「将来設計」について、自分のこととして考え、明確にしていくことが大切です。

授業展開としては、**グループワーク**や**TRY**に時間がかかり、1時間の授業では設定が難しい場合も考えられます。そのような場合は、2時間の授業設定で**グループワーク**や**TRY**を行ったり、展開の活動内容を分けて授業を設定したりすることが必要になります。その場合は、活動にメリハリをつけ、学んだ内容が途切れたりしないように学習した内容を視覚的に提示して残したり、復習の活動を取り入れたりしながら授業への参加を促し、理解を深める工夫を行きましょう。

V 職業生活について  
(3) インターンシップに向けて① p 81～83

- 1 単元名 職業生活について「インターンシップに向けて①」  
 2 ねらい 企業見学やインターンシップに参加する前の心構えについて考えることができる。  
 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分） パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード、司会の仕方カード（各カード・グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	<p>○始めのあいさつをする。</p> <p>○前時の振り返りをする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p>	<p>●前時のまとめを視覚的にも提示する。</p> <p>●本時の学習内容について興味関心をもたせる。</p>	<p>●前時で共有したみんなの考えをスライド等で提示する。</p> <p>●スライド等を提示し、展開につなげる。</p>	<p>・話を聞く姿勢や態度が整っているか。</p>
展開	<p>○学校における就職活動の流れについて調べてみよう。</p> <p><b>TRY⑱</b> (p 81)</p> <p>・1年生、2年生、3年生で行う就職活動について調べ、自分の考えに記入する。</p> <p>○企業見学やインターンシップに参加することを想定して目的を考え、自分の抱負が言えるようにまとめる。</p> <p><b>グループワーク㉔</b> (p 82)</p> <p>①自分の抱負を記入する。【あなたの場合】の枠に記入。</p> <p>②自分の抱負をグループで話す。</p> <p>○グループで抱負を代表者が発表する。 ・発表を聞く。</p>	<p>●スライドでp 81の《POINT》の項目に説明を加えて提示する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいようにスライドやプリントを参考にするようにヒントを与える。</p> <p>●ワークの進め方について説明する。</p> <p>●例の○○を埋めた形の例を提示する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。例のひな形を参考に考えることや、見学やインターンシップで自分が何を学びたいと思っているのかを考えるように声かけする。</p> <p>●司会者、発表者を決めて話し合うよう指示する。</p>	<p>●スライド等で視覚的にも提示する。</p> <p>●☆自校の進路決定の手順や日程を視覚化したものを準備しスライドやプリントで提示する。</p> <p>●イメージしやすいように企業見学やインターンシップ先についての情報を視覚的に提示する。</p> <p>●*話し合いのカードを各グループに配る。</p> <p>●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●発表の仕方、聞き方を提示（スライド）</p>	<p>・自分のやりたい仕事について考え、グループでの話し合いに参加することができていたか。</p>

	○今日のまとめをする。	●今日のまとめの内容を視覚化する。 ●☆企業見学やインターンシップに向けて自分が目的をもって参加することが大切であり、友達の姿勢も認めながら企業見学やインターンシップに参加することが大切であることに気づかせる。		・企業見学やインターンシップに目的意識をもって抱負を考えたり、言ったりすることができたか。
まとめ	○学習内容を振り返る。 (p 83) <b>今日の振り返り</b> ・あてはまる項目にチェックする。 ・気づいたことや感想を記入する。 ○次時の学習内容を聞く。 ○終わりのあいさつをする。	●p 83の今日の振り返りに記入するよう指示し、視覚的に提示する。 ●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。 ●次時の学習内容について説明する。	●スライド  ●次時の学習内容についてスライドで提示する。	

## 指導のポイント

本単元は、インターンシップに向けて①とし、それぞれの学校における就職活動の流れやその内容、企業見学やインターンシップの目的について知り、自分が今どの流れの中にいるのか、そして、実際に企業見学やインターンシップに行くときの目的は何かを言葉にすることで、目的意識を明確にすることをゴールにしています。

そのため、それぞれの学校の就職活動の流れやその内容が生徒にわかるような視覚的な資料の準備は不可欠です。時系列と内容が一目見てわかるスケジュール表のような手立てが有効です。

また、抱負と言われてもイメージしにくい生徒もいると思われるので、その場合は、企業見学やインターンシップで具体的にどういうことをしたいのか、どういうことを知りたいのかなどを個別に働きかけながらイメージをもたせることも必要です。

最後に抱負を発表する活動を取り入れて、自分の抱負を内在化させるとともに、友達の抱負を聞くことにより、いろいろな考え方があることを知ることで、他者理解や尊重する姿勢を身に付けることができると考えます。

V 職業生活について  
 (4) インターンシップに向けて② p 84～87

- 1 単元名 職業生活について「インターンシップに向けて②」
- 2 ねらい 職場見学やインターンシップを実施するために必要な一般的なルールやマナーを理解することができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分） パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード、司会の仕方カード（各カード・グループ数）、インターンシップ日誌		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	<p>○始めのあいさつをする。</p> <p>○前時の振り返りをする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p>	<p>●前時のまとめを視覚的にも提示する。</p> <p>●本時の学習内容について興味関心をもたせる。</p>	<p>●前時で共有したみんなの考えをスライド等で提示する。</p> <p>●スライド等を提示し、展開につなげる。</p>	<p>・話を聞く姿勢や態度が整っているか。</p>
展開	<p>○一般的なインターンシップの時のマナーやルールを知る。</p> <p><b>TRY⑱</b> (p 84)</p> <p>・自分が特に気をつけなければならないと思う項目を5つチェックする。</p> <p>○インターンシップ日誌に何を記入すればいいか、確認する。</p> <p><b>TRY⑳</b> (p 85)</p> <p>・インターンシップ日誌への記入方法を知る。</p> <p>○社会人としてのルールやマナーについて考える。</p> <p><b>TRY㉑</b> (p 86)</p> <p>・社会人のルールやマナーについて、今できていると思う項目をチェックする。</p> <p>○自信を持って行動することの大切さについて考える。</p> <p><b>グループワーク㉓</b> (p 86)</p>	<p>●学習の進め方について説明する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。</p> <p>●<b>TRY⑳</b> (p 85)の内容を視覚的に提示する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。</p> <p>●学習の進め方について説明する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいように自分の行動を振り返ってみるようにヒントを与える。</p> <p>●学習の進め方について説明する。</p>	<p>●<b>TRY⑱</b> (p 84)の内容を視覚的に提示する。</p> <p>●自校のインターンシップ日誌を作成し、記入の仕方を視覚的に提示する。</p> <p>●社会人のルールやマナーの項目を視覚的に提示する。</p>	<p>・自校のインターンシップ日誌の内容を理解することができたか。</p> <p>・企業見学やインターンシップに向けて、一般的なルールやマナー、社会人としてのルールやマナーを理解することができたか。</p>

	<p>①自分が自信を持って行動していることを自分の考えに書く。</p> <p>②グループで意見交換する。</p> <p>③自信を持って行動することがなぜ大切なのか話し合う。</p> <p>○グループの代表者が発表する。 ・発表を聞く。</p> <p>○今日のまとめをする。</p>	<p>●☆困っている生徒には、その生徒のいいところを具体的に取り上げて記入を促す。</p> <p>●司会者、発表者を決めて話し合うよう指示する。</p> <p>●発表を始める前に発表者の声の大きさや態度、聞く態度を確認する。</p> <p>●今日のまとめの内容を視覚化する。</p> <p>●☆企業見学やインターンシップに向けて、社会人としてのルールやマナーを知り、知った内容を実践することが大切であることに気づかせる。</p>	<p>●*話し合いのカードを配る。</p> <p>●発表の仕方、聞き方を提示（スライド）</p> <p>●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p>	
<p>まとめ</p>	<p>○学習内容を振り返る。 (p 87)</p> <p><b>今日の振り返り</b></p> <p>・あてはまる項目にチェックする。</p> <p>・気づいたこと感想を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●p 87の今日の振り返りに記入するよう指示し、視覚的に提示する。</p> <p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●スライド</p> <p>●次時の学習内容についてスライドで提示する。</p>	

## 指導のポイント

本単元は、インターンシップに向けて②とし、一般的なインターンシップの時のマナーや社会人としての一般的なマナーを理解し、実際のインターンシップに向けて取り組む内容を学びます。

**TRY⑱**では、インターンシップの時を想定した項目を提示しています。特に気をつけることとして5つあげていますが、どの項目も気をつけるべき内容です。生徒にはそのことも合わせて伝えることも大切です。

**TRY⑳**では、インターンシップ日誌の記入方法について学びます。単に記入の仕方を学ぶのではなく、日誌を記入することで自分がその日に行ったことを振り返り、次の日へ生かすことが大切であることを学んでほしいです。自校のインターンシップ日誌を活用し、実際にインターンシップで使用する日誌を使って学習活動を展開してください。

V 職業生活について  
 (5) 面接場面でのスキルを身に付ける p 88～92

- 1 単元名 職業生活について「面接場面でのスキルを身に付ける」
- 2 ねらい 面接時の身だしなみや応答の仕方について考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分） パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード、司会の仕方カード（各カード・グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○前時の振り返りをする。 ○本時の学習内容を知る。	●前時のまとめを視覚的にも提示する。 ●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●前時で共有したみんなの考えをスライド等で提示する。 ●スライドを提示し、展開につなげる。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○面接を受ける際の身だしなみで、気をつけなければいけないことを考える。 <b>グループワーク④⑩</b> (p 88) ①自分で考える。  ②自分の考えをもとにグループで話す。  ③みんなの考えを記入する。  ○身だしなみについて、面接官が受ける印象を考える。(p 89) <b>グループワーク④⑪</b> ①自分の考えを記入する。  ②自分の考えをもとに、グループで話し合う。	●学習の進め方について説明する。  ●ワークの進め方について説明する。 ●☆困っている生徒には、記入しやすいように具体的な例のヒントを与える。 ●司会者を決めて話し合うよう指示する。  ●みんなの考えの記入の仕方を視覚的にスライドで提示する。  ●学習の進め方について説明する。  ●☆困っている生徒には、記入しやすいように例にならって①から記入してみるようにヒントを与える。 ●司会者を決めて話し合うよう指示する。 ●発表を始める前に発表者の声の大きさや態度、聞く態度を確認する。	●スライド等で視覚的にも提示する。  ●スライド等で <b>POINT</b> ≧ p 88を提示する。イド  ●話し合いカードを配る。 ●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。  ●話し合いカードを配る。 ●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。 ●発表の仕方、聞き方を提示（スライド）	・身だしなみについて、気をつけることや面接官が受ける印象などを考えることができたか。

	<p>③みんなの考えを記入する。</p> <p>○グループの代表者が発表する。 ・発表を聞く。</p> <p>○面接官との受け答えの際に、気をつけることを考える。(p 90)</p> <p><b>グループワーク④②</b></p> <p>①自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>③みんなの考えを記入する。</p> <p>○「自分のセールスポイントは何ですか」と聞かれたら、どのように答えるか、考える。(p 91)</p> <p><b>グループワーク④③</b></p> <p>①自分のセールスポイントを記入する。</p> <p>②ペアになって、自分のセールスポイントを1分間で話す。</p> <p>③自分と友達の話し方で良かった点と改善点を記入し、グループで話す。</p> <p>○グループの代表者が発表する。 ・発表を聞く。</p>	<p>●みんなの考えの記入の仕方を視覚的にスライドで提示する。</p> <p>●学習の進め方について説明する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいように「POINT」P90を読んでみるようにヒントを与える。</p> <p>●司会者を決めて話し合うよう指示する。</p> <p>●みんなの考えの記入の仕方を視覚的にスライドで提示する。</p> <p>●学習の進め方について説明する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。</p> <p>●☆ペアが作れているか確認する。</p> <p>●司会者を決めて話し合うよう指示する。</p> <p>●☆面接場面でどのようなスキルが必要か、具体的に理解することができたか、実際にできるようにしていくことが大切であることに気づかせる。</p>	<p>●話し合いカードを配る。</p> <p>●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●話し合いカードを配る。</p> <p>●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●良かった点と改善点の記入の仕方をスライドで示す。</p>	<p>・面接時の身だしなみや応答の仕方について考え、理解することができたか。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○学習内容を振り返る。(p 92)</p> <p><b>今日の振り返り</b></p> <p>・気づいたこと、感想を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●p 92の今日の振り返りに記入するよう指示し、視覚的に提示する。</p> <p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●次時の学習内容についてスライドで提示する。</p>	

V 職業生活について

(6) 職場での困難を考える① (コミュニケーション)

p 93～96

- 1 単元名 職業生活について「職場での困難を考える① (コミュニケーション)」
- 2 ねらい 職場の中で気持ちよく仕事をするために気をつけることを理解し、自分が困った時の対処の仕方を知る。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート	サポートブック (生徒人数分)		
	機器・視覚支援グッズ	パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード (グループ数)、司会役、発表役のカード、司会の仕方カード (各カード・グループ数)		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	<p>○始めのあいさつをする。</p> <p>○前時の振り返りをする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p>	<p>●前時のまとめを視覚的にも提示する。</p> <p>●本時の学習内容について興味関心をもたせる。</p>	<p>●前時で共有したみんなの考えをスライド等で提示する。</p> <p>●スライド等を提示し、展開につなげる。</p>	<p>・話を聞く姿勢や態度が整っているか。</p>
展開	<p>○自分が就職した時、職場で気持ちよく仕事をするために気をつけなくてはならないことはどんなことか、考える。</p> <p><b>グループワーク④</b></p> <p>(p 93)</p> <p>①自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>③みんなの考えを記入する。</p> <p>○自分が就職した時、どのようなことが一番心配か、考える。(p 94)</p> <p><b>グループワーク⑤</b></p> <p>①自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>③みんなの考えを記入する。</p>	<p>●学習の進め方について説明する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいように具体的な例のヒントを与える。</p> <p>●司会者を決めて話し合うよう指示する。</p> <p>●みんなの考えの記入の仕方を視覚的にスライドで提示する。</p> <p>●ワークの進め方について説明する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいように具体的な場面を提示してヒントを与える。</p> <p>●司会者を決めて話し合うよう指示する。</p> <p>●みんなの考えの記入の仕方を視覚的にスライドで提示する。</p>	<p>●スライドで視覚的にも提示する。</p> <p>●スライドでp 93の《POINT》の項目に説明を加えて提示する。</p> <p>●話し合いカードを配る。</p> <p>●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●P 94の《POINT》を参照させながら内容を説明する。</p> <p>●話し合いカードを配る。</p> <p>●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●発表の仕方、聞き方を提示 (スライド)</p>	<p>・自分のやりたい仕事について考え、グループでの話し合いに参加することができていたか。</p>



	<p><b>グループワーク④⑥</b></p> <p>○提示された場面があったら、どのように対処するか、考える (p 9 5)</p> <p>①自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>③みんなの考えを記入する。</p> <p>○グループで話したことを発表する。 ・発表を聞く。</p> <p>○今日のまとめをする。</p>	<p>●ワークの進め方について説明する。</p> <p>●状況を理解できるように言葉と視覚情報で説明する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。</p> <p>●司会者、発表者を決めて話し合うよう指示する。</p> <p>●みんなの考えの記入の仕方を視覚的にスライドで提示する。</p> <p>●発表を始める前に発表者の声の大きさや態度、聞く態度を確認する。</p> <p>●今日のまとめの内容を視覚化する。</p> <p>●P 9 5の《POINT》を参照させながら内容を説明する。</p>	<p>●スライド等で表 (P95)を視覚化する。</p> <p>●話し合いカードを配る。</p> <p>●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●発表の仕方、聞き方を提示 (スライド)</p>	<p>・企業見学やインターンシップに目的意識をもって抱負を考えたり、言ったりすることができたか。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○学習内容を振り返る。(p 9 6)</p> <p><b>今日の振り返り</b></p> <p>・あてはまる項目にチェックする。</p> <p>・気づいたこと感想を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●p 9 6の今日の振り返りに記入するよう指示し、視覚的に提示する。</p> <p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●スライド等</p> <p>●次時の学習内容についてスライドで提示する。</p>	

## 指導のポイント

本単元は、職場での困難を考える①とし、職場の中で気をつけることを考えることができ、自分が困ったときの対処の仕方を知ることがゴールにしています。

そのため、p 9 3、9 4の《POINT》の内容を、わかりやすく伝えながら、生徒が自分のこととして、職場での自分の姿をイメージできるように授業を進めていきます。

職場で気持ちよく仕事をするために気をつけることを考えることはもちろんのこと、自分が困ったときにどうするのか、誰に相談すればいいのを知っておくことは、仕事を続けていく上で、非常に大切なこととなります。学校では、仲のいい友達やクラスの先生に、すぐに相談できていたことも、職場では難しくなってくることも予想されます。困ったときにはすぐに先輩や上司に報告し、相談することの大切さをしっかりと伝えるとともに、伝え方をロールプレイにより練習することも大事な手立てになります。p 9

5の**グループワーク④⑥**を、簡単なロールプレイにして演じることも非常に有効な授業展開の一つです。

V 職業生活について  
 (7) 職場での困難を考える② (ルールやマナー) p 97～99

- 1 単元名 職業生活について「職場での困難を考える② (ルールやマナー)」
- 2 ねらい 職場でのルールやマナーがどのようなものか考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック (生徒人数分) パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード (グループ数)、司会役、発表役のカード、司会の仕方カード (各カード・グループ数)		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。 ○前時の振り返りをする。 ○本時の学習内容を知る。	●前時のまとめを視覚的にも提示する。 ●本時の学習内容について興味関心をもたせる。	●前時で共有したみんなの考えをスライド等で提示する。 ●スライド等を提示し、展開につなげる。	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。
展開	○職場で守らなくてはいけないルールやマナーはどのようなものか考える。(p 97) <b>グループワーク④7</b> ①自分の考えを記入する。  ②自分の考えをもとに、グループで話し合う。  ③みんなの考えを記入する。 ○グループの代表者が発表する。 ・発表を聞く。  ○自分が引き受けた仕事が期限内に終わりそうにありません。あなたは、すごく困っています。どのように対応したらいいか考える。 <b>グループワーク④8</b> (p 98)	●学習の進め方について説明する。  ●スライドでp 98のマナー①工作中的の服装について、マナー②出勤時間を守る、 <b>POINT</b> P97を視覚的に提示し、説明する。 ●☆困っている生徒には、記入しやすいように例えば、「○○の場合はどうしたらいいか」と具体的な場面での行動でヒントを与える。 ●司会者、発表者を決めて話し合うよう指示する。 ●発表を始める前に発表者の声の大きさや態度、聞く態度を確認する。 ●みんなの考えの記入の仕方を視覚的にスライド等で提示する。 ●学習の進め方について説明する。	●スライドでp 97の <b>POINT</b> の内容を視覚的に提示し、説明する。  ●話し合いカードを配る。 ●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。  ●発表の仕方、聞き方を提示 (スライド)	・職場でのマナーやルールにどのようなものがあるか理解することができていたか。

	<p>①自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをもとに、グループで話し合う。</p> <p>③みんなの考えを記入する。</p> <p>○グループの代表者が発表する。 ・発表を聞く。</p> <p>○今日のまとめをする。</p>	<p>●☆困っている生徒には、記入しやすいように例えば、「○○の場合はどうしたらいいか」と具体的な場面での行動でヒントを与える。</p> <p>●司会者、発表者を決めて話し合うよう指示する。</p> <p>●発表を始める前に発表者の声の大きさや態度、聞く態度を確認する。</p> <p>●みんなの考えの記入の仕方を視覚的にスライド等で提示する。</p> <p>●今日のまとめの内容を視覚的に提示する。</p> <p>●☆職場でのルールやマナーを知り、行動として理解したうえで実行することが大切であることに気づかせる。</p>	<p>●話し合いカードを配る。</p> <p>●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>●発表の仕方、聞き方を提示（スライド）</p>	<p>・職場でのルールやマナーを知り、行動として理解したうえで実行することが大切であることに気づけたか。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○学習内容を振り返る。 (p 99)</p> <p>今日の振り返り</p> <p>・あてはまる項目にチェックする。 ・気づいたこと感想を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>●p 99の今日の振り返りに記入するよう指示し、視覚的に提示する。</p> <p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●スライド</p> <p>●次時の学習内容についてスライドで提示する。</p>	

### 指導のポイント

本単元は、職場での困難を考える②とし、職場でのルールやマナーがどのようなものか考えることができ、行動として理解し、実行することが大切であることに気づくことをゴールにしています。

そのため、生徒たちが考えたルールやマナーが、職場でのルールやマナーとされている内容と一致しているかどうかを確認することが必要です。グループワークで話し合った内容を全体で共有することは、ルールやマナーの内容が一致しているかどうかを確認するためにも、学習活動に取り入れましょう。

また、ルールやマナーは、行動として理解するとともに、実行することが大切であることを合わせて学ぶことが大切です。職場でのルールやマナーとしていますが、学校生活でも取り入れることができることは取り入れて実行してみるのもいいでしょう。例えば、動きやすい服装、自分の身体に合った服装とはどんなものかなどを考えたり、学校生活で授業が始まるぎりぎりに移動するのではなく、時間に余裕を持って移動し、準備するなど、具体的にイメージしたり、実行して身に付けたりすることも実践的な学びとなるでしょう。

V 職業生活について  
(8) 将来の自分について考える p 100～103

- 1 単元名 職業生活について「将来の自分について考える」
- 2 ねらい 将来、働いている自分をイメージし、自立した生活を送るために必要なスキルを考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分） パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード、司会の仕方カード（各カード・グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	<p>○始めのあいさつをする。</p> <p>○前時の振り返りをする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p>	<p>●前時のまとめを視覚的にも提示する。</p> <p>●本時の学習内容について興味関心をもたせる。</p>	<p>●前時で共有したみんなの考えをスライド等で提示する。</p> <p>●スライド等を提示し、展開につなげる。</p>	<p>・話を聞く姿勢や態度が整っているか。</p>
展開	<p>○将来の仕事・職場を考える時に大切にしたいことを、自分が働く姿をイメージをして考える。</p> <p><b>TRY②</b> (p 100)</p> <p>①自分の考えを記入する。</p> <p>○ライフスキルチェックシートを行い、できていない部分をどう改善するか、友達からアドバイスをもらう。</p> <p><b>グループワーク④</b> (p 101)</p> <p>①ライフスキルチェックシートを行う。</p> <p>②それぞれの項目で、できることは○、少しできることは△、できないことは×を付ける。</p> <p>③できていないことと、その改善方法を記入する。</p>	<p>●学習の進め方について説明する。</p> <p>●☆今まで学習してきた内容を踏まえ、自分が働く姿を具体的にイメージできるように声かけする。「例えば、どんな仕事をしたいと思っているのか」などと声かけする。</p> <p>●ワークの進め方を具体的に説明する。</p> <p>●記入の仕方を p 103 のライフスキルチェックシートを使って視覚的に提示する。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいように自分の判断で付けていいことを伝える。</p> <p>●ワークの進め方について説明する。</p>	<p>●<b>TRY②</b> (p 100) の内容を視覚的に提示し、説明する。</p> <p>●スライドで p 100 の《POINT》の内容を視覚的に提示し、説明する。</p> <p>●学習の進め方について《POINT》P101 を提示して説明する。</p> <p>●スライドなどでライフスキルサポートブックのV職業生活で学んできた内容を振り返るように視覚的に提示する。</p>	<p>●タイムタイマーや時計などで時間経過がわかるように提示する。</p> <p>・ライフスキルチェックを行うことにより、できているところ、できていないところを明確にすることができたか。</p>

	<p>・ p 1 0 3 の表に記入する。</p> <p>①自分の考えを記入する。</p> <p>②友達からの助言を記入する。</p> <p>○それぞれのグループでもらったアドバイスについて確認する。</p> <p>○グループの代表者が発表する。</p> <p>・発表を聞く。</p>	<p>●☆困っている生徒には、友達からの助言を積極的に受けるよう声をかける。</p> <p>●☆できていないことだけを確認するのではなく、自分の改善点を明確にし、その改善方法を考えることがゴールであることを説明する。</p> <p>●改善方法まで考えるように声かけする。</p> <p>●発表を始める前に発表者の声の大きさや態度、聞く態度を確認する。</p> <p>●もらったアドバイスについて共有する。</p>	<p>●スライド等で視覚的に提示する。</p> <p>●助言を受けるとき、するときの態度や言い方について事前に確認しておく。どのような言い方や態度がいいか、具体的に箇条書きで提示する。</p> <p>●発表の仕方、聞き方を提示（スライド）</p> <p>●スライドで具体的に示して説明する。または、プリントにして手元に置くように準備する。</p> <p>●発表した p 1 0 3 の表を書画カメラで投影する。</p>	<p>・できていないことと、その改善方法について考え、友達からのアドバイスを聞き入れることができたか。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○学習内容を振り返る。 ( p 1 0 3 )</p> <p>今日の振り返り</p> <p>・気づいたこと、感想を記入する。</p> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p>	<p>● p 1 0 3 の今日の振り返りに記入するよう指示し、視覚的に提示する。</p> <p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●スライド</p> <p>●次時の学習内容についてスライドで提示する。</p>	

本単元は、将来の自分について考えとし、今まで学習してきた内容を踏まえながら、将来の自分が働いている姿をイメージしたり、自立した生活を送るために必要なスキルを考えたりすることをゴールにしています。

学習活動では、「できていないこと」を話し合いますが、それは改善するために話し合っているという目的を明確にし、改善するために具体的にどうすればいいかという行動まで考えることが大切です。また、話し合いの前に、その行動は取り組むことが可能かを考えて出し合うように指示を出しておきましょう。

友達に助言したりされたりするときには、できていないことだけを言われるのはつらいものです。改善策と一緒に伝えることを確認しておきましょう。また、改善策が自分では見つけられなかったときは、他の友達に助けてもらうこともかまわないという前提で行くと話しやすいかもしれません。助言を受けるときや助言するときの態度や言い方については、どんな言葉でどのように言えばいいかを具体的に示しておくのも一つの方法です。自分はそういうつもりで言っていないのにちょっとした言葉や言い方、態度で不愉快に伝わってしまうことも考えられます。話し合いがみんなにとってプラスになるように準備しておきましょう。

ライフスキルチェックシートは、自分ができていることと、できていないことを把握するとともに、改善点を受け入れ、取り組むことにより、改善されたかどうかを確認することにも活用することができます。



# VI 学習の仕方について

## VI 学習の仕方について

自分に合った学習スタイルを見付けることは、とても大切なことになります。今一度、自分と向き合うことで、「自分に向いている学習スタイル」や「家庭学習を効率的にする方法」を考えていきましょう。

### □自分に向いている学習の仕方が分かると

- ・苦手な手をつけにくい教科もどのように勉強すればいいか、宿題にどこから取り掛かればよいか等の方法が分かるようになります。やり方が分かると、覚えた知識が繋がっていき、身の回りの事象への気付きが生まれます。覚えた知識を使って思考することで、さらにいろんな勉強への興味や関心が高まり、広がっていきます。
- ・これから進級して卒業したり、進学や就職で夢をつかんだりしていくときに、やはりなくてはならないものは学習です。自分に合った学習の仕方が見つければ、自分に合った仕事や学校も選ぶことができることにつながり、自分の可能性を広げる大きな助けとなります。

### □自分に向いている学習の仕方が分らないと

- ・いつも宿題にストレスを感じてしまい、何からやればよいか、きっかけがつかめなくなります。そのため、テスト勉強に向けての不安も解消できず、大事な時に自分の本当の力が発揮できなくなってしまうかもしれません。
- ・まずは、自分に向いている学習の方法はないか、自分をみつめ直してみましょう。自分の特性を知り、周りの人たちの力も借りて、あなたに合った学習の仕方を探してみましょう。


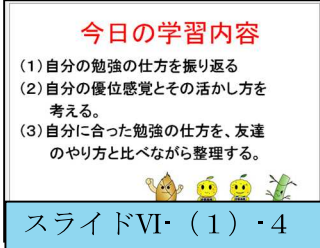

### 学習の仕方について ワンポイント

自分にとって、効率的な学習スタイルを見付けることは、とても大切なことです。



VI 学習の仕方について  
 【スライド資料等解説付きバージョン】  
 (1) 自分に向いている学習スタイルを考える p105~109

- 1 単元名 勉強の<仕方>を極めよう
- 2 ねらい
  - ・自分に向いている学び方があることを知り、考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分）、グループワークのワークシート パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数） ☆タイムタイマーや、カード類などは箱にまとめてセットにして保管する		
		準備については、授業の流れがスムーズなよう万全に		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	○始めのあいさつをする。  ○本時の学習内容を知る。 ・学習の仕方について知る ・自分の勉強方法を知る	※サポートブックを配る。   サポートブック表紙 ●本時の学習内容について興味関心をもたせる。 ●学習の仕方にも色々あることを伝える。 ●学習の進め方について説明する。	※各生徒に配布できるようにサポートブックを準備する。 （☆あるいは、プリント一枚ずつ配ってもOK）  ●本時の内容をスライドで提示する。   ●学習方法がわかると、効率的に学習が進むことを提示し、興味を持たせる。  	・話を聞く姿勢や態度が整っているか。 ・自分のこれまでの学習スタイルを思い出そうとしているか。
展開	○自分に向いている学習スタイルを考える。(p105)	●自分が勉強が進むと思ったやり方、場所、時間などの環境について説明する。	●ページ数を明確に示し、開くことができているか確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     視覚的な支援があると、今やっていることがわかり、授業に参加するきっかけになる。                 </div>	



● TRY⑬の絵を視覚的に示し、見通しをもたせる。



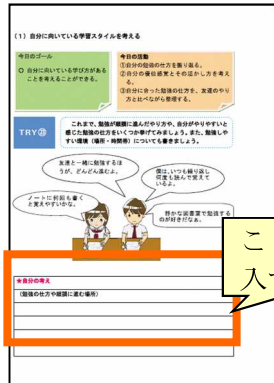
コメントを読んで例を理解し見通しをもつ。

〇〇さんは、どう？と個別に声をかける。

TRY⑬ (p 105)

①自分の考えを記入する。

サポートブック p 105



● 思いついたことを記入するように声をかける。  
● ☆困っている生徒には、記入しやすく例を挙げたり、聞き取りをして書くように促す。

TRY⑭のチェックシート

をスライドでスクリーンに映し確認する。  
● 教員の体験も交えて話し、集中させる。  
● スライドに学習スタイルチェックシートを提示し、どこを読んでいるのかを示し、チェックを入れさせる。  
● 自分のやっていることを思い出して書くように伝える。個別に声をかける。  
● 結果は、数の多いものが得意なやり方だと教える  
● 自分の〇〇型がわかっているかを確認する。

TRY⑭ (p 106)

学習スタイルチェックシートで自分の学習スタイルを確認しよう

①自分の考えを記入する。

②チェックリスト結果を記入する。

● スライドで視覚化して、見ながら説明する。



スライドVI (1)・5

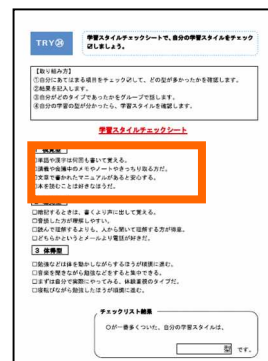
● タイムタイマー等で活動時間を示す。



● 聞く、書くを分けて行う。

● スライドで視覚的な支援を行う。

● 読む場所を示しながら、チェックリストの1 視覚型から順に読んでいくこと



サポートブック p 106

● 書く場所を色をつけてわかりやすく提示する

・自分で思ったことを記入できているか。  
・自分の学習スタイルを振り返ることができたか。

・チェックができているか。

・自分の学習スタイルの型が書けたか。

●学習スタイルの勉強法を紹介する。

(p 107)

グループワーク⑤

(p 108)

グループにわかれて活動を行う。

●記入するところを、順に説明する。

勉強の仕方チェックシートに記入する。  
①自分に向いている勉強の仕方についてさきほどの学習スタイルを参考にチェックシートに記入する。

- ②「自分の勉強がはかどる場所は」に記入する。
- ③「どんな時にはかどりますか」に記入する。
- ④「自分が苦手と思うことへの対処は」に記入する。

①書いたことを順に発表し、共有する。

●自分の型以外の方法も知り、色々な勉強方法があることを理解させる。

●POINTを読み、全部にチェックがついた人を聞いたり、自分ができるそうなのがわかったかを確認する。

●グループで集まり、それぞれ役割を決めさせる。

●記入するページが準備できているか確認する。



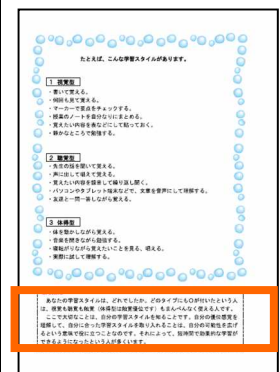
サポートブック p 108

●発表の流れカードを活用しながら、司会が進める。

●発表できているかグループを回って確認する。

●友達が言ってくれた意見を記入するように声をかける。

●学習スタイルをスライドに示す。



サポートブック p 107

●グループでの役割を明確にするため、役割カードを活用する。

- ・役割をカードにして各生徒に渡す【司会、発表者、記録などをカードにする】



●発表の流れカードを活用してグループだけで、話し合いが進行できるようにする。

◎グループ活動時の司会の仕方について




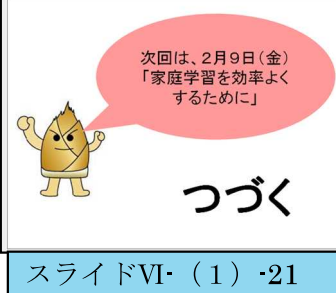
①これから、グループで活動を行います。まず、ワークシートに、自分で記入してください。時間は、〇〇分をお願いします。タイマー係りの人は、タイマーをお願いします。

②皆さん書いたようなので、これから、グループで発表を行います。〇〇さんから、〇〇さんの流れで、順に発表してください。

③それでは、〇〇さん、発表をお願いします。書いていることを、教えてください。(又は、思ったことを書いてください。など) 順に聞いていく。

④みんなの考えを発表してもらいました。では、聞いたことをワークシートへ書いてください。わからないことは、周りの友達に聞いてください。

・自分の得意なことと苦手なことを考えることができたか。

<p>②友達の意見を書き込む。</p>  (p 108-109)	<p>●☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。</p>	<p>●記録の係が友達の意見を書いたものを書画カメラで写したりして、意見を共有する。</p>  <p>ワークシートなどを直接スクリーンに映して意見を共有</p>	<p>・他の友達の勉強の仕方を知ることができたか。</p> <p>・勉強に取りかかる気持ちを持たせることができたか。</p>
<p>○学習内容を振り返る。(p 109)</p> <p><b>今日の振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あてはまる項目にチェックする。</li> <li>・気づいたこと、感想を記入する。</li> </ul> <p>○次時の学習内容を聞く。</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p> <p>まとめ</p>	<p>●本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>●次時の学習内容について説明する。</p>	<p>●記入するページをスライド等で提示する。</p>  <p>スライドVI・(1)・20</p> <p>●次時の学習内容をスライド等で提示する。</p>  <p>スライドVI・(1)・21</p>	<p>・学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p>

## 指導のポイント

○学習スタイルチェックシートの活用について。TRY④ p 106

### 個別の支援

- ・考えつかない生徒への支援→「試験勉強の時に、どんな風に勉強をしているか思い出して」と声をかけますが、勉強をほとんどしない生徒は答えられないこともあります。単語覚えや漢字覚えなどを、その場で体験してもらったりしてもいいでしょう。
- ・得意なことを活用すると、覚えることなどが早く効果的にできることを本人にわかってもらうことが大切です。そのために、自分のことを振り返ることから始めて、これまで自分が行っていた勉強の仕方以外の方法があることや、覚えやすい学習スタイルに気がつくように声をかけましょう。



覚えるのがて…



動きに合わせて覚えると簡単!

アニメーションや動画などを活用して、勉強の方法として珍しい体得型を紹介すると、興味が高まるかもしれません。

先生が、寝転んで単語を覚えていたり、うろうろしながら、教科書を読んだりしているのを、録画して見せたりすると、集中して取り組めるかもしれませんね。

**VI 学習の仕方について**  
**(2) 家庭学習を効率よくするために p 1 1 0 ~ 1 1 4**

- 1 単元名 家庭学習の取り組み方を考えよう
- 2 ねらい
  - ・家庭学習を自分ひとりでやるために何が必要か考えることができる。
- 3 学習活動

準備物	教材・ワークシート 機器・視覚支援グッズ	サポートブック（生徒人数分）、グループワークのワークシート パソコン、書画カメラ、タイムタイマー、時計、話し合いの進め方カード（グループ数）、司会役、発表役のカード（各グループ数）		
	<b>学習活動</b>	指導上の留意点 (●T1、☆T2)	教材の活用	評価
導入	<p>○始めのあいさつをする。</p> <p>○本時の学習内容を知る。</p> <p>・得意な方法を使って宿題のやり方を見つけよう。</p> <p>・試験勉強の計画を立てよう。</p>	<p>※サポートブックを配る。</p> <p>●本時の学習内容について興味関心をもたせる。</p> <p>●家庭での学習の仕方がわからないから、宿題や試験勉強ができていない人がいるのではないかと伝える。</p>	<p>※各生徒に配布できるようにサポートブックを準備する。</p> <p>●本時の内容をスライドで提示する。</p> <p>●前回の学習で学んだ自分の得意な勉強の仕方を思い出し、どうやると役立つのか振り返る。</p>	<p>・話を聞く姿勢や態度が整っているか。</p> <p>・家庭での学習について振り返ってみようと思ったか。</p> <p>・試験の計画などを考えようとしているか。</p>
展開	<p>○家庭学習ができていなければ、どうしたらいいのかを、考えよう (p 1 1 0)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループワーク 5 1</p> <p>①自分の考えを記入する。</p> <p>②みんなで発表を話し合い共有する。</p> <p>③友達の意見をワークシートに書き込む。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループワーク 5 2</p> <p>(p 1 1 1)</p> <p>○テスト勉強をする時、どのようなことに気が付いたらよいでしょうか。</p> <p>①自分の考えを記入する。</p> <p>②自分の考えをグループで発表し共有する。</p> <p>③みんなの考えを記入する。</p>	<p>●自分の考えをワークシートに記入する。(5分)</p> <p>●思いついたことを記入するように声かけをする。</p> <p>●☆困っている生徒には、記入しやすいように例を挙げたり、聞き取りをして書くように促す。</p> <p>●家庭学習とは、自分ひとりで勉強することだと伝え、宿題を仕上げることや試験前に勉強しているかなどを考えさせる。</p> <p>●みんなが順に考えたことを発表できるようにし、共有したことを書かせる。</p> <p>●スライドに考えることを提示する。</p> <p>どこに書くのか示す。</p> <p>●自分が思うことを自由に記入してよいことを伝える。</p> <p>●グループで集まり、それぞれ役割を決めさせる。</p> <p>●発表カードを活用しながら、司会が進める。</p> <p>●友達が言ってくれた意見を記入するように声かけする。</p>	<p>●スライドに考えることを提示する。</p> <p>●ページ数を明確に示し、ワークシートが準備できているか確認する。</p> <p>●タイムタイマー等で活動時間を示す。</p> <p>●p 1 1 0のPOINTを読んでワークシートに書くことをイメージさせる。</p> <p>●グループでの役割を明確にするため、役割カードを活用する。</p> <p>●発表の流れカードを活用してグループだけで、話し合いが進行できるようにする。</p> <p>●今、何をするのかを視覚的に支援する。</p> <p>●聞く、書くを分けて行う。</p> <p>●スライド等で書く場所を色をつけてわかりやすく提示する。</p>	<p>・自分が取り組みができていなかったことに気がついて、自分の勉強方法を振り返ることができているか。</p> <p>・友達の意見を聞いて、気づくことができているか。</p> <p>・テストの時の勉強の仕方を振り返る。</p> <p>・自分で思ったことを記入できているか。</p> <p>・他の友達の勉強の仕方を知ることができたか。</p>

	<p>● ☆困っている生徒には、記入しやすいようにヒントを与える。</p> <p>● 次の定期試験までの計画表を配り、必要事項を書き込む（書き込めない場合は、貼れるように準備する）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験範囲</li> <li>・毎日自分でチェック</li> <li>・試験当日までに、範囲を終わらせる</li> </ul> <p>などを伝えて、イメージさせる。</p>	<p>● 書く場所を色をつけてわかりやすくスライドで提示する</p> <p>● 具体的に書くことで、自分が勉強に向かうためのきっかけをつくる。</p> <p>● やるべきことを視覚化していく。</p>	<p>・ 次の試験をイメージして作成できているか。</p> <p>・ 勉強に取りかかる気持ちを持たせることができたか。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○ 学習内容を振り返る。(p 113)</p> <p>今日の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あてはまる項目にチェックする。</li> <li>・ 気づいたこと、感想を記入する。</li> </ul> <p>○ 次時の学習内容を聞く。</p> <p>○ 終わりのあいさつをする。</p>	<p>● 本時の学習を振り返って考えるように声かけをする。</p> <p>● 次時の学習内容について説明する。</p>	<p>● 記入するページをスライド等で提示する。</p> <p>● 次時の学習内容をスライド等で提示する。</p> <p>・ 学習内容に興味、関心をもって参加することができたか。</p>

## 指導のポイント

○ 例えば、教科によってこんな学習法もあります (p 114)

苦手な教科がある生徒たちにとって、ちょっとした工夫や意識の変化で学習に向かうきっかけになったり、苦手な問題を解くヒントになったりします。勉強が全部苦手なわけではなく、自分にあった方法が見つけられてないからできていないんだという気づきができたら意欲につながると考えられます。

- ・ **数学について**→空間認知が弱い生徒には、位を揃えて計算をすることだけでも、他の生徒の何倍も力を使わなくてはできないことになります。そうすると、疲れやすく、集中が続かない…ことになり、苦手感が倍増します。まず、できることを把握して小さな成功体験を重ねることが大切です。
- ・ **国語について**→形を捉えることが苦手な生徒には、大きく拡大した漢字を見せることや、白黒反転させて教材を作成すること、形を体感して覚えることなども効果的です。何度も書いて覚えることでは、身に付けることができないタイプの生徒もいることを理解しておきましょう。また、音読の時などは、前もって文節にマーカーで斜め線を入れることや、漢字が苦手な生徒にはルビを振るなどのサポートがあると、自分で練習することができます。
- ・ **英語について**→空間認知が弱い生徒の中には、英語のアルファベットの文字のbやd、pやqなどの見分け方が難しい生徒がいます。どの部分を見ると理解できるのかを言語化して教えてあげると、わかりやすくなります。また、aの発音にしても、「ア」「エイ」など変わることがあることなども、単語を覚える時に合わせて伝えると、覚えやすくなります。



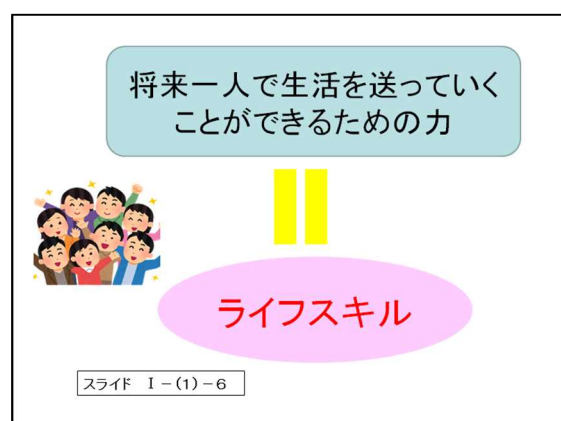
文章を読む時に定規をあてながら読んだら読みやすいわよ。



マーカーで線がはっていると、すごく読みやすい。



# スライド資料集



授業で使用するスライドの一部を資料としてまとめました。  
各スライド資料は、「高知県教育委員会 特別支援教育課」のホームページに  
電子データとしてアップしていますので、実際の授業でご活用下さい。

スライド資料①「I ソーシャルスキルを知ろう (1) ソーシャルスキルとは (ライフスキルサポートブック p 3～7)」

前(スクリーン)

○○ ▲▲      ●● ◆◆  
 ○◇      ●■ ★★

554PF I-10-1

今日の学習内容

(1)「オリエンテーション」  
 (2)ソーシャルスキル(SST)とは?」

554PF I-10-2

今日の学習の進め方

- 1 ライフスキルサポートブックの使い方を知る。
- 2 **TRY** (P3)をする。
- 3 **TRY** (P4～5)をする。
- 4 **TRY** (P6)をする。
- 5 自分のこれから身に付けたいスキルを認める。(P7)
- 6 **TRY** (P7)をする。

554PF I-10-3

将来一人で生活を送っていくことができるための力

ライフスキル

554PF I-10-4

(1)オリエンテーション

このライフスキルサポートブックを渡すにあたって

学習を進めていく上で

- 自分の気持ちを書く。
- 友達の意見聞いて、いろんな考えを知る。

554PF I-10-5

(1)オリエンテーション

このライフスキルサポートブックを渡すにあたって

内容構成について

【今日のゴール】

【今日の活動】

今日活動  
 ○ソングやダンス(5分程度)とは  
 ○ソングとは、歌の歌詞にリズムをつけて、歌を歌うこと。  
 ○ダンスとは、音楽に合わせて、体を動かすこと。  
 ○ソングやダンスは、友達と一緒にやるのが楽しい。  
 ○ソングやダンスは、友達と一緒にやるのが楽しい。  
 ○ソングやダンスは、友達と一緒にやるのが楽しい。

554PF I-10-6

(1)オリエンテーション

このライフスキルサポートブックを渡すにあたって

内容構成について

【TRY】

自分を考える

554PF I-10-7

(2)ソーシャルスキル(SST)とは

対人関係や集団行動を上手に営んでいくために必要な技能(スキル)

ソーシャルスキル

相手に対して...適切な言葉、行動、態度

554PF I-10-8

①ソーシャルスキルとはどんなスキルかを考える

3ページ

グループワーク  
 ソーシャルスキルとはどのような技能だと思いますか、具体的に考えてみましょう。

自分の考えを記入する。(0分間)

友達と仲良くできること  
 高いところから見えること

554PF I-10-9

②ソーシャルスキル自己評定尺巻を行う

4～5ページ

TRY  
 ソーシャルスキル自己評定尺巻に挑戦してきましょう。

○分間

554PF I-10-10

苦手なこと

短所

とほげざい

554PF I-10-11

今日の振り返り

7ページ

554PF I-10-12

今回は、○月○日(○)  
 「自分自身の生活リズムを考える」

つづく

554PF I-10-13



スライド資料②「Ⅱ 生活スキルを高めよう (1) 身だしなみを考える (ライフスキルサポートブック p14~18)」

1

(黒板)

生徒の名前を入れて  
席の場所を指示

スライド E-(1)-1

2

ライフスキル  
トレーニング

〇月〇日

スライド E-(1)-2

3

今日の学習内容

ライフスキルサポートブック(P13~18)

①社会的にふさわしい身だしなみを考える  
②面接の場こふさわしい身だしなみについて考える

スライド E-(1)-3

4

今日の学習の進め方

○ 社会的にふさわしい身だしなみを考える

- 1 TRY① (p14~15)をする。
- 2 TRY② (p16)をする。
- 3 TRY③ (p17~18)をする。
- 4 TRY④ (p18)をする。

スライド E-(1)-4

5

P14を開き  
ましょう

スライド E-(1)-5

6

P15を開き  
ましょう

スライド E-(1)-6

7

P16を開き  
ましょう

スライド E-(1)-7

8

P16を開き  
ましょう

スライド E-(1)-8

9

P17を開き  
ましょう

スライド E-(1)-9

10

P18を開き  
ましょう

スライド E-(1)-10

11

P18を開き  
ましょう

スライド E-(1)-11

12

P18を開き  
ましょう

スライド E-(1)-12

13

次回は「自分自身の生活  
リズムを考える」です  
OROBI(O)

つづく

スライド E-(1)-13

スライド資料③「Ⅲ コミュニケーションの力を高めよう (1) 自分のコミュニケーション力について考える  
ライフスキルサポートブック p 33～37)」

**グループワーク①**

次の場面を想像し、コミュニケーションをしていよで大切な点を考えましょう。

① AさんとBさんが決めます。  
② それぞれの台詞を述べます。  
③ Aさん、Bさんがどのように感じたかを記入します。

④ みんなでそれぞれの気持ちを共有し、コミュニケーションをしていく上で大切にしたいなと思うことをみんなでき話し合い記入します。

※35P P. 11-15

グループで考えたことを発表しましょう。

(黒板)

※35P P. 10-17

先生に見本を見せてもらいましょう!!

ケースの場面がボールペンを例として風船と書いてあります。

A 手を合わせながら「ボールペンを貸して」と言う。  
B とりあえずもぬい棒子で「無理無理。」  
A 怒った様子で「何でもいから貸して!」と言う。  
B 涙しそうに「ぬい棒をば」と言う。

※35P P. 10-18

「ケース①は、白色の中からAさんとBさんが決めます。」

(黒板)

※35P P. 11-19

「Aさん、Bさんは、台本を取り上げて下さい。」

他の人に見せないでね。

※35P P. 11-20

ケース② やってみましょう!!

「AさんBさんは台本を見てやっだね。」  
「他の人は、二人をよび見て下さい。」

よーいスタート!!

※35P P. 11-21

グループで考えたことを発表しましょう。

※35P P. 10-22

35ページ

グループワーク②  
人と接する時に、それぞれの場面とどんなことに気を付けるか考えてみましょう。

① 自分の考えを記入します。  
② 自分の考えをもとに、グループで話し合います。  
③ みんなの考えを記入します。

場面	自分の考えを記入すること	①	②
後勝	自分の考えを記入すること	自分の考え	みんなの考え

自分の考え [みんなの考え]

※35P P. 11-23

P33を開きましょう

自分の考えを記入する場所が、このように決まっています。

P34に続きがあります

※35P P. 11-24

P35を開きましょう

自分の考えを記入する場所が、このように決まっています。

※35P P. 11-25

P35を開きましょう

自分の考えを記入する場所が、このように決まっています。

※35P P. 11-25

みんなの考えを発表しましょう。

場面	自分の考えを記入すること	①	②	③	④	⑤	⑥
後勝	自分の考えを記入すること	自分の考え	みんなの考え	自分の考え	みんなの考え	自分の考え	みんなの考え

※35P P. 10-27

POINT

コミュニケーションの基本は挨拶です。

相手の良い挨拶をするには

相手に聞こえる声で  
相手に相手の方を見て  
笑顔で

※35P P. 11-28

P18を開きましょう

自分の考えを記入する場所が、このように決まっています。

※35P P. 11-29

今回は「上手な話の伝え方、聞き方を考える」です

OHOBI(O)

つづく

※35P P. 11-30

スライド資料④「IV 気持ちをコントロールするスキルを高めよう (1) よりよい対人関係について考える  
 ライフスキルサポートブック p 57 ~ 61」

1

今日の学習内容

ライフスキルサポートブック(P57)

「適切な対人関係とは？」

2

適切な対人関係とは

57ページ

今日のゴール

適切な対人関係とは何かを理解し、自分の対人関係を振り返った後、場面にふさわしい挨拶や話し方を考えることができる。

今日の活動

対人関係チェックシートを行う。

①場面に合わせた挨拶や言葉のかけ方を確認する。

3

★今日の内容★

適切な対人関係って？

①今の自分の対人関係を振り返って、自分が人とどんな風に接しているのか把握しよう。

★対人関係チェックシート(P57~59)をやってみよう。

4

0分

★対人関係チェックシート(P57~59)をやってみよう。

(記入の仕方)

確実にできている→◎

だいたいできている→○

あまりできていない→△

5

★今日の内容★

適切な対人関係って？

①場面に合わせた挨拶や言葉のかけ方があるよね。それぞれの場面でのふさわしい挨拶や話し方を考えてみよう。

★グループワークZ7

6

★グループワークZ7 (P58~59)

★ワークの進め方★

①自分で考える - 自分の考えを記入する (★自分の考えの欄)

②0分

③0分

④グループで話す (自分の考えをもとに) ※グループで話す前に役割(司会者、発表者)を決める

⑤話の中で出てきたみんなの考えを記入する (★みんなの考えの欄)

7

★グループワークZ7 (P58~59)

★ワークの進め方★

①自分で考える - 自分の考えを記入する (★自分の考えの欄)

②0分

③0分

④グループで話す (自分の考えをもとに) ※グループで話す前に役割(司会者、発表者)を決める

⑤話の中で出てきたみんなの考えを記入する (★みんなの考えの欄)

8

話し合いの進め方

① 挨拶を話し合いをするメンバーの方向に向ける。

② 役割分担(司会者、発表者)を決める。

③ 司会者(司会)について話すのがある。

④ 司会者がメンバー全員が話せるように時間配分をする。

⑤ 司会者は話し合いが終わると、声をかける(話す時間を短縮したり、話をしていない人がいたら声をかけたりする)

⑥ 話を聞く人はみんなに聞こえる声の大きさを調節する。

⑦ 話を聞く人は話をしている人の方向に挨拶や顔を向け、話に反応(うなづく、相槌(あいづち)を打つなど)をから聞く。

9

発表の仕方、発表の聴き方

発表する人は、口を開けて発表したいところを先に発表しよう。

発表を聞く人は、口を開けて発表したいところを先に発表しよう。

10

グループワークZ7

それぞれの場面でふさわしい挨拶や話し方を考えよう

場面	0分	0分	0分
1. 教室			
2. 学校行事			
3. 家族			
4. 友達			
5. 先生			
6. 親戚			
7. 地域			
8. その他			

★グループワークZ7

それぞれの場面でふさわしい挨拶や話し方を考えよう

11

グループワークZ7

それぞれの場面でふさわしい挨拶や話し方を考えよう

場面	0分	0分	0分
1. 教室			
2. 学校行事			
3. 家族			
4. 友達			
5. 先生			
6. 親戚			
7. 地域			
8. その他			

★グループワークZ7

それぞれの場面でふさわしい挨拶や話し方を考えよう

12

★今日のまとめ★

適切な対人関係って？

①自分の対人関係を振り返って、自分が人とどんな風に接しているのか把握できたかな。

★対人関係チェックシートの結果を把握した。

13

★今日のまとめ★

適切な対人関係って？

①場面に合わせた挨拶や言葉のかけ方を考え、それぞれの場面でのふさわしい挨拶や話し方を考えることができたかな。

表情や声のトーンもふさわしく、相槌(あいづち)を打つこと。

14

今日の振り返り (P51)

できたこと、感想

できなかったこと、感想

★グループワークZ7

15

★今日の振り返り★

適切な対人関係って？

PART2

つづく

★グループワークZ7

### 今日の学習内容

ライフスキルサポートブック(P75)

「将来の仕事について考える」

00分

スライド V-10-1

適切な対人関係とは

75ページ

今日のゴール

自己理解を深め、将来の仕事について、考えることができる。

今日の活動

自分が一番興味関心がある仕事は何が考えられるか。

自分が向いている仕事は何が考え、他の人と意見交換する。

スライド V-10-2

### 今日の学習の進め方

- 卒業後の進路、仕事について知る。
- 自分の考えを記入する。
- 自分の考えをグループで話し合う。
- 発表した内容について意見交換する。
- 自分の考えを記入する。

スライド V-10-3

### 卒業後の進路、仕事

卒業後の進路、仕事について考える。

自分の考えを記入する。

自分の考えをグループで話し合う。

発表した内容について意見交換する。

スライド V-10-4

### 今日の学習の進め方

- 自分の考えを記入する。
- 自分の考えをグループで話し合う。
- 発表した内容について意見交換する。
- 自分の考えを記入する。

00分

スライド V-10-5

### 今日の学習の進め方

- 自分の考えを記入する。
- 自分の考えをグループで話し合う。
- 発表した内容について意見交換する。
- 自分の考えを記入する。

00分

スライド V-10-6

### 今日の学習の進め方

- 自分の考えを記入する。
- 自分の考えをグループで話し合う。
- 発表した内容について意見交換する。
- 自分の考えを記入する。

00分

スライド V-10-7

### 今日の学習の進め方

- 自分の考えを記入する。
- 自分の考えをグループで話し合う。
- 発表した内容について意見交換する。
- 自分の考えを記入する。

00分

スライド V-10-8

### 今日の学習の進め方

- 自分の考えを記入する。
- 自分の考えをグループで話し合う。
- 発表した内容について意見交換する。
- 自分の考えを記入する。

00分

スライド V-10-9

### 話し合いの進め方

- 自分の考えを記入する。
- 自分の考えをグループで話し合う。
- 発表した内容について意見交換する。
- 自分の考えを記入する。

スライド V-10-10

### 発表の仕方、発表の聴き方

発表の仕方、発表の聴き方

発表の仕方、発表の聴き方

スライド V-10-11

### グループワーク35

自分に向いていると思う仕事について発表しよう

発表の仕方、発表の聴き方

発表の仕方、発表の聴き方

スライド V-10-12

### ★今日のまとめ★

自分の将来の仕事は？

自分が一番興味関心のある仕事を考えてきたか。

スライド V-10-13

### (P76)

自分の考えを記入する。

自分の考えをグループで話し合う。

発表した内容について意見交換する。

スライド V-10-14

### つづく

次回は、○月△日(○)

「働く価値と将来設計を考える」

スライド V-10-15

スライド資料⑥「VI 学習の仕方について (1) 自分に向いている学習スタイルを考える」  
 ライフスキルサポートブック p105～109」

1

**今日の学習内容**

- (1) 自分の勉強の仕方を振り返る
- (2) 自分の優位要素とその活かし方を考える。
- (3) 自分に合った勉強の仕方を、友達や自分と比べながら整理する。

スライド W-10-1

2

**今日の学習内容** 105ページ

スライド W-10-2

3

104ページ

自分に合った学習スタイルを見つけることができますと、苦手な教科の勉強の仕方がわかったり、宿題が早く終わったりします。

**ラッキー!!!**

勉強したり作業した時に、必要な学習であり、進路や学校を選ぶ際の助けになります。

自分に合った勉強のスタイルを見つけることは大切なことです。

スライド W-10-3

4

自分に向いている学習スタイルを考える

**P105を開きましょう**

スライド W-10-4

5

今日の学習内容 105ページ

スライド W-10-5

6

スライド W-10-6

7

P106を開きましょう

スライド W-10-7

8

自分の型がわかっただら、どうなるの？

学習スタイルに合った勉強法を確認しましょう

スライド W-10-8

9

あなたに向いている勉強法ほど、みんなの方法ではない。

P107を開きましょう

スライド W-10-9

10

P108を開きましょう

スライド W-10-10

11

自分に向いている勉強の仕方を考えます

**グループワーク①** 108ページ

自分の学習スタイルを友達と共有し、自分に向いている勉強の仕方を考えましょう。

① P107を参考に書いてみましょう。(3分間)

スライド W-10-11

12

**グループワーク②**

① 自分の考えをもとに、グループで話す。

② 一番勉強がはかどる場所

③ どんな時口がどるか

④ みんなの考えを記入する。(10分間)

スライド W-10-12

13

勉強の仕方はみんな同じ

**とほほほほ**

スライド W-10-13

14

今日の振り返り

109ページ

スライド W-10-14

15

次回よ、2月9日(金)「家庭学習を効果よくするため」

**つづく**

スライド W-10-15

【参考・引用文献】

- ・アスペルガーの子のためのワークブック 自分と周りのことがよく分かる本 大月書店
- ・ソーシャルスキル・トレーニング実践教材集 ナツメ社
- ・ありのままの自分で人生を変える 本の種出版
- ・マンガ版 ビジネスマナー集 鉄太就職物語 ジアース教育新社
- ・見て分かる社会生活ガイド集 ジアース教育新社
- ・見て分かるビジネスマナー集 ジアース教育新社
- ・ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション 日本教育研修出版
- ・あたまと心で考えよう SSTワークシート 自己認知・コミュニケーションスキル編 かがわ出版
- ・あたまと心で考えよう SSTワークシート 思春期編 かがわ出版
- ・ワークブック アトウッド博士の〈感情を見つけにいこう〉怒りのコントロール アスペルガー症候群のある子どものための認知行動療法プログラム2008 トニー・アトウッド 明石書店
- ・イラスト版 子どものアンガーマネジメントー怒りをコントロールする43のスキル 2015 篠 真希・長縄史子 合同出版
- ・ストレス・マネジメント理論によるこころのサポート授業ツール集2015 富永良喜 あいり出版
- ・児童心理 2010年12月号 子どものストレス・コーピング 金子書房
- ・ひとりだちするためのトラブル対策ー予防・回避・対処が学べるー2014 子どもたちの自立を支援する会 日本教育研究出版
- ・月刊学校教育相談 2015年1月増刊号 発達に偏りのある子のトラブルを減らす自己理解イラスト教材 高橋あつ子・石橋瑞穂 ほんの森出版
- ・発達障害の子のライフスキル・トレーニング 2015 梅永雄二 講談社
- ・改訂版 10代を育てるソーシャルスキル教育ー感情の理解やコントロールに焦点を当てて 2013 渡辺弥生・小林明子 北樹出版
- ・中学生・高校生のためのソーシャルスキル・トレーニング スマホ時代に必要な人間関係の技術2015 渡辺弥生・原田恵理子 明治図書
- ・あたまと心で考えよう SSTワークシート～思春期～2012 NPOフットーロLD発達相談センター かながわ かがわ出版
- ・教科で育てる ソーシャルスキル40 本物の力は良い授業で育つ! 明治図書
- ・ソーシャルスキルが身につくレクチャー&ワークシート 西村 宣幸 学事出版
- ・1日五分!教室で使えるコグトレ 困っている子どもを支援する認知トレーニング122 東洋館出版
- ・通常の学級で行う特別支援教育1〈小学校〉ユニバーサルデザインの授業づくり・学級づくり 明治図書



**ライフスキルトレーニングの授業作り  
実践事例集**

**ライフスキル  
サポートブック**

～よりよく生きるために～ ver.1

平成30年3月作成

編集・発行 高知県教育委員会 特別支援教育課